Canon

Satera
MF4380dn/MF4370dn
MF4350d/MF4330d
D450

基本操作ガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

最初にお読みください。

スタートアップガイド

本製品をお使いになるために必要な設定や、コンピュータとの接続について説明しています。

- こんなことができます
- 目的の機能を使用するための設定
- 本製品のセットアップ
- ファクスの設定
- ネットワーク接続の設定
- コンピュータでのソフトウェア設定
- 付録



次にお読みください。

本書

基本操作ガイド

本製品の機能と基本的な操作方法について説明しています。

- お使いになる前に
- 原稿と用紙の取り扱い
- 宛先表に宛先を登録する
- コピーする
- ファクス機能を使う
- コンピュータからプリントする
- スキャン機能を使う
- ネットワーク設定
- コンピュータからの設定
- 日常のメンテナンス
- 困ったときには
- 各種機能を登録／設定する
- 付録



目的にあわせて必要な章をお読みください。

e- マニュアル

本製品の便利な機能、ご使用目的に合わせた設定や操作方法について説明しています。

（ユーザーソフトウェアＣＤに収められています。お使いのコンピュータの画面に表示して閲覧します。）

- コピーする／ファクスを使う／プリントする／スキャンする／仕様一覧
- ネットワーク設定
- コンピュータからの設定
- 困ったときには
- 日常のメンテナンス



●本書は、改良のため画面などは予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。

●本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。

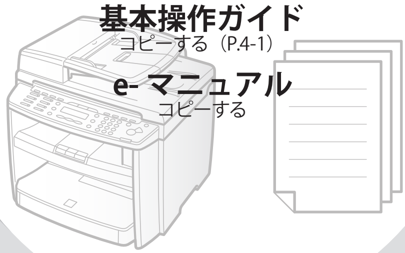
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

こんなことができます

お求めの機種や、オプションによってお使いになれない機能があります。

コピーする

さまざまな機能を使ってコピーすることができます。



基本操作ガイド

コピーする（P.4-1）

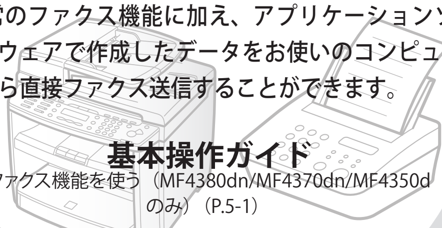
e- マニュアル

コピーする

ファクスを使う

（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

通常のファクス機能に加え、アプリケーションソフトウェアで作成したデータをお使いのコンピュータから直接ファクス送信することができます。



基本操作ガイド

ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）（P.5-1）

e- マニュアル

ファクスを使う

プリントする

さまざまな機能を使ってプリントすることができます。



基本操作ガイド

コンピュータからプリントする（P.6-1）

e- マニュアル

プリントする



スキャンする

本製品で読み込んだ原稿を画像データに変換し、お使いのコンピュータに取り込むことができます。

基本操作ガイド
スキャン機能を使う（P.7-1）

e- マニュアル
スキャンする

コンピュータから設定する（MF4380dn/MF4370dn のみ）

ネットワークに接続されたコンピュータから、本製品の設定内容の確認や変更操作をすることができます。

基本操作ガイド
コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）（P.9-1）

e- マニュアル
コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）



ネットワーク（MF4380dn/MF4370dn のみ）

本製品をネットワークに接続すると、さまざまな機能を使うことができます。

基本操作ガイド
ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）（P.8-1）

e- マニュアル
ネットワーク設定

目次

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

お使いになれる機能

お使いになれる機能を製品別に紹介します。

○ : 使用できる機能
× : 使用できない機能

	コピー	プリント	ファクス	USB スキャン	ネットワークスキャン	リモートUI	片面 ADF	両面 ADF
Satera MF4380dn	○	○	○	○	○	○	×	○
Satera MF4370dn	○	○	○	○	○	○	○	×
Satera MF4350d	○	○	○	○	×	×	○	×
Satera MF4330d	○	○	×	○	×	×	○	×
Satera D450	○	○	×	○	×	×	×	○

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。
注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。
メモ	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

キーについて

本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

・操作パネル上のキー：＜キーアイコン＞＋［キー名称］
例：［ストップ / リセット］
・ディスプレイ：＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞
・コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：［詳細設定］

略称について

本書では、製品名およびモデル名を次のように表記しています。

Microsoft Windows 2000 operating system　：　Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system　：　Windows XP
Microsoft Windows Vista operating system　：　Windows Vista
Microsoft Windows 7 operating system　：　Windows 7

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

イラストについて



本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、MF4380dnのものです。MF4380dn、MF4370dn、MF4350d、MF4330d、D450の製品間に違いがあるときは、「MF4380dnの場合」のように明示しています。
各製品に搭載されている機能については、「お使いになれる機能」（P.viii）を参照してください。
本書で使われている画面は、MF4380dnのもので、製品購入時の画面内容を掲載しています。お使いになる製品によっては掲載している画面内容と一部異なる場合があります。

安全のための注意事項

安全にお使いいただくために

警告
本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

取り扱いと保守／点検について

注意
プリントされた用紙は熱くなっている場合があります。排紙トレイから用紙を取り除くときや用紙をそろえるときは、やけどをしないように注意してください。

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源の入切、操作パネル部や後ろカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙カセットや金具部分は、絶対に持たないでください。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 電話回線の抵抗値と本製品の抵抗値の合計が 1700 Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
- 以下のような場合は本製品の主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  - 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  - 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
  - 本製品が雨や水に濡れたとき
  - 同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。

- 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
- 本製品の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- 本製品に貼ってある以下の注意ラベルをはがさないでください。



- この製品は IEC60825-1:2007 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。
- 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

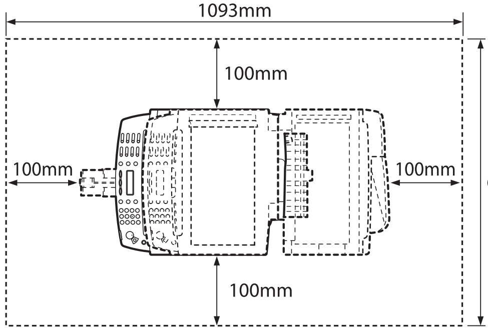
注意

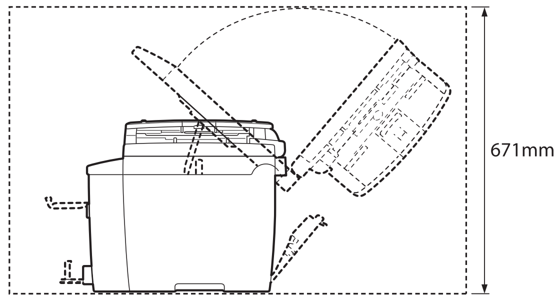
ここに規定されている以外のことをした場合は、危険なレーザー光が漏れる可能性があります。

設置について

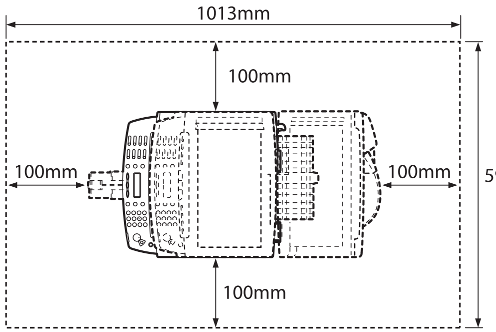
- 平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ちりやほこりがない環境でお使いください。
- 高温多湿にならない環境でお使いください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- 屋外での使用や設置は避けてください。
- スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- 本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 10 cm 以上離して設置してください。

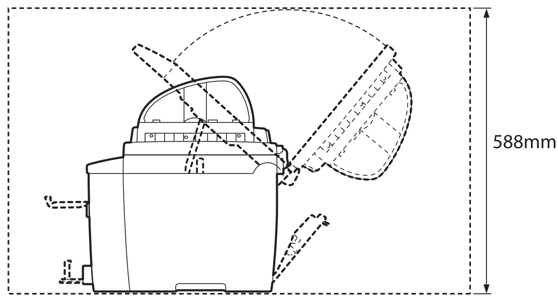
●MF4380dn/D450



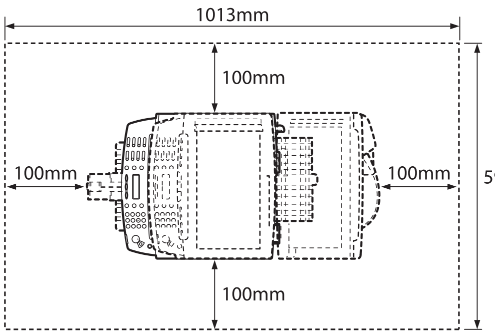


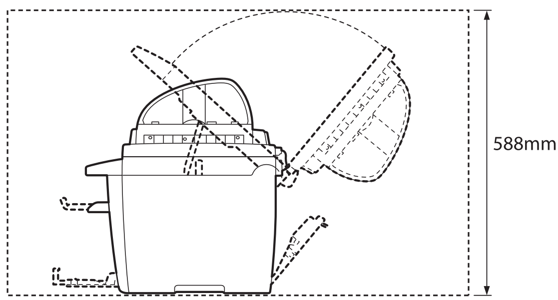
●MF4370dn





●MF4350d/MF4330d





- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。
- 使用中の製品からは、オゾン等が発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

電源について

- 雷が鳴ったら、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。（主電源スイッチを切っても、メモリにある原稿は約 5 分間保存されます。）
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 秒以上間隔をおいてください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

警告
本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

●使用済み複写機の受け入れ場所について
使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

Canon	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

●使用済みトナーカートリッジなどの回収について
使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

Canon	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第 11 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（ ）内の名称で登録されている場合があります。

Satera MF4380dn/MF4370dn/MF4350d（F156602）
Satera MF4330d/D450（F156600）

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

IPv6 Ready Logo について

本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready LogoPhase-1 を取得しています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますキヤノン　カートリッジ 304 を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ 122: 2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

・紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
・国債証券、地方債証券
・郵便為替証書
・郵便切手、印紙
・株券、社債券
・手形、小切手
・定期券、回数券、乗車券
・その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・役所または公務員の印影、署名または記号
・私人の印影または署名

［関係法律］
・刑法
・著作権法
・通貨及証券模造取締法
・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
・証券偽造変造及模造ニ関スル法律
・郵便法
・郵便切手類模造等取締法
・印紙犯罪処罰法
・印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Satera はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

第三者のソフトウェアについて

本製品には、キヤノン株式会社およびそのライセンサーが、以下 1~8 の条件に基づき許諾を受けたソフトウェア・モジュール（以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。但し、別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについては、別途の許諾条件が適用されるものとします。

1. お客様が「許諾ソフトウェア」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「許諾ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、キヤノンのライセンサーに帰属します。
3. お客様は、「許諾ソフトウェア」を、お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「キヤノン製品」）に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、キヤノンまたはキヤノンのライセンサーの事前の書面による許可無く、「許諾ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。

5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「許諾ソフトウェア」を譲渡することができます。
- お客様が「キヤノン製品」に関するすべての権利、および本契約に規定された「許諾ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
- お客様から譲渡を受ける第三者が、本契約に同意していること
6. お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
7. お客様は、「キヤノン製品」に含まれる「許諾ソフトウェア」を除去したり、「許諾ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「許諾ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

詳細およびライセンス条件につきましては、本製品に同梱されている CD-ROM 内の e マニュアルをご参照ください。

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

お使いになる前に Chapter 1

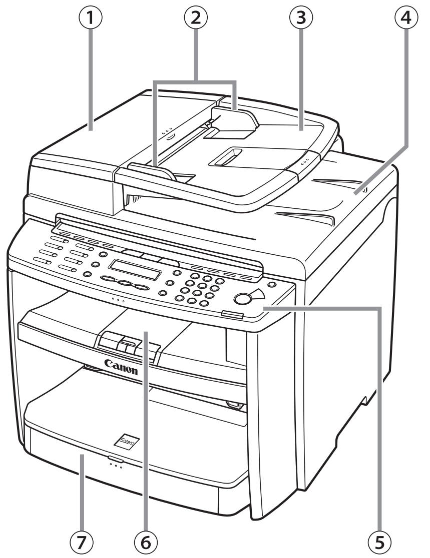
本体各部の名称とはたらきや基本的な設定項目など、本製品をお使いになる前に知っておいてほしいことを説明しています。

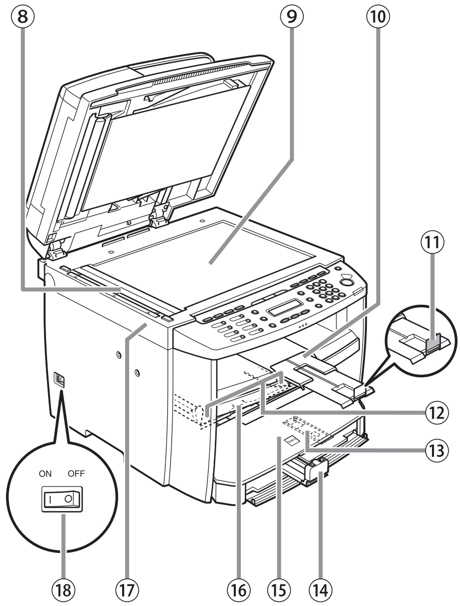
本体各部の名称とはたらき

本体外観について、各部の名称とはたらきを説明します。

本体外観（前面）

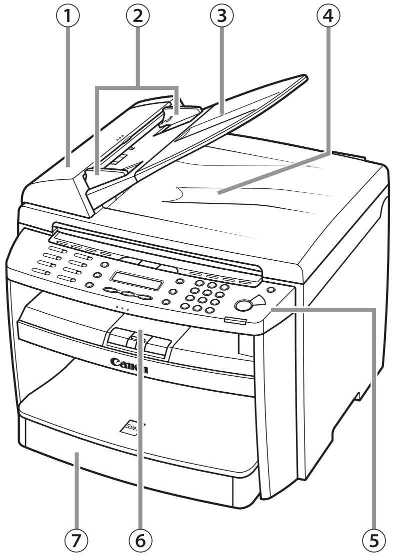
MF4380dn/D450

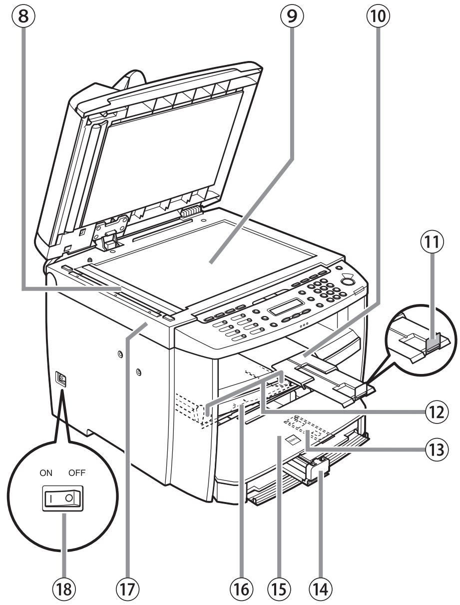




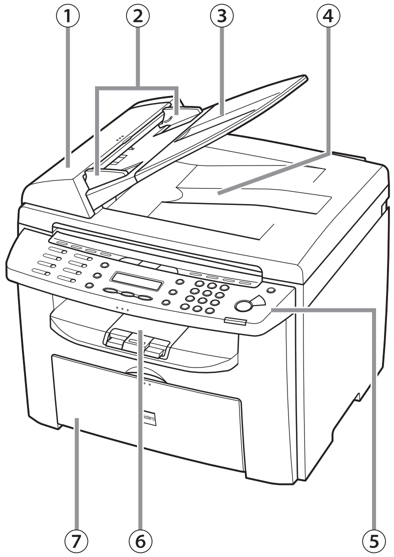
* 各部の説明は P.1-4 を参照してください。

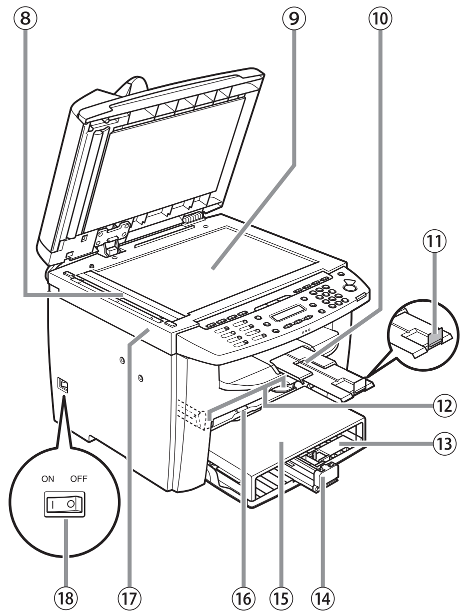
MF4370dn





MF4350d/MF4330d





＊各部の説明は P.1-4 を参照してください。

① ADF（自動原稿給紙装置）
セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送ります。

②原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調節します。

③原稿給紙トレイ
原稿をセットします。

④原稿排紙トレイ
原稿が排出されます。

⑤操作パネル
本製品を操作します。

⑥排紙トレイ
コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出します。

⑦用紙カセット（MF4380dn/MF4370dn/D450）／用紙トレイ（MF4350d/MF4330d）
用紙をセットします。

⑧ ADF 読み取りエリア
ADF にセットされた原稿を読み取ります。

⑨原稿台ガラス
原稿をセットします。

⑩排紙補助トレイ
引き出して使用します。

⑪排紙ストッパー
排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。A4 サイズの用紙で出力する場合に、ストッパーを開いて使用します。

⑫手差しトレイ用紙ガイド
用紙の幅に合わせて調節します。

⑬はがき用ガイド
はがきをセットするときに使います。

⑭用紙後端ガイド
用紙の後端を押さえます。

⑮用紙カバー
用紙カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。

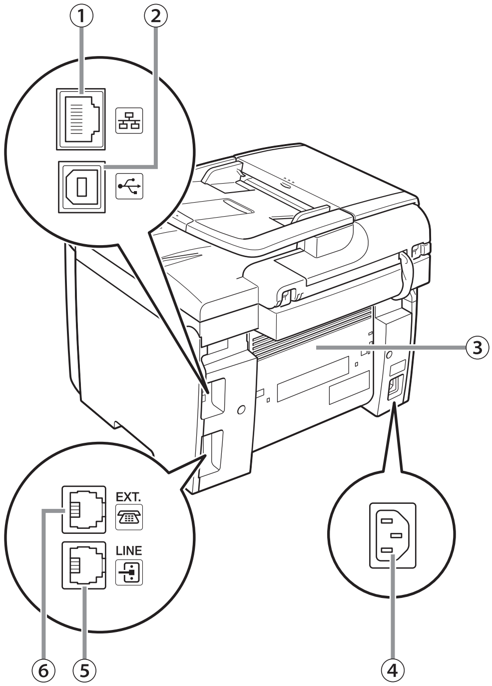
⑯手差しトレイ
手差しで 1 枚ずつプリントするときに使用します。

⑰操作パネル部
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

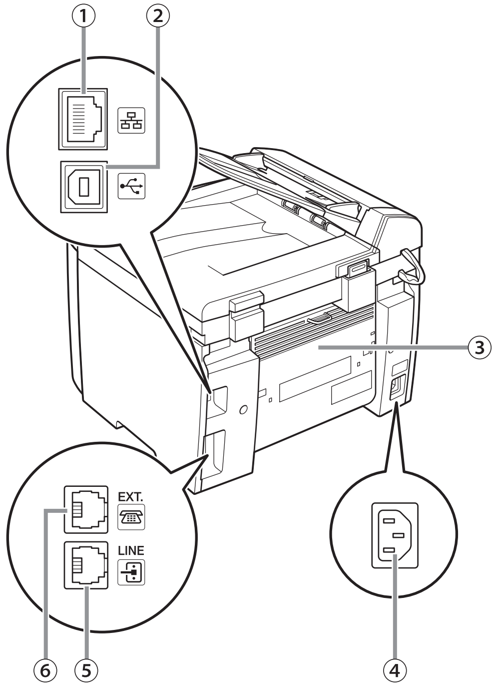
⑱主電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。

本体外観（背面）

MF4380dn

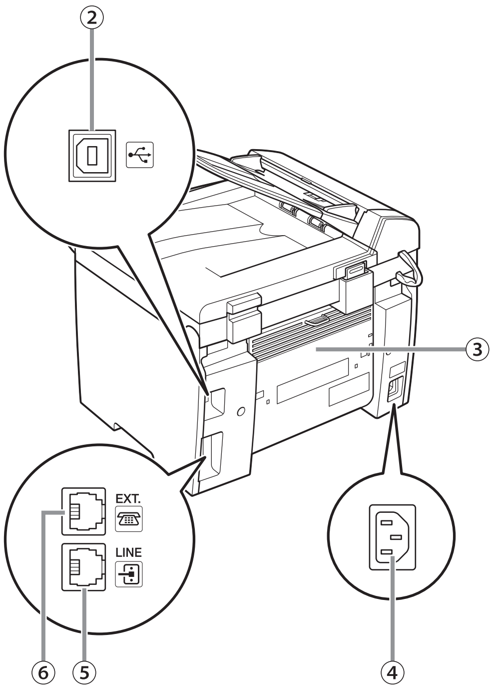


MF4370dn

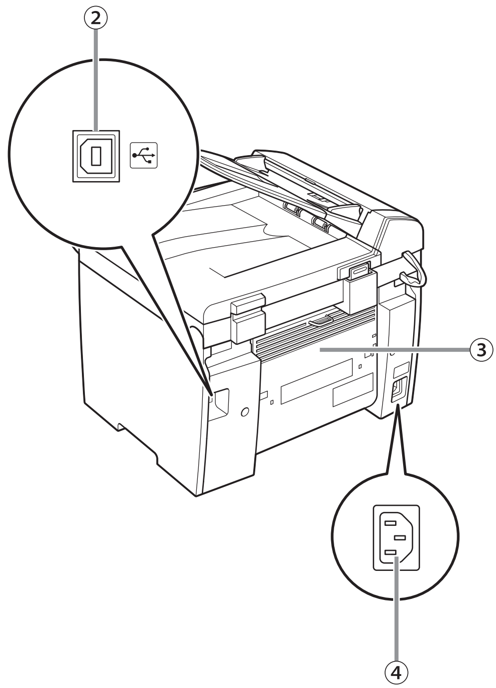


* 各部の説明は P.1-7 を参照してください。

MF4350d

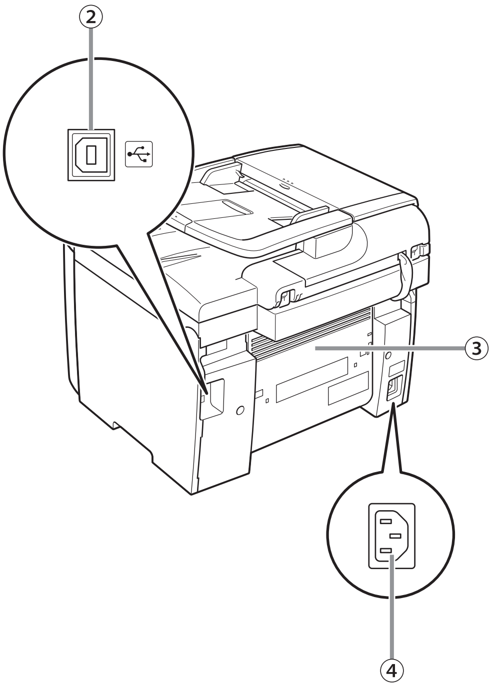


MF4330d



* 各部の説明は P.1-7 を参照してください。

D450



① LAN ポート（MF4380dn/MF4370dn のみ）
ネットワークケーブルを接続します。

② USB ポート
USB ケーブルを接続します。

③後ろカバー
つまった用紙を取り除くときに開きます。

④電源ソケット／アース端子
電源コードおよびアース線を接続します。

⑤電話回線端子（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）
電話線コードを接続します。

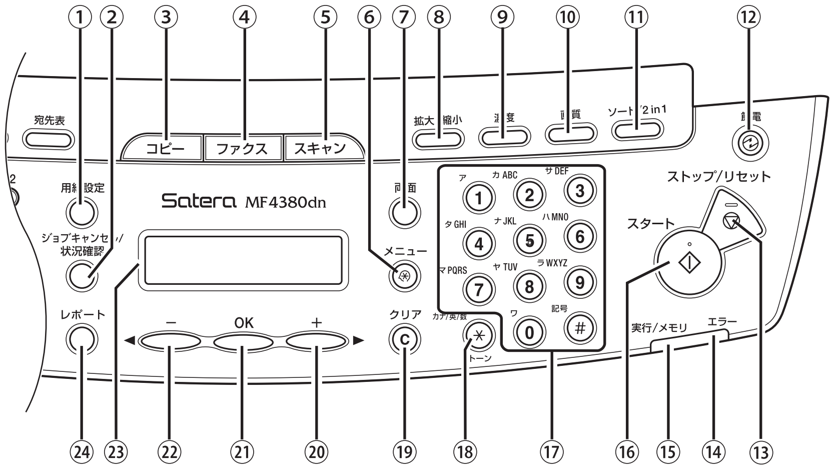
⑥外付け電話機用端子（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）
外付け電話機を接続します。

操作パネル各部の名称とはたらき

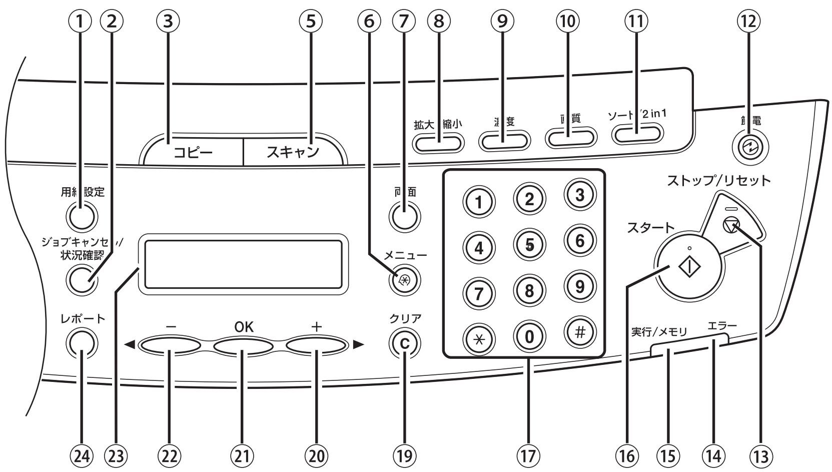
操作パネルについて、各部の名称とはたらきを説明します。

メイン操作パネル

● MF4380dn/MF4370dn/MF4350d



● MF4330d/D450



①［用紙設定］キー
用紙カセットと手差しトレイにセットする用紙のサイズと種類を設定するときに使います。

②［ジョブキャンセル / 状況確認］キー
処理中または待機中になっているジョブの確認やジョブの中止操作のときに使います。

③［コピー］キー
コピーモードに切り替えます。

④［ファクス］キー
ファクスモードに切り替えます。

⑤［スキャン］キー
スキャンモードに切り替えます。

⑥［メニュー］キー
各種の設定、登録をするときに使います。

⑦［両面］キー
MF4380dn：
両面原稿をコピーまたはファクス送信するときに使います。
MF4370dn/MF4350d/MF4330d：
片面原稿を用紙の両面にコピーするときに使います。
D450：
両面原稿をコピーするときに使います。

⑧［拡大 / 縮小］キー
コピーの拡大／縮小率を設定するときに使います。

⑨［濃度］キー
MF4380dn/MF4370dn/MF4350d：
コピーやファクス送信の濃度を調節するときに使います。
MF4330d/D450：
コピーの濃度を調節するときに使います。

⑩［画質］キー
MF4380dn/MF4370dn/MF4350d：
コピーやファクス送信の画質を調節するときに使います。
MF4330d/D450：
コピーの画質を調節するときに使います。

⑪［ソート /2 in 1］キー
ソートコピーや 2 in 1 コピーを設定するときに使います。また、ID カードコピーをするときにも使います。

⑫［節電］キー
手動で節電状態に設定したり解除したりするときに使います。節電状態のときはグリーンに点灯します。

⑬［ストップ / リセット］キー
ジョブを中止するときに使います。また、待受画面に戻るときにも使います。

⑭エラーランプ
エラーが発生したときに点滅します。

⑮実行 / メモリランプ
MF4380dn/MF4370dn/MF4350d：
通信中のときに点滅します。待機中のジョブがあるときやメモリにデータが蓄積されているときは点灯します。
MF4330d/D450：
待機中のジョブがあるときに点灯します。

⑯［スタート］キー
MF4380dn/MF4370dn/MF4350d：
コピー、スキャン、ファクス操作を開始するときに使います。
MF4330d/D450：
コピー、スキャン操作を開始するときに使います。

⑰テンキー
文字や数字を入力するときに使います。

⑱［トーン］キー
プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えるときに使います。

⑲［クリア］キー
入力した文字や数字を削除するときに使います。

⑳［+►］キー
設定する数値を上げるときに使います。また、次のメニュー項目を表示するときにも使います。

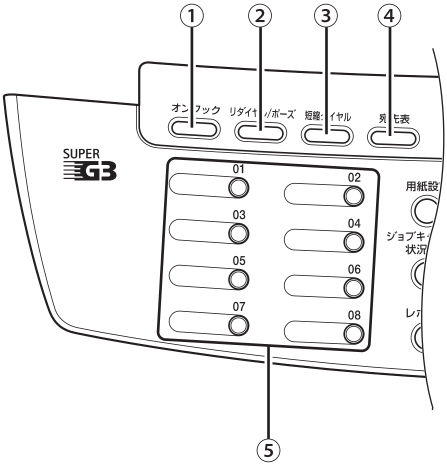
㉑［OK］キー
設定、登録した内容を確定するときに使います。

㉒［◄−］キー
設定する数値を下げるときに使います。また、前のメニュー項目を表示するときにも使います。

㉓ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。設定操作中は選択項目、テキスト、数字などを表示します。

㉔［レポート］キー
MF4380dn/MF4370dn/MF4350d：
各種レポートやリストをプリントするときに使います。
MF4330d/D450：
ユーザデータリストをプリントするときに使います。

ファクス操作パネル（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）



①［オンフック］キー
外付け電話機の受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

②［リダイヤル / ポーズ］キー
最後に指定した宛先を呼び出すときに使います。また、ファクス番号にポーズを挿入するときに使います。

③［短縮ダイヤル］キー
短縮ダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

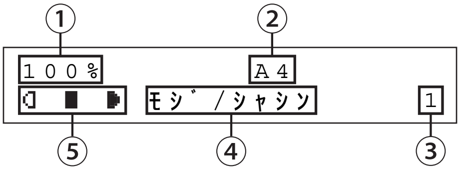
④［宛先表］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を相手先の名前やファクス番号から検索するときに使います。

⑤ワンタッチダイヤルキー
ワンタッチダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

ディスプレイ（待受画面）

コピーモード

コピーの待受画面について説明します。コピー機能を使うときは必ず [コピー] を押して以下の待受画面に切り替えます。



①ズーム倍率

②用紙サイズ

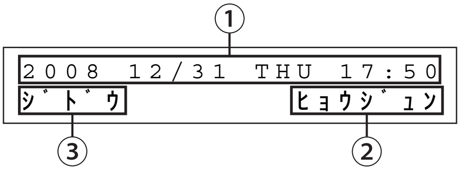
③部数

④画質

⑤濃度

ファクスモード（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

ファクスの待受画面について説明します。ファクス機能を使うときは必ず [ファクス] を押して以下の待受画面に切り替えます。



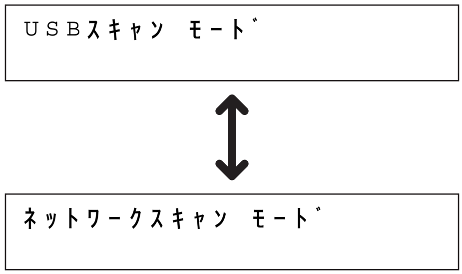
①日付／時刻

②画質

③受信モード

スキャンモード

スキャンの待受画面について説明します。MF4380dn/MF4370dn をお使いの場合は、[スキャン] を繰り返し押して画面表示を＜ USB スキャン　モード＞または＜ネットワークスキャン　モード＞に切り替えます。



MF4350d/MF4330d/D450 をお使いの場合は、[スキャン] を押して＜スキャンモード＞を表示させます。



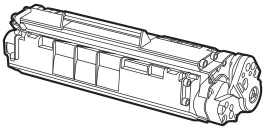
メモ

- 必要に応じて、主電源スイッチを入れたときに表示される待受画面を変更することができます。詳細については、e- マニュアル「本製品の紹介」「本製品のいろいろな機能を設定する」を参照してください。
- 主電源スイッチを入れると、ディスプレイに＜シバラク　オマチクダサイ＞と表示されたのち、待受画面に切り替わります。
- 1 分間何も操作をしないと、ディスプレイが待受画面に戻ります。

トナーカートリッジ

本製品に対応するキヤノン純正トナーカートリッジの平均印字可能枚数は、2000 ページです。このページ数は、「ISO/IEC 19752」* に基づき、工場出荷時の印字濃度設定のままで、A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの印字可能枚数が少なくなります。トナーカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用のキヤノン純正トナーカートリッジを使用してください。

*「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。



機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ	印字枚数
MF4380dn/MF4370dn/MF4350d/MF4330d/D450	Canon Cartridge 304 （キヤノン トナーカートリッジ 304）	A4 サイズで約 2,000 枚

トナーカートリッジの取り扱い

トナーカートリッジのお取り扱い時には以下の点にご注意ください。

注意

- トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

メモ

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- 最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をお薦めします。
- トナーカートリッジの偽造品にご注意ください。
  トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
  詳しくは下記ホームページをご覧ください。
  http://www.canon.com/counterfeit

トナー残量を確認する

トナーカートリッジのトナー残量を確認できます。

1 ◯［ジョブキャンセル / 状況確認］を繰り返し押して＜トナーザンリョウ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
```

トナー残量はディスプレイに 5 段階で表示されます。

■満タンの状態

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
0％        ■■■■■■       100％
```

■残量の高い状態

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
0％        ■■■■□□       100％
```

■残量の低い状態

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
０％      ■■□□□□      １００％
```

■寿命が近い状態

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
０％      ■□□□□□      １００％
```

ディスプレイには寿命が近い状態を知らせるメッセージとして<トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナージュンビ>が表示されます。メッセージの対処方法については、「メッセージが表示されたら」（P.11-16）を参照してください。

■寿命の状態

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
０％      □□□□□□      １００％
```

ディスプレイには寿命の状態を知らせるメッセージとして<トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ>が表示されます。メッセージの対処方法については、「メッセージが表示されたら」（P.11-16）を参照してください。

2 **［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。**

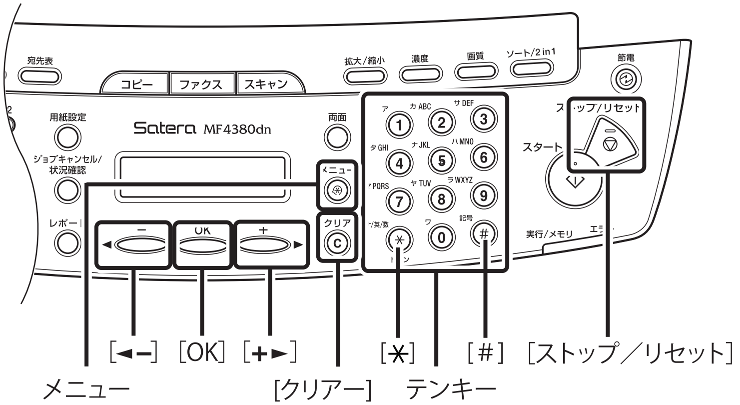
消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。ご不明な場合は巻末のキヤノンお客様相談センター（巻末参照）までお問い合わせください。

文字を入力する

入力できる文字

次のボタンを使用して、本体に情報を入力します。各入力モードで、以下の文字を入力できます。



<table>
<tr><th>⊛</th><th>[ア]</th><th>[A]</th><th>[1]</th></tr>
<tr><td>①</td><td>アイウエオ</td><td></td><td>1</td></tr>
<tr><td>②</td><td>カキクケコ</td><td>ABCabc</td><td>2</td></tr>
<tr><td>③</td><td>サシスセソ</td><td>DEFdef</td><td>3</td></tr>
<tr><td>④</td><td>タチツテト</td><td>GHIghi</td><td>4</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>ナニヌネノ</td><td>JKLjkl</td><td>5</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>ハヒフヘホ</td><td>MNOmno</td><td>6</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>マミムメモ</td><td>PQRSpqrs</td><td>7</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>ヤユヨ</td><td>TUVtuv</td><td>8</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>ラリルレロ</td><td>WXYZwxyz</td><td>9</td></tr>
<tr><td>⓪</td><td>ワヲン
アイウエオヤユヨツ</td><td colspan="2">0</td></tr>
<tr><td>#</td><td>（スペース）
゛（濁音）
゜（半濁音）
。「」、・ -</td><td>（スペース）－ . ＊
! " , ; : ^ ` _ =
/ | ´ ? $ @ % &
+ ( ) [ ] { } < ></td><td>#</td></tr>
</table>

- 入力モードを切り替えるには、[⊛] を押します。

  [ｱ]：カナモード

  [A]：アルファベットモード

  [1]：数字モード
- 文字の入力は操作パネルの⓪～⑨［テンキー］を使います。
- 入力したい文字が表示されるまで⓪～⑨［テンキー］を繰り返し押します。
- 記号を入力するには、[#] を押します。
- カーソルを動かすには、[◄−] または [+►] を押します。
- カーソルの位置で文字を削除するには、Ⓒ［クリア］を押します。文字をすべて削除するには、Ⓒ［クリア］を長押しします。

文字の入力方法

ここでは例として「キヤノン」を入力してみます。

1 **画面入力モードが［ア］になっていることを確認します。**

> **メモ**
>
> 入力モードは㊉［トーン］を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。

2 **②を繰り返し押して、「キ」を入力します。**

```
ナマエ                    ［ア］
キ
```

3 **⑧を繰り返し押して、「ヤ」を入力します。**

```
ナマエ                    ［ア］
キヤ
```

4 **⑤を繰り返し押して、「ノ」を入力します。**

```
ナマエ                    ［ア］
キヤノ
```

5 **⓪を繰り返し押して、「ン」を入力します。**

```
ナマエ                    ［ア］
キヤノン
```

6 **［OK］を押して、入力を確定します。**

スリープモードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードに移行すると、[節電]がグリーンに点灯し、他のランプやディスプレイの表示は消えた状態になります。

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

・＜オートスリープ＞：ON
・＜オートスリープタイム＞：5 フン

1 [メニュー]を押します。

2 [◄−]または[+►]を押して＜タイマーセッテイ＞を選択し、[OK]を押します。

```
メニュー
8    タイマー  セッテイ
```

3 [◄−]または[+►]を押して＜オートスリープ＞を選択し、[OK]を押します。

```
タイマー  セッテイ
3    オートスリープ
```

4 [◄−]または[+►]を押して＜ ON ＞を選択し、[OK]を押します。

```
オートスリープ
                              ON
```

5 [◄−]または[+►]を押して時間を選択し、[OK]を押します。

```
オートスリープタイム
                             5フン
```

・時間は 3 分 〜 30 分の間で設定できます（1 分刻み）。
・⓪〜⑨[テンキー]を使って数値を入力することもできます。

6 **［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。**

メモ

- スリープモードに移行すると、［節電］がグリーンに点灯します。
- 手動でスリープモードにするには、［節電］を押してください。
- 以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
  - スリープモードからの復帰後、15 秒以内の場合
  - 電源を入れてから、1 分以内の場合
  - 本製品が操作中の場合
  - 実行 / メモリランプが点灯または点滅している場合
  - エラーメッセージがディスプレイに表示され、エラーランプが点滅している場合
  - 手差しトレイまたは ADF に用紙がセットされている場合
  - 本体内で紙づまりが発生している場合
  - 外付け電話機の受話器が外れている場合
- 以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
  - ADF に原稿がセットされた場合
  - ［節電］が押された場合
  - ファクスを受信した場合
  - 外付け電話機の受話器が外れている場合
  - コンピュータからプリントジョブが送信され、プリントが開始された場合

原稿と用紙の取り扱い

Chapter 2

本製品で使用できる原稿や用紙のサイズや種類、用紙のセット方法などを説明しています。

使用できる原稿について

	原稿台ガラス	ADF
原稿の種類	• 普通紙 • 厚紙 • 写真 • 小型原稿（名刺サイズなど） • 特殊紙（トレーシングペーパー *[1]、OHP フィルム *[1] など） • 本（厚さ 24 mm までのもの）	普通紙（同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ（幅×長さ）	最大 216 mm × 297 mm	最大 216 mm × 356 mm 最小 105 mm × 148.5 mm
質量 / 坪量	最大 2 kg	40 ～ 105 g/m^2
枚数	1 枚	MF4380dn/D450 最大 50 枚 *[2] MF4370dn/MF4350d/MF4330d 最大 35 枚 *[2]

*[1] トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿台ガラスに原稿を下向きにしてセットし、白紙を原稿の上に重ねて置いてください。

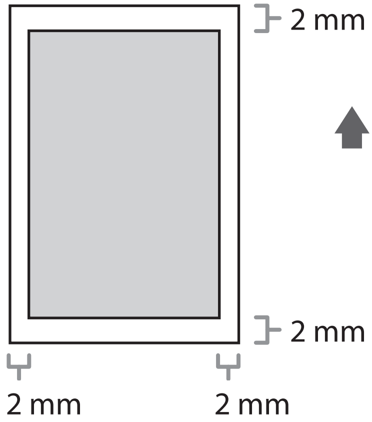
*[2] 80 g/m^2 の用紙

●のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。

●ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
- – しわや折り目のある原稿
- – カーボン紙やカーボンバック紙
- – カールした、または巻いた紙
- – コート紙
- – 破れた原稿
- – 薄質半透明紙や薄紙
- – ホッチキスの針またはクリップが付いた紙
- – 熱転写プリンタでプリントされた紙
- – OHP フィルム

読み取り範囲

原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

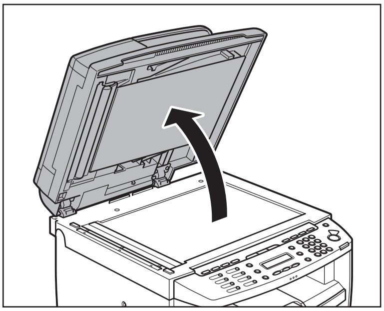


原稿をセットする

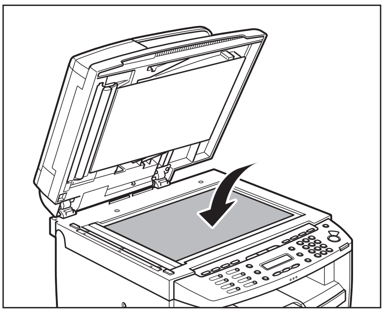
原稿台ガラスや ADF に原稿をセットする方法について説明します。

原稿台ガラスにセットする

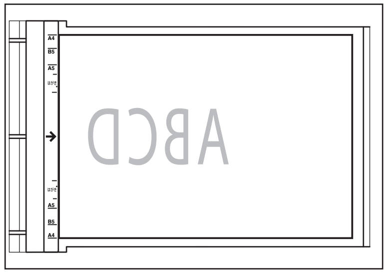
1 原稿台ガラスカバーを開きます。



2 読み取る面を下にして、原稿を原稿台ガラスに置きます。

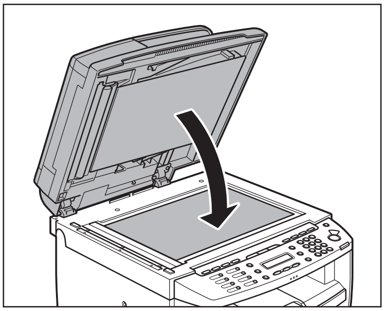


3 用紙サイズマークに合わせて原稿をセットしてください。



原稿が用紙サイズマークに合わない場合は、原稿の中心を矢印（→）に合わせてください。

4 原稿台ガラスカバーを静かに閉じます。



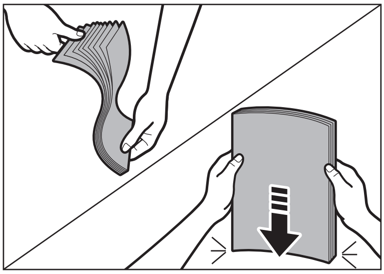
原稿を読み込む準備ができました。

> **注意**
> - 原稿台ガラスカバーを閉じるときは、指をはさまないよう注意してください。けがをする恐れがあります。
> - 原稿台ガラスカバーを無理に閉じないでください。原稿台ガラスが破損してけがをする恐れがあります。

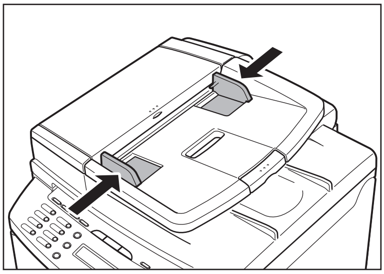
> **メモ**
> 読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

ADF にセットする

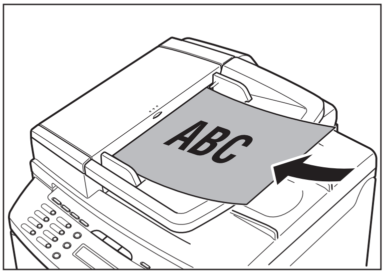
1 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の縁をそろえます。



2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



3 読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。



原稿を読み込む準備ができました。

> **メモ**
> - 読み込み中に原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
> - すべての原稿が読み込まれたら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
> - 30 回以上 ADF で同じ原稿を読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。
> - 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで給紙ローラが汚れた場合は、清掃してください。（→読み取りエリアのお手入れ：P.10-6）
> - 本製品の印刷結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.5% ずれる（斜めになる）場合があります。印刷結果のずれは、原稿を正しくセットすることで、軽減することができます。

使用できる用紙について

用紙サイズ

使用できる用紙サイズは以下のとおりです。
表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能です。

			用紙カセット	手差しトレイ
枚数			最大 250 枚 （積載高さ 25 mm 以下）	最大 1 枚
坪量			60 ～ 128 g/m^2	60 ～ 163 g/m^2
用紙サイズ	A4		◎ *[1]*[2]*[3]	○ *[3]
	B5		○	○
	A5		○	○
	レター（LTR）		◎ *[1]*[2]*[3]	○ *[3]
	リーガル（LGL）		○ *[1]	○
	エグゼクティブ（EXEC）		○	○
	郵便はがき（100 × 148 mm）		○	○
	郵便往復はがき（148 × 200 mm）		○	○
	封筒 *[4]	長形 3 号（120 × 235 mm）	○	○
		洋長形 3 号（235 × 120 mm）	○	○
	オフィシオ		○ *[1]	○
	ブラジルーオフィシオ		○ *[1]	○
	メキシコーオフィシオ		○ *[1]	○
	ガヴァメントーレター		○ *[1]	○
	ガヴァメントーリーガル		○ *[1]	○
	FOOLSCAP		○ *[1]	○
	ユーザ定義用紙		○ *[5]	○ *[5]

*[1] 受信文書およびレポートやリストの印刷が可能です。
*[2] 受信文書の両面印刷が可能です。自動両面印刷は、64 ～ 80 g/m^2 の用紙のみ可能です。
*[3] 両面コピーが可能です。
*[4] 用紙カセット：105 ～ 128 g/m^2、手差しトレイ：105 ～ 163 g/m^2
*[5] コンピュータからプリントするときに使用可能な用紙です。
幅 76 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 356 mm の用紙をセットすることができます。

メモ
用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-19）

用紙の種類

使用できる用紙の種類は以下のとおりです。

用紙の種類	本体の設定	プリンタドライバの設定	積載枚数（用紙カセット）	積載枚数（手差しトレイ）
普通紙（64 〜 90 g/m^2）	＜フツウシ＞	［普通紙］	170 〜 250 枚 *2	1 枚
	＜フツウシ L ＞ *1	［普通紙 L］		
厚紙（105 〜 163 g/m^2）	＜アツガミ＞ *3	［厚紙］	100 〜 170 枚 *2	1 枚
	＜アツガミ H ＞ *3*4	［厚紙 H］		
再生紙（64 〜 80 g/m2）*5	＜フツウシ＞	［普通紙］	100 枚	1 枚
	＜フツウシ L ＞ *1	［普通紙 L］		
OHP フィルム *6	＜ OHP　フィルム＞	［OHP フィルム］	100 枚	1 枚
はがき *7	―	―	20 枚	1 枚
封筒	―	―	20 枚	1 枚

*1 ＜フツウシ＞を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、＜フツウシ L ＞を選択してください。
*2 普通紙と厚紙は坪量によって積載枚数が変わります。
*3 用紙カセット：105 〜 128 g/m^2、手差しトレイ：105 〜 163 g/m^2
*4 ＜アツガミ＞を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、＜アツガミ H ＞を選択してください。
*5 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。
*6 OHP フィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。
*7 インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

メモ
＜ B5 ＞、＜ A5 ＞、＜エグゼクティブ＞、＜ナガガタ　3 ゴウ＞、＜ヨウナガガタ　3 ゴウ＞、＜ハガキ＞または＜オウフクハガキ＞を選択した場合は、本体の設定とプリンタドライバの設定は必要ありません。

●紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。
- しわや折り目のある紙
- カールした、または巻いた紙
- コート紙
- 破れた紙
- 湿った紙
- 非常に薄い紙
- 熱転写プリンタでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）

●以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。
- 目の粗い紙
- つるつるした紙
- 光沢紙

●用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。

●用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。

●用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。

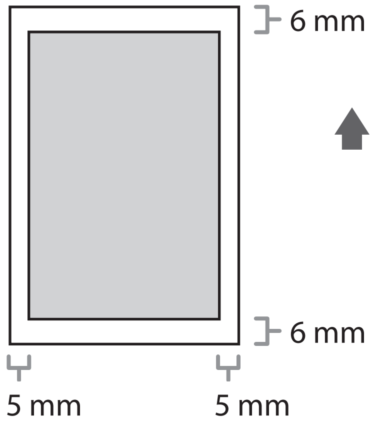
●用紙は室温 18℃ ～ 24℃、相対湿度 40% ～ 60%の場所で保管してください。

メモ

吸湿している用紙に印刷すると、以下のようなことが起こる場合があります。
・プリンタの排紙部周辺から湯気が出る
・操作パネルの裏面や排紙部に水滴がつく
これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。
ただし、焦げ臭いにおいがした場合は、直ちにプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはお客様相談センター（巻末参照）にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



用紙をセットする

用紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

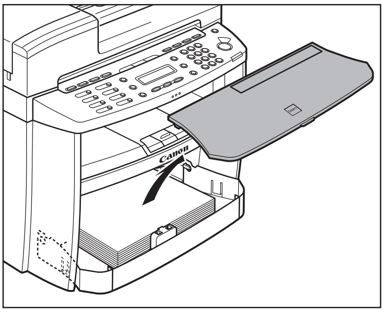
メモ
工場出荷時では、用紙のサイズと種類は< A4 >と<フツウシ>に設定されています。別の用紙サイズや種類を使用する場合は、◯［用紙設定］を押して用紙の設定内容を変更してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-19）

用紙カセットにセットする

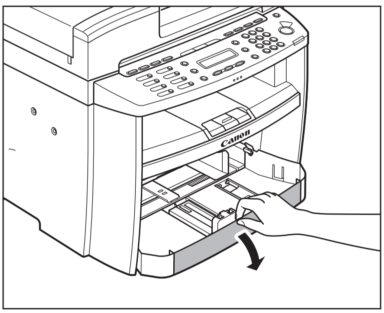
用紙カセットに用紙をセットする方法について説明します。

MF4380dn/MF4370dn/D450 の場合

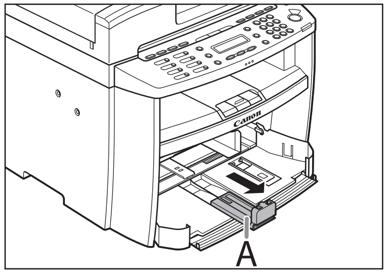
1 用紙カバーを取り外します。



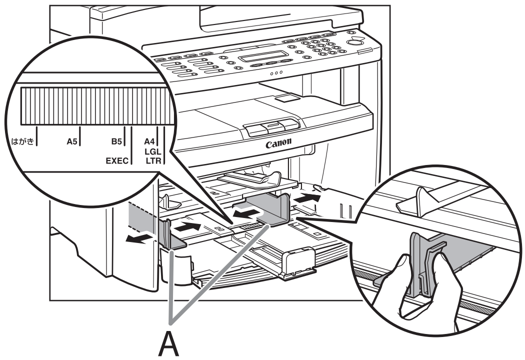
2 用紙カセットの前面部を開きます。



3 用紙後端ガイド（A）をスライドします。

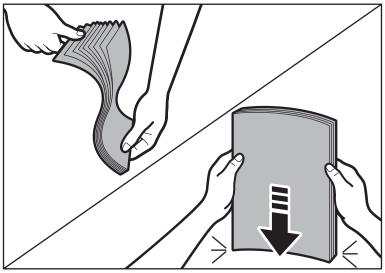


4 左右の用紙ガイド（A）をつまみながら用紙サイズに合うようスライドさせます。

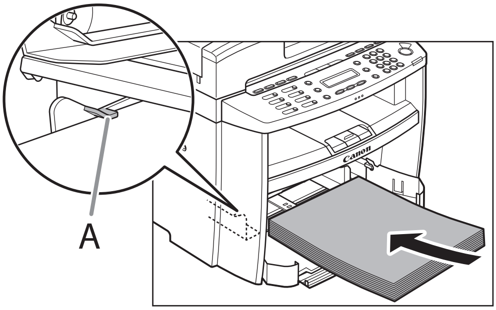


メモ
本製品の印刷結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.5% ずれる（斜めになる）場合があります。印刷結果のずれは、用紙を正しくセットすることで、軽減することができます。

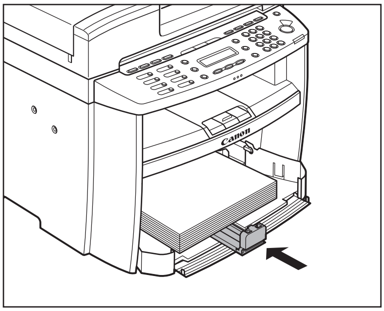
5 用紙をよくさばき、端をそろえます。



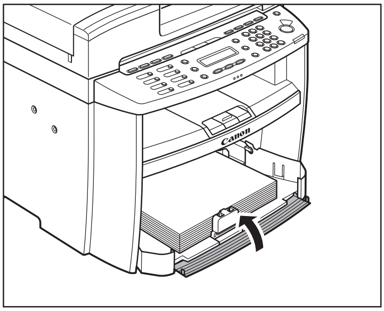
6 印刷する面を上にして用紙をセットします。セットした用紙の高さが、用紙ガイドのツメ（A）より下にあることを確認してください。



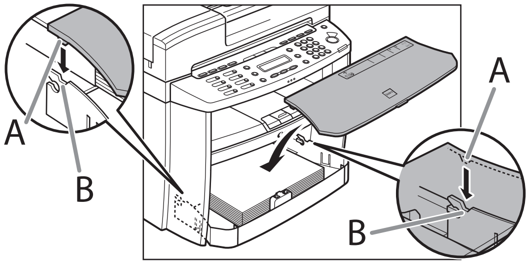
7 用紙後端ガイドを、用紙サイズに合うようスライドさせます。



8 用紙カセットの前面部を閉めます。

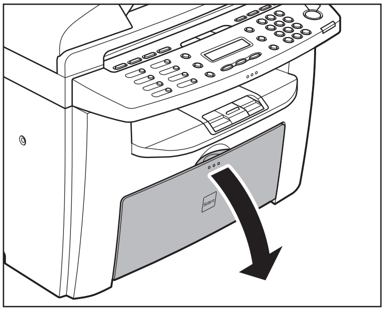


9 用紙カバーの端（A）と用紙カセットの端（B）を合わせます。

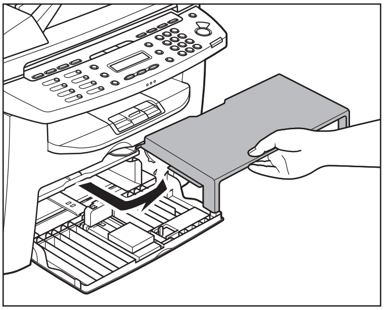


MF4350d/MF4330d の場合

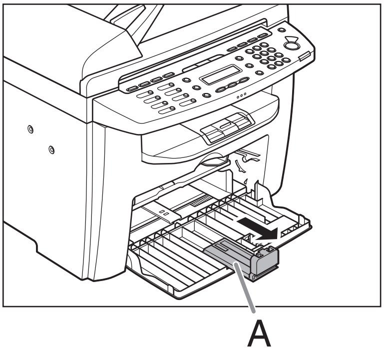
1 用紙トレイを開きます。



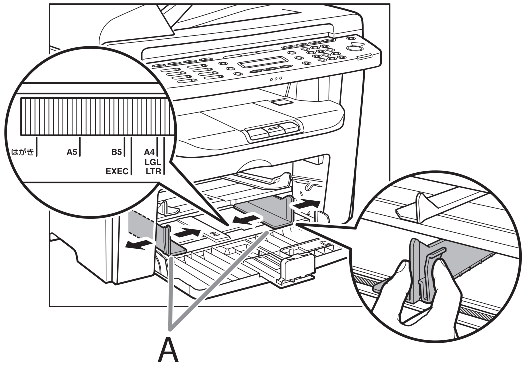
2 本体内部から用紙カバーを手前にスライドして取り出します。



3 用紙後端ガイド（A）をスライドします。



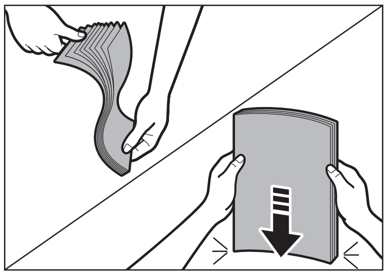
4 左右の用紙ガイド（A）をつまみながら用紙サイズに合うようスライドさせます。



メモ

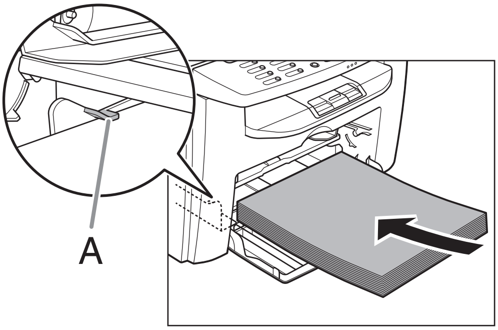
本製品の印刷結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.5% ずれる（斜めになる）場合があります。印刷結果のずれは、用紙を正しくセットすることで、軽減することができます。

5 用紙をよくさばき、端をそろえます。



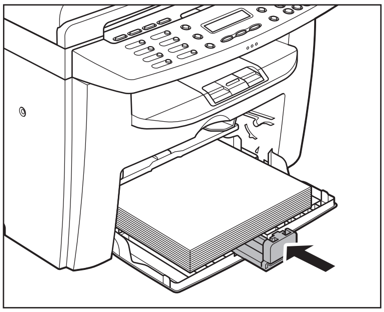
6

印刷する面を上にして用紙をセットします。セットした用紙の高さが、用紙ガイドのツメ（A）より下にあることを確認してください。



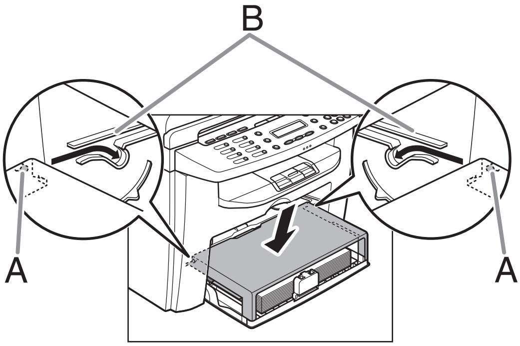
7

用紙後端ガイドを、用紙サイズに合うようスライドさせます。



8

用紙カバーの両側の突起（A）を本体内部のガイド（B）に合わせて奥までスライドしたあと、用紙カバーの角を用紙トレイの角に合わせます。



手差しトレイにセットする

用紙カセットにセットされている用紙と、種類やサイズが異なる用紙にコピーやプリントする場合は、手差しトレイを使います。手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットします。

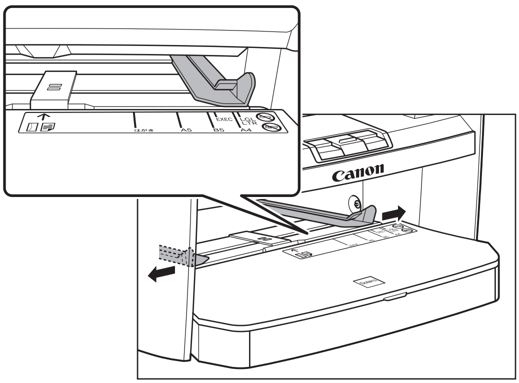
メモ

- 手差しトレイにセットされた用紙は、用紙カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- 封筒をセットする場合は、長形 3 号または洋長形 3 号を使用してください。
- プリンタドライバで正しい用紙サイズを設定してください。
- 受信した文書、レポート、リストのプリントは、用紙カセットからのみ給紙が可能です。手差しトレイに用紙がセットされている場合は、<テザシノヨウシヲジョキョ>と表示されます。

MF4380dn/MF4370dn/D450 の場合

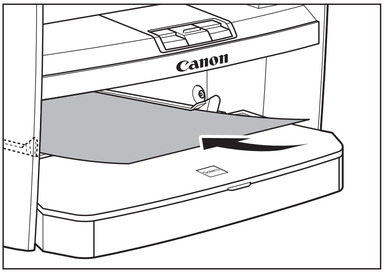
1

手差しトレイ用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

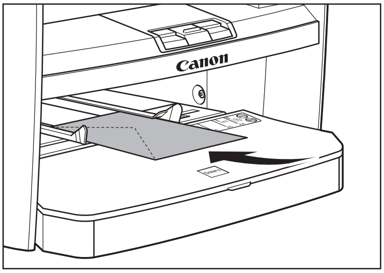


原稿と用紙の取り扱い

2 **用紙をセットする場合は、プリントしたい面を上にして手差しトレイにまっすぐに差し込みます。**

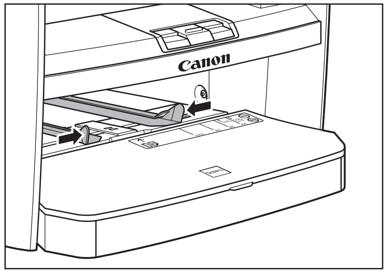


封筒をセットする場合は、プリントしたい面を上にして右端から先に封筒をまっすぐに手差しトレイに差し込みます。



> **メモ**
> ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面（ロゴ側）を上にして、用紙の上端から先に手差しトレイにセットします。

3 **手差しトレイ用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。**



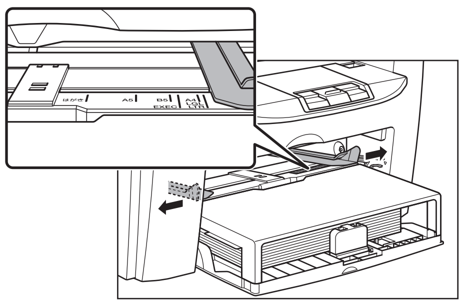
> **メモ**
> 本製品の印刷結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.5% ずれる（斜めになる）場合があります。印刷結果のずれは、用紙を正しくセットすることで、軽減することができます。

4 **セットした用紙のサイズと種類を設定します。**

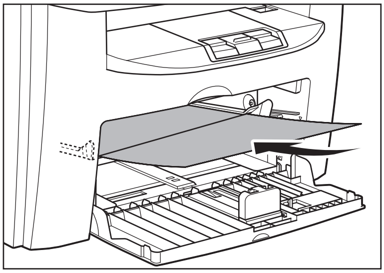
用紙のサイズと種類の設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-19）を参照してください。

MF4350d/MF4330d の場合

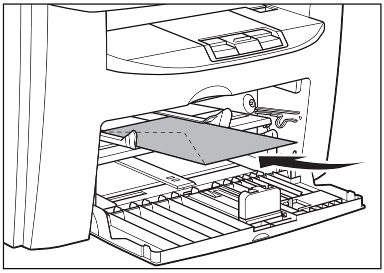
1 **手差しトレイ用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。**



2 **用紙をセットする場合は、プリントしたい面を上にして手差しトレイにまっすぐに差し込みます。**



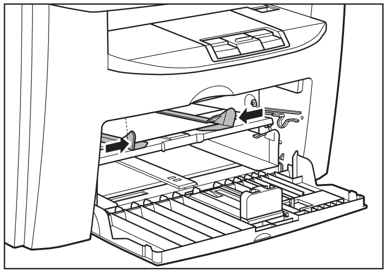
封筒をセットする場合は、プリントしたい面を上にして右端から先に封筒をまっすぐに手差しトレイに差し込みます。



メモ

ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面（ロゴ側）を上にして、用紙の上端から先に手差しトレイにセットします。

3 **手差しトレイ用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。**



メモ

本製品の印刷結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.5% ずれる（斜めになる）場合があります。印刷結果のずれは、用紙を正しくセットすることで、軽減することができます。

4 **セットした用紙のサイズと種類を設定します。**

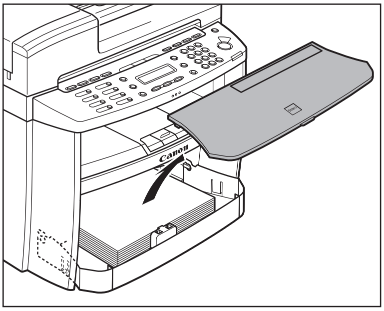
用紙のサイズと種類の設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-19）を参照してください。

はがきをセットする

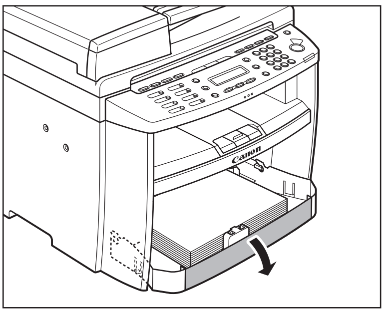
はがきをセットする場合は、はがきが正しく給紙されるように、はがき用ガイドを使用します。はがきは「郵便はがき」と「郵便往復はがき」をプリントできます。

MF4380dn/MF4370dn/D450 の場合

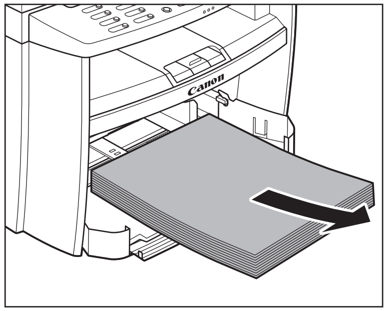
1 用紙カバーを用紙カセットから取り外します。



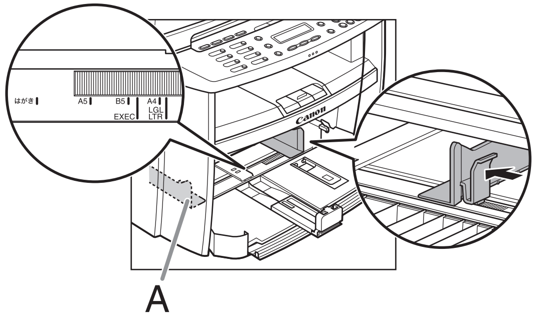
2 用紙カセットの前面部を開きます。



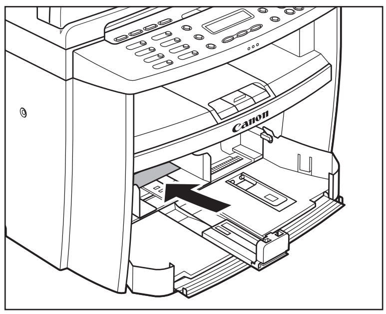
3 用紙カセットから用紙を取り出します。



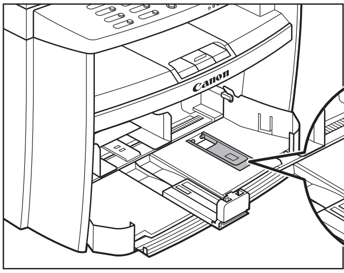
4 左右の用紙ガイド（A）をつまみながら、「はがき」の位置に合うようスライドさせます。



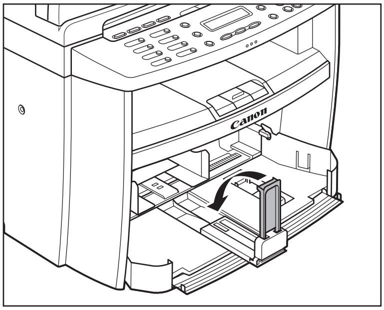
5 印刷する面を上にして、はがきの上側を奥にセットします。



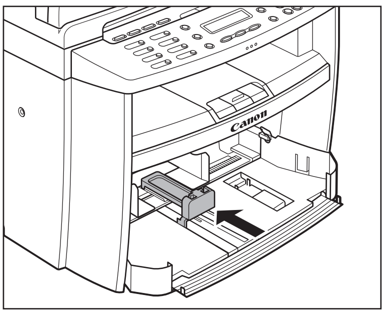
6 用紙カセットから、はがき用ガイドを取り外します。



7 はがき用ガイドを用紙後端ガイドに差し込み、前方に倒します。



8 用紙後端ガイドをスライドさせ、はがき用ガイドをはがきの後端に合わせます。

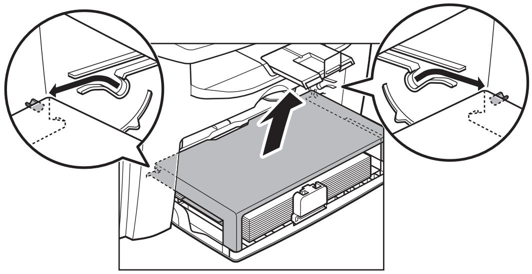


9 はがきの種類に合わせて、用紙のサイズを設定します。

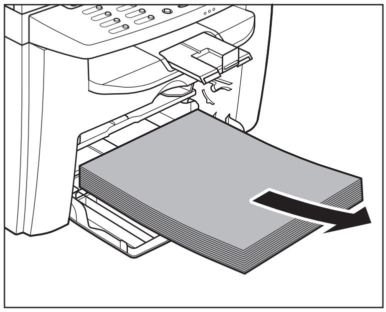
用紙のサイズの設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」(→ P.2-19)を参照してください。

MF4350d/MF4330d の場合

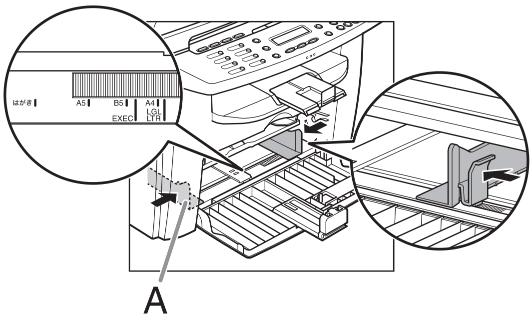
1 用紙カバーを用紙トレイから取り外します。



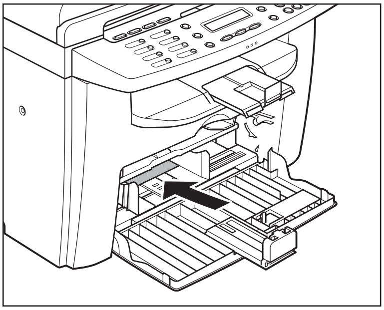
2 用紙トレイから用紙を取り出します。



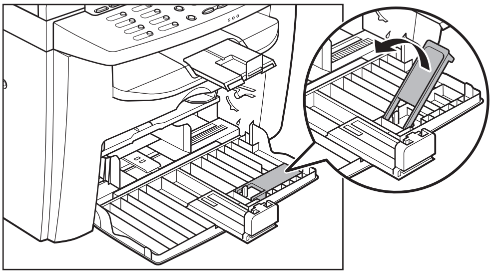
3 左右の用紙ガイド(A)をつまみながら、「はがき」の位置に合うようスライドさせます。



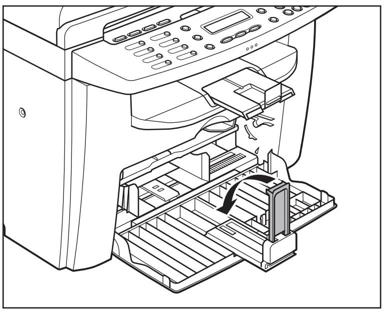
4 **印刷する面を上にしてはがきをセットします。**



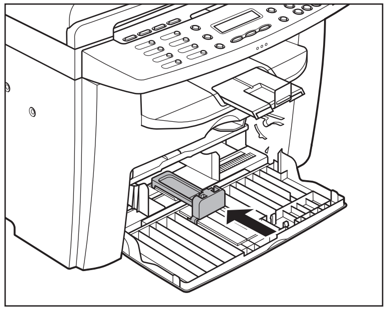
5 **用紙トレイから、はがき用ガイドを取り外します。**



6 **はがき用ガイドを用紙後端ガイドに差し込み、前方に倒します。**



7 **用紙後端ガイドをスライドさせ、はがき用ガイドをはがきの後端に合わせます。**



8 **はがきの種類に合わせて、用紙のサイズを設定します。**

用紙のサイズの設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-19）を参照してください。

用紙のサイズと種類を設定する

用紙のサイズと種類を設定する方法について説明します。用紙カセットまたは手差しトレイにセットする用紙のサイズや種類を変更する場合は、セットする用紙のサイズと種類に合わせて用紙設定メニューの登録内容を変更してください。

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

・＜ヨウシ　サイズ＞：A4
・＜ヨウシ　シュルイ＞：フツウシ

用紙カセットの用紙サイズと種類を設定する

1 ◯［用紙設定］を繰り返し押して＜カセット＞を選択し、［OK］を押します。

```
カセット
```

2 ［◄－］または［＋►］を押して用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

```
ヨウシノ　サイズ
                A4
```

以下の用紙サイズを選択できます。
＜A4＞、＜B5＞、＜A5＞、＜エグゼクティブ＞、＜ナガガタ　3ゴウ＞、＜ヨウナガガタ　3ゴウ＞、＜ハガキ＞、＜オウフクハガキ＞、＜OFICIO＞、＜BRAZIL-OFICIO＞、＜MEXICO-OFICIO＞、＜GOVERNMENT-LETTER＞、＜GOVERNMENT-LEGAL＞、＜FOOLSCAP＞、＜LTR＞、＜LGL＞

3 ［◄－］または［＋►］を押して用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

```
ヨウシノ　シュルイ
              フツウシ
```

以下の紙種を選択することができます。

・普通紙（64 g/m² ～ 90 g/m²）：＜フツウシ＞、＜フツウシL＞*1
・厚紙または封筒（用紙カセット：105 g/m² ～ 128 g/m²、手差しトレイ：105 g/m² ～ 163 g/m²）：＜アツガミ＞、＜アツガミH＞*2
・OHPフィルム：＜OHP　フィルム＞

*1 ＜フツウシ＞を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、＜フツウシL＞を選択してください。
*2 ＜アツガミ＞を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、＜アツガミH＞を選択してください。

メモ

手順2で、＜B5＞、＜A5＞、＜エグゼクティブ＞、＜ナガガタ　3ゴウ＞、＜ヨウナガガタ　3ゴウ＞、＜ハガキ＞または＜オウフクハガキ＞を選択した場合は、＜ヨウシノ　シュルイ＞は表示されません。

手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する

1 ◯［用紙設定］を繰り返し押して<テザシトレイ>を選択し、［OK］を押します。

```
テザ゛シトレイ
```

2 ［◄−］または［+►］を押して用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

```
ヨウシノ　サイズ゛
                A4
```

以下の用紙サイズを選択できます。
< A4 >、< B5 >、< A5 >、<エグゼクティブ>、<ナガガタ　3 ゴウ>、<ヨウナガガタ　3 ゴウ>、<ハガキ>、<オウフクハガキ>、< OFICIO >、< BRAZIL-OFICIO >、< MEXICO-OFICIO >、< GOVERNMENT-LETTER >、< GOVERNMENT-LEGAL >、< FOOLSCAP >、< LTR >、< LGL >

3 ［◄−］または［+►］を押して用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

```
ヨウシノ　シュルイ
              フツウシ
```

以下の紙種を選択することができます。
- 普通紙（64 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：<フツウシ>、<フツウシ L >*[1]
- 厚紙または封筒（用紙カセット：105 g/m^2 ～ 128 g/m^2、手差しトレイ：105 g/m^2 ～ 163 g/m^2）：<アツガミ>、<アツガミ H >*[2]
- OHP フィルム：< OHP　フィルム>

*[1] <フツウシ>を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、<フツウシ L >を選択してください。
*[2] <アツガミ>を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、<アツガミ H >を選択してください。

メモ
手順 2 で、< B5 >、< A5 >、<エグゼクティブ>、<ナガガタ　3 ゴウ>、<ヨウナガガタ　3 ゴウ>、<ハガキ>または<オウフクハガキ>を選択した場合は、<ヨウシノ　シュルイ>は表示されません。

宛先表に宛先を登録する（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

Chapter 3

宛先表に宛先を登録する方法や、登録した内容を変更、消去する方法について説明しています。

宛先表とは

原稿の送信先はテンキー入力の他、宛先登録機能を使って指定できます。テンキーでは宛先を 1 字ずつ入力するのに対し、宛先登録機能ではよく利用する宛先をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。このように宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機能を宛先表と呼びます。登録できる機能は以下の種類があります。

● ワンタッチダイヤル
- 登録済みの宛先を 1 回のキー操作で呼び出す機能です。最大 8 件まで宛先を登録できます。
- 原稿送信時は、登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押すだけで宛先を指定できます。

● 短縮ダイヤル
- 登録済みの宛先を短縮番号を使って呼び出す機能です。最大 100 件まで宛先を登録できます。
- 原稿送信時は、［短縮ダイヤル］を押したあと、2 桁の登録先番号（00 ～ 99）を入力するだけで宛先を指定できます。

● グループダイヤル
- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとして登録済みの各宛先を 1 つのグループにまとめて登録する機能です。複数の宛先を 1 つの宛先として登録するため、1 度に送信する相手先が多い場合でも宛先指定操作が簡単に行えます。
- グループダイヤルの登録先は未登録のワンタッチダイヤルで 1 つのグループダイヤルには最大 50 件まで宛先を登録できます。
- 原稿送信時の宛先指定操作はワンタッチダイヤルと同様になります。

メモ
- 宛先表はリモート UI 機能を使ってお使いのコンピュータにファイルとして保存したり、保存したファイルを本製品に読み込ませることができます。詳細については、e- マニュアル「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」「宛先表やデバイスの設定情報をファイルに保存する／ファイルから読み込む」を参照してください。
- 宛先表に登録済みの宛先は、宛先一覧表を印刷して参照できます。（→ e- マニュアル「本製品の紹介」「レポート／リストを手動でプリントする）

ワンタッチダイヤルを登録／編集する

ワンタッチダイヤルを使うと、1 回のキー操作で宛先を指定できます。ここではワンタッチダイヤルキーに宛先を登録する方法と、登録済みの内容を編集する方法について説明します。

ワンタッチダイヤルを登録する

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して＜ワンタッチダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
1　　ワンタッチ　ダ゛イヤル
```

4 ［◄−］または［+►］を押して登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を選択し、［OK］を押します。

```
ワンタッチ　ダ゛イヤル
［01］　ミトウロクテ゛ス
```

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 ⓪～⑨［テンキー］を使って相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　　　［ア］
キヤノン_
```

> **メモ**
> 文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

6 ⓪～⑨［テンキー］を使って相手先のファクス番号（スペースとポーズを含め最大 50 桁）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ
031XXXXXX
```

続けて別のワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順 4 からの操作を繰り返してください。

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

> **メモ**
> ワンタッチダイヤルを使った送信方法については、「ワンタッチダイヤルキーを使って送信先を指定する」（P.5-20）を参照してください。

ワンタッチダイヤルを編集する

1 ㊙［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して<ワンタッチダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
1　　ワンタッチ　ダ゛イヤル
```

4 ［◄−］または［+►］を押して編集するワンタッチダイヤル（01～08）を選択し、［OK］を押します。

例）

```
ワンタッチ　ダ゛イヤル
［01］キヤノン
```

ワンタッチダイヤルキー（01～08）を押して選択することもできます。

5 ［+►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、ⓒ［クリア］を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　［ア］
キヤノン
```

入力内容をすべて消去する場合は、ⓒ［クリア］を長押しします。

6 ⓪～⑨［テンキー］を使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　［ア］
ト_
```

メモ

文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

7 ［+►］を押して変更する番号にカーソルを移動し、ⓒ［クリア］を押します。

例）

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
31XXXXXX
```

入力内容をすべて消去する場合は、ⓒ［クリア］を長押しします。

8 ⓪～⑨［テンキー］を使って新しい番号を入力し、［OK］を押します。

例）

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
012XXXXXX
```

9 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 ㊙［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して<ワンタッチダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
1　　ワンタッチ　ダ゛イヤル
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して削除するワンタッチダイヤル（01 〜 08）を選択し、［OK］を押します。

例）

```
ワンタッチ　ダ゛イヤル
[01]キヤノン
```

ワンタッチダイヤルキー（01 〜 08）を押して選択することもできます。

5 Ⓒ［クリア］を長押しして名前を削除し、［OK］を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　[ア]
_
```

6 Ⓒ［クリア］を長押ししてファクス番号を削除し、［OK］を押します。

例）

```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ
_
```

メモ

ファクス番号を消去した場合は、相手先の名前も自動的に消去されます。

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

短縮ダイヤルを登録／編集する

短縮ダイヤルを使うと、操作パネルの [短縮ダイヤル] を押し、2 桁の短縮番号を入力して宛先を指定できます。ここでは短縮ダイヤルに宛先を登録する方法と、登録済みの内容を編集する方法について説明します。

短縮ダイヤルを登録する

1 [メニュー] を押します。

2 [◄–] または [+►] を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、[OK] を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 [◄–] または [+►] を押して<タンシュクダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

```
アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
2　　タンシュク　ダイヤル
```

4 [◄–] または [+►] を押して登録する短縮ダイヤル（00～99）を選択し、[OK] を押します。

```
タンシュク　ダイヤル
[＊01]ミトウロクデス
```

[短縮ダイヤル] を押したあと、⓪～⑨ [テンキー] を使って 2 桁の番号（00～99）を入力して選択することもできます。

5 ⓪～⑨ [テンキー] を使って相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　　[ア]
キヤノン_
```

> **メモ**
> 文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

6 ⓪～⑨ [テンキー] を使って相手先のファクス番号（スペースとポーズを含め最大 50 桁）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
デンワバンゴウ
031_
```

続けて別の短縮ダイヤルを登録する場合は、手順 4 からの操作を繰り返してください。

7 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

> **メモ**
> 短縮ダイヤルを使った送信方法については、「短縮ダイヤルを使って送信先を指定する 」（P.5-20）を参照してください。

短縮ダイヤルを編集する

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜タンシュクダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
2　　タンシュク　ダイヤル
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して編集する短縮ダイヤル（00～99）を選択し、［OK］を押します。

例）

```
タンシュク　ダイヤル
［＊01］キヤノン
```

［短縮ダイヤル］を押したあと、⓪～⑨［テンキー］を使って2桁の番号（00～99）を入力して選択することもできます。

5 ［＋►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、ⓒ［クリア］を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　　［ア］
キヤノン
```

入力内容をすべて消去する場合は、ⓒ［クリア］を長押しします。

6 ⓪～⑨［テンキー］を使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。

```
ナマエ　　　　　　　　　　［ア］
_
```

メモ

文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

7 ［＋►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、ⓒ［クリア］を押します。

例）

```
デンワバンゴウ
031XXXXXX
```

入力内容をすべて消去する場合は、ⓒ［クリア］を長押しします。

8 ⓪～⑨［テンキー］を使って新しい番号を入力し、［OK］を押します。

```
デンワバンゴウ
_
```

9 ［ストップ/リセット］を押して待受画面に戻ります。

短縮ダイヤルを削除する

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して<タンシュクダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ シヨウセッテイ
2   タンシュク ダ゛イヤル
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して削除する短縮ダイヤル（00～99）を選択し、［OK］を押します。

```
タンシュク ダ゛イヤル
[＊01]キヤノン
```

［短縮ダイヤル］を押したあと、⓪～⑨［テンキー］を使って2桁の番号（00～99）を入力して選択することもできます。

5 ⓒ［クリア］を長押しして名前を削除し、［OK］を押します。

```
ナマエ                 [ア]
_
```

6 ⓒ［クリア］を長押ししてファクス番号を削除し、［OK］を押します。

```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ
_
```

メモ

ファクス番号を消去した場合は、相手先の名前も自動的に消去されます。

7 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

グループダイヤルを登録／編集する

グループダイヤルを使うと、1 回のキー操作で複数の宛先を指定できます。ここではグループダイヤルに宛先を登録する方法と、登録済みの内容を編集する方法について説明します。
1 つのグループダイヤルには最大 50 件まで宛先を登録できます。

グループダイヤルを登録する

メモ
グループダイヤルを登録する際は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6　　アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して<グループダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ　シヨウセッテイ
3　　グループ　ダイヤル
```

4 ［◄−］または［+►］を押してグループダイヤルの登録先を選択し、［OK］を押します。

```
グループ　ダイヤル
［02］　ミトウロクデス
```

- 未登録のワンタッチダイヤルを登録先として指定します。
- ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 ⓪～⑨［テンキー］を使ってグループの名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ナマエ　　　　　　　　　　［ア］
トウキョウ
```

メモ
文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

6 グループダイヤルに登録する宛先（最大 50 件）をすべて指定し、［OK］を押します。

例）

```
NO.001=031XXXXXX
[01]キヤノン
```

登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを宛先として指定します。
- ワンタッチダイヤルを指定する場合は、ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
- 短縮ダイヤルを指定する場合は、［短縮ダイヤル］を押したあと、2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。複数の宛先を指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに［短縮ダイヤル］を押します。

続けて別のグループダイヤルを登録する場合は、手順 4 からの操作を繰り返してください。

メモ
［◄−］または［+►］を押すと指定した宛先を確認できます。

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

> **メモ**
> グループダイヤルを使った送信方法については、「グループダイヤルを使って送信先を指定する」（P.5-21）を参照してください。

グループダイヤルに宛先を追加する

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6    アテサキヒョウ  シヨウセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜グループダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ  シヨウセッテイ
3    グループ  ダイヤル
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して宛先を追加するグループダイヤルを選択し、［OK］を押します。

例）

```
グループ  ダイヤル
[01]ワンタッチ  ダイヤル
```

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 グループ名が表示されたら、［OK］を押します。

例）

```
グループ  ダイヤル
[02]トウキョウ
```

6 グループダイヤルに追加する宛先を指定し、［OK］を押します。

例）

```
NO.003=032XXXXXX
[*01]キヤノンエイギョウ
```

宛先の指定方法については、「グループダイヤルを登録する」（P.3-9）を参照してください。

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

グループダイヤルから宛先を消去する

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6    アテサキヒョウ  シヨウセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜グループダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ  シヨウセッテイ
3    グループ  ダイヤル
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して宛先を消去するグループダイヤルを選択し、［OK］を押します。

例）

```
グループ  ダイヤル
[01]ワンタッチ  ダイヤル
```

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 グループ名が表示されたら、[OK] を押します。

例）

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
[02]ﾄｳｷｮｳ
```

6 [◄－] または [＋►] を押して消去する宛先を選択し、ⓒ [クリア] を押します。

例）

```
NO.001=031XXXXXX
[01]ｷﾔﾉﾝ
```

続けて別の宛先を消去する場合は、本手順を繰り返します。

7 [OK] を押します。

```
NO.001=
```

8 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

グループ名を変更する

1 [メニュー] を押します。

2 [◄－] または [＋►] を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
6   ｱﾃｻｷﾋｮｳ ｼﾖｳｾｯﾃｲ
```

3 [◄－] または [＋►] を押して＜グループダイヤル＞を選択し、[OK] を押します。

```
ｱﾃｻｷﾋｮｳ ｼﾖｳｾｯﾃｲ
3   ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4 [◄－] または [＋►] を押してグループ名を変更するグループダイヤルを選択し、[OK] を押します。

例）

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
[02]ﾄｳｷｮｳ
```

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 [＋►] を押して変更する文字にカーソルを移動し、ⓒ [クリア] を押します。

例）

```
ﾅﾏｴ                [ｱ]
ﾄｳｷｮｳ
```

入力内容をすべて消去する場合は、ⓒ [クリア] を長押しします。

6 ⓪～⑨ [テンキー] を使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。

例）

```
ﾅﾏｴ                [ｱ]
ﾄｳ_
```

メモ

文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

7 [OK] を押します。

例）

```
ﾅﾏｴ                [ｱ]
ﾄｳｴｲ
```

8 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

グループダイヤルを消去する

1 ㊋［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
6    アテサキヒョウ  シヨウセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜グループダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

```
アテサキヒョウ  シヨウセッテイ
3    グループ  ダイヤル
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して消去するグループダイヤルを選択し、［OK］を押します。

例）

```
グループ  ダイヤル
[01]ワンタッチ  ダイヤル
```

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 グループ名が表示されたら、［OK］を押します。

例）

```
グループ  ダイヤル
[02]トウエイ
```

6 ⓒ［クリア］を押して登録済みの宛先を 1 件ずつ消去し、最後の 1 件を消去したら［OK］を押します。

```
NO.002=
```

メモ

- ［OK］ではなくもう 1 度ⓒ［クリア］を押すと、＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞と表示され、ここまでの操作が無効となってしまいます。この場合は手順 2 から操作をやりなおしてください。
- 宛先をすべて消去すると、グループ名は自動的に消去されます。

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

コピーする

Chapter 4

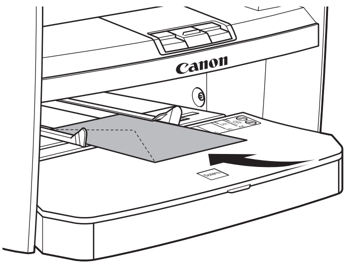
コピーの使いかたについて説明しています。

こんなことができます（コピー編）

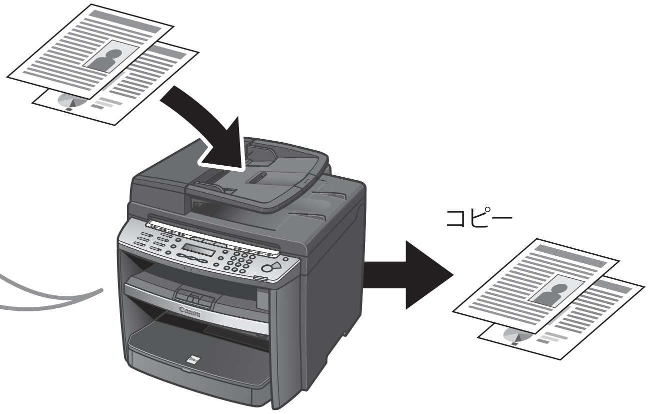
拡大／縮小コピーに加えて、両面コピーや、複数枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめたコピーができます。

手差しトレイからコピーする

・定型サイズ用紙
・フリーサイズ用紙
・はがき／封筒



原稿

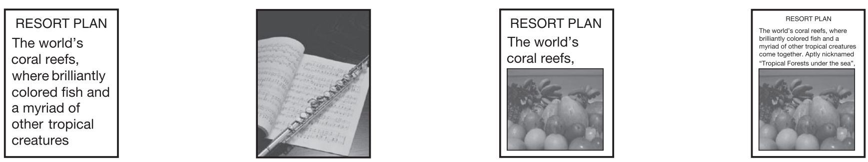


コピー

原稿に応じたコピーの調整

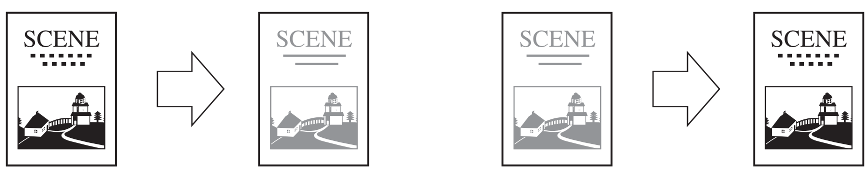
画質調整 (P.4-6)

モジ　シャシン　モジ／シャシン　モジ／シャシン＋



濃度調整 (P.4-8)

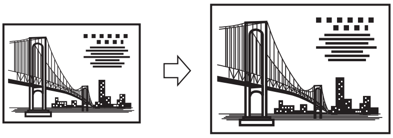
原稿　**うすく**　コピー　原稿　**こく**　コピー



さまざまなコピーの機能

拡大／縮小コピー (P.4-10)

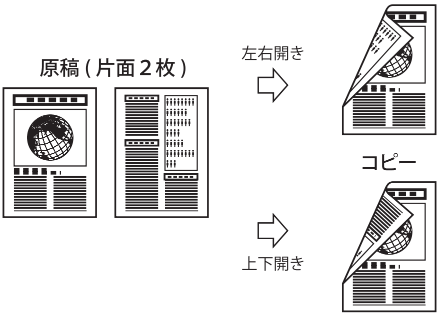
原稿　　コピー



両面コピー (P.4-18)

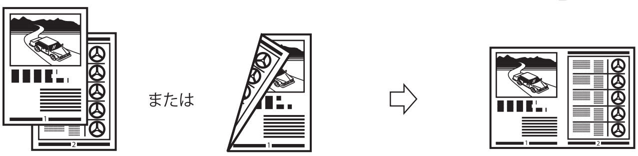
片面の原稿から両面に印刷する

コピー



2 in 1 (P.4-15)

原稿　　コピー



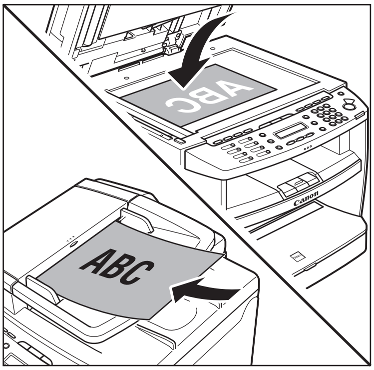
メモ

コピーの機能は組み合わせて使用できます。詳細については、それぞれの手順のページをご覧ください。

基本的なコピー方法

コピーの基本的な操作の流れを説明します。

1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。**



- 詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、ADF を閉じます。
- 使用できる原稿については「使用できる原稿について」（→ P.2-2）を参照してください。

2 **［コピー］［コピー］を押します。**

- 画質を調整したい場合は、「原稿の画質を選んでコピーする」（→ P.4-6）を参照してください。
- 濃度を調整したい場合は、「原稿の種類に応じて濃度を調整する」（→ P.4-8）を参照してください。
- 倍率を変更したい場合は、「拡大／縮小コピーする」（→ P.4-10）を参照してください。

3 **⓪ ～ ⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

```
100%
モジ/シャシン          1
```

- コピー部数はディスプレイの右端に表示されます。
- コピー部数を修正するときは、ⓒ［クリア］を押して設定部数を取り消し、必要な部数を入力しなおします。

> **メモ**
> コピー中は部数を変更することができません。

4 **（スタート）を押します。**

コピーを中止する

以下の手順で、原稿の読み込みや印刷を中止します。

メモ

読み込み中にコピージョブを中止した場合は、セットした原稿を取り除いてください。

1 ［ストップ／リセット］を押します。

2 ＜コピーヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄－］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ｺﾋﾟｰｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 〈 ﾊｲ          ｲｲｴ 〉
```

コピーが中止され、部数がリセットされます。

原稿の画質を選んでコピーする

原稿の種類に応じて、コピーの画質を調整できます。適切な種類を選択することで、色の再現性が向上します。1 分間何も操作しなかった場合、または [ストップ／リセット] を押した場合は、調整した設定は初期値に戻ります。

工場出荷時は＜モジ／シャシン＞に設定されています。

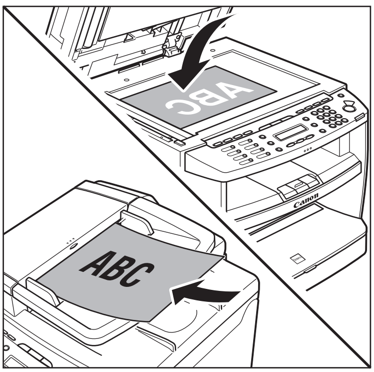
モジ　　シャシン　　モジ／シャシン　　モジ／シャシン＋



メモ

- 4 つのモード（＜モジ＞、＜シャシン＞、＜モジ／シャシン＞、＜モジ／シャシン＋＞）は重複して設定できません。どれか 1 つのモードを選択すると、直前に設定されていたモードは解除されます。
- 原稿が OHP フィルムの場合は、原稿の種類を設定したあとに濃度を調節してください。

1 **原稿をセットします。**



詳細は「原稿をセットする」（→ P. 2-4）を参照してください。

2 **[コピー] を押します。**

3 ［画質］を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。

- ＜モジ／シャシン＞：文字と写真のある原稿に適しています。
- ＜モジ＞：文字のみの原稿に適しています。
- ＜シャシン＞：細かい文字または写真のある原稿に適しています。
- ＜モジ／シャシン＋＞：細かい文字と写真のある原稿に適しています。

メモ

- 濃度が＜ジドウ＞に設定されている場合、＜モジ／シャシン＞、＜シャシン＞、または＜モジ／シャシン＋＞を設定すると、濃度は自動的に手動に切り替わります。
- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ファクス［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ガシツ＞で設定登録を行ってください。（→「メニューの設定内容」（→P.12-3））

4 0～9［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。

```
100%
         モジ゛/シャシン          1
```

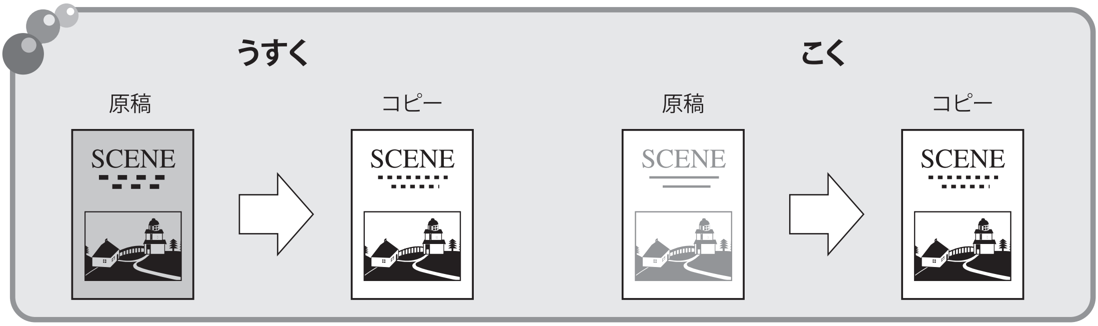
5 （スタート）を押します。

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿1枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

コピーする

原稿の種類に応じて濃度を調整する

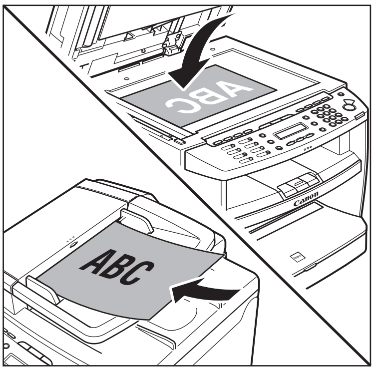
自動または手動で、原稿に最適な濃度に調整できます。
工場出荷時は＜シュドウ＞（5）に設定されています。



自動で調節する

原稿に最適な濃度を自動で調整できます。

1 **原稿をセットします。**



詳細は「原稿をセットする」（→ P. 2-4）を参照してください。

2 **［コピー］を押します。**

3 **［濃度］を繰り返し押して＜ジドウ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
ﾉｳﾄﾞ
                    ｼﾞﾄﾞｳ
```

メモ

画質は自動的に＜モジ＞に設定されます。

4 **⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。**

例）

```
100%          A4
  A    ﾓｼﾞ              1
```

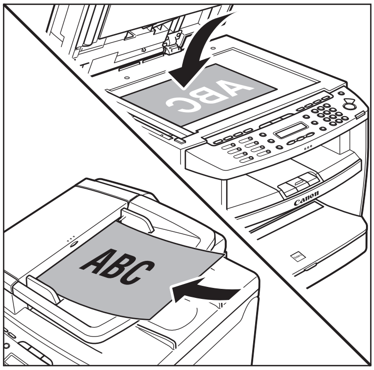
5 **（スタート）を押します。**

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

手動で調節する

原稿に最適な濃度を手動で調整できます。

1 **原稿をセットします。**



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 **［コピー］を押します。**

3 **［濃度］を押して手動モードを選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄−］または［+►］を押して濃度を調整し、［OK］を押します。**

例）

```
ノウド
-ウスク  ◖□□□□□■□□□□□◗  コク+
```

・［+►］：濃い原稿を薄くコピーします。
・［◄−］：薄い原稿を濃くコピーします。

メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→<コピー　シヨウ　セッテイ>→<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>→<ヨミトリ　ノウド>→<シュドウ>で設定登録を行ってください。（→「メニューの設定内容」（→ P. 12-3））

5 **⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。**

```
100%
◖ ■ ◗  モジ/シャシン        1
```

6 **（スタート）を押します。**

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿1枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

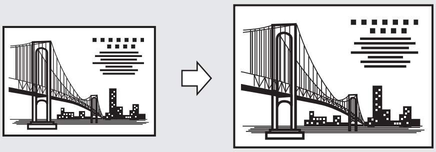
拡大／縮小コピーする

お好みのサイズに拡大、または縮小してコピーすることができます。A5 → A4 など、あらかじめ決まった倍率でコピーしたり（定型変倍）、1%きざみで個別に倍率の数値を指定してコピーしたりできます。

工場出荷時は＜ 100% 等倍＞に設定されています。

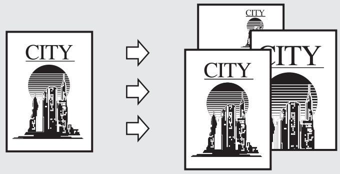
決められた用紙サイズに拡大／縮小コピーする（定形変倍）

原稿　　コピー



任意の倍率で拡大／縮小コピーする

原稿　　コピー



決められた用紙サイズに拡大／縮小コピーする（定形変倍）

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に拡大／縮小コピーできます。

1 原稿をセットします。



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 ［コピー］を押します。

3 ［拡大／縮小］を押します。

```
ﾃｲｹｲﾍﾝﾊﾞｲ
 -        100%        +
```

4 ［◄－］または［＋►］を押してコピー倍率を選択し、［OK］を押します。

例）

```
テイケイヘンバイ
      86%  A4   →  B5
```

- ＜ 200% MAX. ＞
- ＜ 141% A5 → A4 ＞
- ＜ 122% A5 → B5 ＞
- ＜ 115% B5 → A4 ＞
- ＜ 100% ＞
- ＜ 86% A4 → B5 ＞
- ＜ 81% B5 → A5 ＞
- ＜ 70% A4 → A5 ＞
- ＜ 50% MIN. ＞

メモ

- ＜コピー　シヨウ　セッテイ＞の＜サイズ　ケイレツ＞が＜インチ＞または＜ A ＞に設定されている場合は、定形コピー変倍は以下のようになります。
  イ　ン　チ：50%、64%、78%、100%、129%、200%
  A：50%、70%、100%、141%、200%
- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。

5 ⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。

例）

```
 86%           A4
          モジ/シャシン      1
```

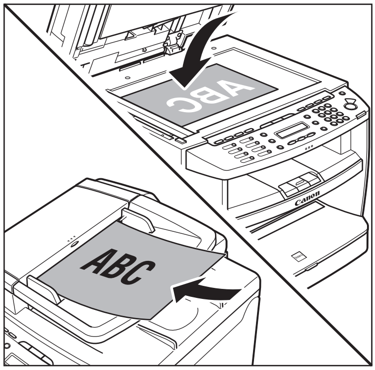
6 （スタート）を押します。

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

任意の倍率で拡大／縮小コピーする

1%きざみに任意の倍率を設定して、拡大／縮小コピーできます。倍率は、50 ～ 200%の範囲で設定することができます。

1 原稿をセットします。



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 コピー ［コピー］を押します。

3 ［拡大／縮小］を 2 回押します。

```
ズーム    50%-200%
 -          100%        +
```

4

⓪～⑨［テンキー］を使ってコピー倍率を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ズーム    50%-200%
 -          95%      +
```

［◄－］または［＋►］を押してコピー倍率を調整することもできます。コピー倍率を大きくするには、［＋►］を押します。コピー倍率を小さくするには、［◄－］を押します。

メモ

コピー倍率を 100％に戻すには、［拡大／縮小］を繰り返し押して＜ 100% ＞を選択し、［OK］を押します。

5

⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

例）

```
 95%            A4
        モジ/シャシン       1
```

6

（スタート）を押します。

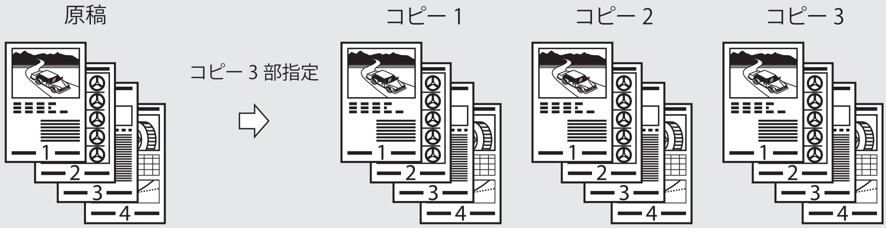
原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

ページをそろえてコピーする（ソート）

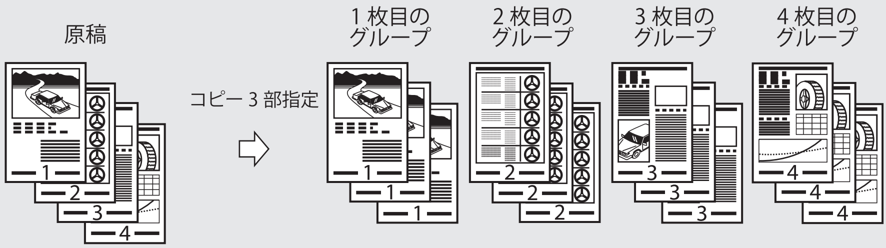
コピーされた用紙を排紙するとき、ページ順に一部ずつ排出できます。会議などの配布資料が簡単にできあがります。ソートは「両面コピーをする」（→ P.4-18）や「2 in 1」（→ P.4-15）の機能と組み合わせて使うことができます。

工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

「ソート」を設定した場合



「ソート」を設定していない場合



1 **原稿をセットします。**



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 **［コピー］を押します。**

> **メモ**
>
> ＜コピー　シヨウ　セッテイ＞の＜ヒョウジュンモード　ヘンコウ＞で＜ジドウソート＞が＜ ON ＞に設定されている場合は、手順 4 に進んでください。

3 **［ソート /2 in 1］を繰り返し押して＜ソート＞を選択し、［OK］を押します。**

```
ｿｰﾄ/ 2 in 1
                ｿｰﾄ
```

- ソートコピー機能を「2 in 1」（→ P.4-15）の機能と組み合わせて使いたい場合は、＜ソート＋ 2 in 1 ＞を選択し、［OK］を押します。
- ソートコピー機能を「両面コピーをする」の機能と組み合わせて使いたい場合は、＜ソート＞を選択したあと、「片面の原稿から両面にコピーする」（→ P.4-19）、「両面の原稿から両面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）」（→ P.4-20）、または「両面の原稿から片面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）」（→ P.4-21）の手順 3 に進んでください。

4 **⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

例）

```
100%         * A4
               ﾓｼﾞ/ｼｬｼﾝ     1
```

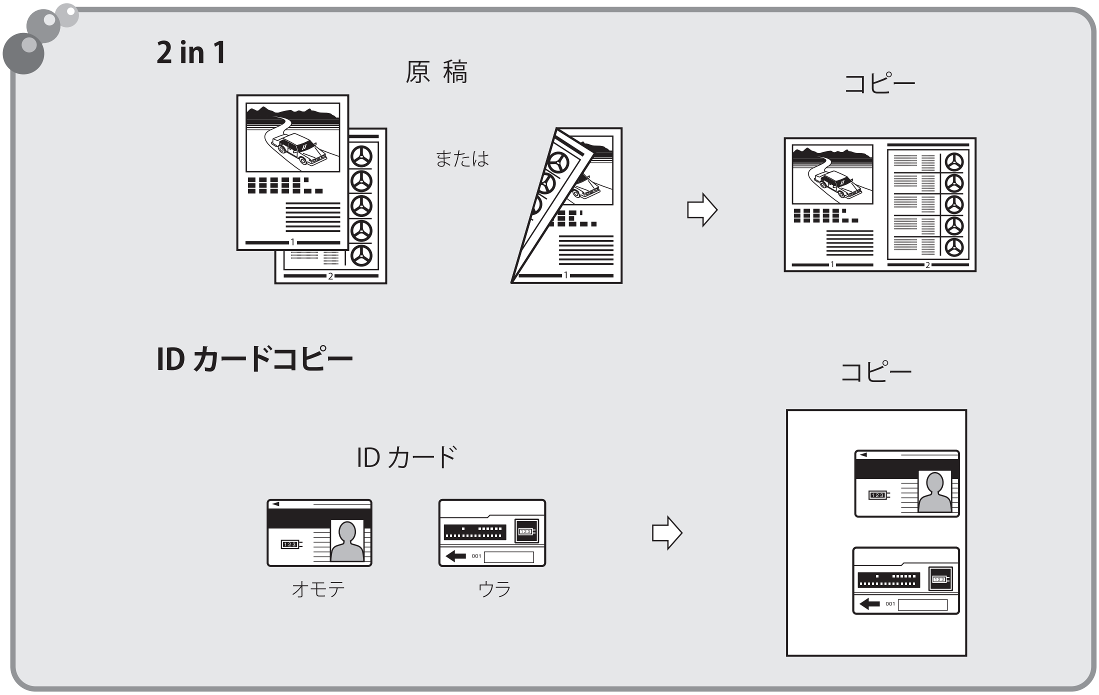
5 **（スタート）を押します。**

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

> **メモ**
>
> - すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
> - ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ジドウソート＞→＜ ON ＞で設定登録を行ってください。（→「メニューの設定内容」（→ P.12-3））
> - 複数ページの原稿を読み込んでいるときにメモリがいっぱいになった場合は、ディスプレイに＜メモリガ　イッパイデス＞と表示されます。この場合は、［OK］を押して待ち受け画面に戻り、メモリに蓄積された原稿をプリントするか、送信するか、削除してください。

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（縮小レイアウト）

2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさめて片面／両面コピーできます。コピー用紙を節約でき、保管時の省スペース化にも役立ちます。



2 in 1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙におさめて片面／両面コピーできます。コピー用紙を節約でき、保管時の省スペース化にも役立ちます。2 in 1 は「ページをそろえてコピーする（ソート）」（→ P.4-13）や「両面コピーをする」（→ P.4-18）の機能と組み合わせて使うことができます。

メモ

縮小倍率は、指定サイズの用紙にあわせて自動的に設定されます。

1 **原稿をセットします。**



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 **［コピー］を押します。**

3 **［ソート /2 in 1］を繰り返し押して＜ 2 in 1 ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
ソート/2 in 1
              2 in 1
```

- 2 in 1 の機能を「ページをそろえてコピーする（ソート）」（→ P.4-13）の機能と組み合わせて使いたい場合は、＜ソート＋ 2 in 1 ＞を選択し、［OK］を押します。
- 2 in 1 の機能を「両面コピーをする」の機能と組み合わせて使いたい場合は、＜ 2 in 1 ＞を選択したあと、「片面の原稿から両面にコピーする」（→ P.4-19）、「両面の原稿から両面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）」（→ P.4-20）、または「両面の原稿から片面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）」（→ P.4-21）の手順 3 に進んでください。

4 **⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

例）

```
 69%        * A4
        モジ/シャシン     1
```

5 **（スタート）を押します。**

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- 2 in 1 でコピーすると、縮小された原稿間に最大で 4mm の余白ができます。

ID カードコピー

カードの両面を用紙の片面にコピーすることができます。ID カードなどをコピーする場合に便利です。

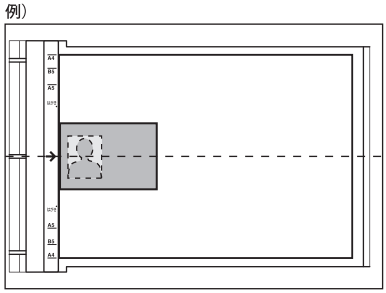
メモ

- この機能を使う場合、原稿（カード）は原稿台ガラスに置いてください。
- コピー倍率は自動的に＜ 100% ＞に設定されます。手動で変更することはできません。
- 使用できる用紙サイズは A4 またはレターです。これら以外の用紙サイズを設定した場合、ID カードコピーの設定は自動的にキャンセルされます。
- ID カードコピーを選択した場合、コピー倍率や用紙サイズの設定は自動的にキャンセルされます。
- ID カードコピーの機能を、2 in 1、ソート、または両面コピーと組み合わせて使うことはできません。

1 **カードを原稿台ガラスに置いて、ADF を閉じます。**

- 下の図のようにカードを置いてください。

例）



- カードの中心線と矢印を合わせてください。

2 ［コピー］を押します。

3 ［ソート /2 in 1］を繰り返し押して＜ ID カードコピー＞を選択し、［OK］を押します。

```
ｿｰﾄ/2 in 1
          IDｶｰﾄﾞｺﾋﾟｰ
```

4 ⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

例）

```
100%        * A4
        ﾓｼﾞ/ｼｬｼﾝ      1
```

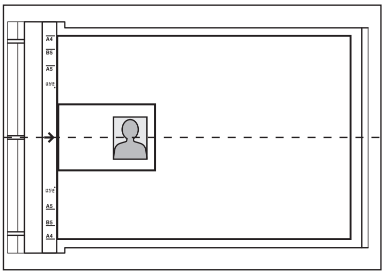
5 （スタート）を押します。

原稿の読み取りが完全に終わってから、次の手順に進んでください。

6 カードを裏返して置きます。

・下の図のようにカードを置いてください。

例）



・カードの中心線と矢印を合わせてください。

7 （スタート）を押します。

> **メモ**
>
> すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。

両面コピーをする

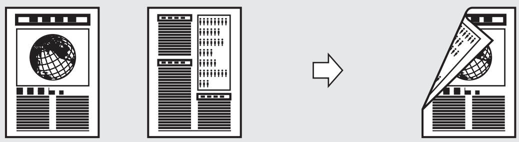
片面の原稿を用紙の両面にコピーしたり、両面の原稿を用紙の片面にコピーできます。たくさんのページをプリントするとき、用紙の表・裏両面を使えば、用紙の消費を半分に節約できます。

この機能は「ページをそろえてコピーする（ソート）」（→ P.4-13）または「2 in 1」（→ P.4-15）と組み合わせて使うことができます。

工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

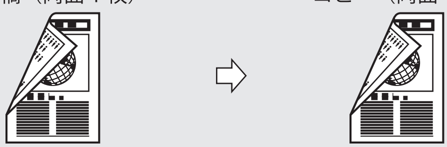
片面の原稿から両面にコピーする

原稿（片面２枚）　コピー（両面１枚）



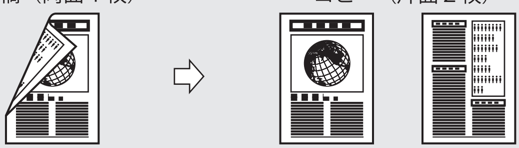
両面の原稿から両面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）

原稿（両面１枚）　コピー（両面１枚）



両面の原稿から片面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）

原稿（両面１枚）　コピー（片面２枚）



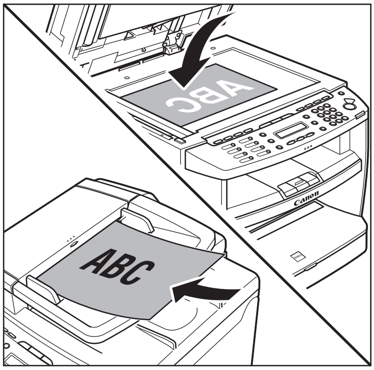
メモ

両面コピーには以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4 およびレター（封筒は使用できません。）
- 用紙の重さ：64 ～ 80 g/m^2

片面の原稿から両面にコピーする

片面の原稿を用紙の両面にコピーすることができます。

1 **原稿をセットします。**



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 **コピー［コピー］を押します。**

3 **［両面］を繰り返し押して＜カタメン＞リョウメン＞を選択し、［OK］を押します。**

```
リョウメン
            カタメン  >  リョウメン
```

メモ

原稿が奇数枚の場合、コピーの最終プリントの裏面は白紙になります。

4 **［◄－］または［＋►］を押してコピーの＜サユウビラキ＞または＜ジョウゲビラキ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
リョウメンコピーノ  シュルイ
                 サユウビラキ
```

- ＜サユウビラキ＞：コピーの表面と裏面の上下を同じ向きにします。
- ＜ジョウゲビラキ＞：コピーの表面と裏面の上下を逆向きにします。

メモ

横原稿の場合、＜サユウビラキ＞を選択すると、コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。＜ジョウゲビラキ＞を選択すると、コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。

5 **⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。**

例）

```
100%          *  A4
             モジ/シャシン        1
```

6 **（スタート）を押します。**

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［OK］を押します。

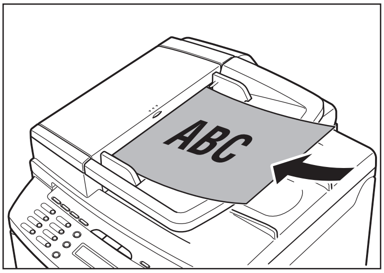
メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ファクス［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜リョウメン＞で設定登録を行ってください。（→「メニューの設定内容」（→ P.12-3））
- 手順 4 の代わりに、［OK］を押すだけでも手順 5 に進めます。この場合は、＜サユウビラキ＞でコピーされます。

両面の原稿から両面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）

両面の原稿を用紙の両面にコピーすることができます。

1 ADF に原稿をセットします。



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 ［コピー］を押します。

3 ［両面］を繰り返し押して＜リョウメン＞リョウメン＞を選択し、［OK］を押します。

```
リョウメン
          リョウメン  >  リョウメン
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して原稿の＜サユウビラキ＞または＜ジョウゲビラキ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ゲンコウノ シュルイ
              サユウビラキ
```

- ＜サユウビラキ＞：原稿の表面と裏面の上下が同じ場合に選択します。
- ＜ジョウゲビラキ＞：原稿の表面と裏面の上下が逆向きの場合に選択します。

5 ［◄－］または［＋►］を押してコピーの＜サユウビラキ＞または＜ジョウゲビラキ＞を選択し、［OK］を押します。

```
リョウメンコピーノ シュルイ
              サユウビラキ
```

- ＜サユウビラキ＞：コピーの表面と裏面の上下を同じ向きにします。
- ＜ジョウゲビラキ＞：コピーの表面と裏面の上下を逆向きにします。

6 ⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。

例）

```
100%         * A4
             モジ/シャシン      1
```

7 （スタート）を押します。

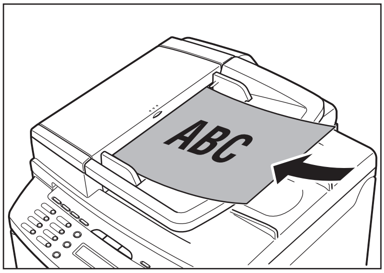
メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜リョウメン＞で設定登録を行ってください。（→「メニューの設定内容」（→ P.12-3））
- 手順 4 と手順 5 は省略できます。この場合、原稿もコピーも＜サユウビラキ＞に設定されます。
- 手順 4 で＜ジョウゲビラキ＞を選択したあと［スタート］を押すと、コピーも＜ジョウゲビラキ＞となります。

両面の原稿から片面にコピーする（MF4380dn/D450 のみ）

両面の原稿を用紙の片面にコピーすることができます。

1 ADF に原稿をセットします。



詳細は「原稿をセットする」（→ P.2-4）を参照してください。

2 [コピー] ［コピー］を押します。

3 ［両面］を繰り返し押して＜リョウメン > カタメン＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾘｮｳﾒﾝ
              ﾘｮｳﾒﾝ  >  ｶﾀﾒﾝ
```

4 ［◄−］または［＋►］を押して原稿の＜サユウビラキ＞または＜ジョウゲビラキ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ｹﾞﾝｺｳﾉ  ｼｭﾙｲ
                    ｻﾕｳﾋﾞﾗｷ
```

・＜サユウビラキ＞：原稿の表面と裏面の上下が同じ場合に選択します。
・＜ジョウゲビラキ＞：原稿の表面と裏面の上下が逆向きの場合に選択します。

5 ⓪～⑨［テンキー］を使って、必要なコピー部数（1～99）を入力します。

例）

```
100%           *  A4
              ﾓｼﾞ/ｼｬｼﾝ       1
```

6 （スタート）を押します。

メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- [ファクス] ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜リョウメン＞で設定登録を行ってください。（→「メニューの設定内容」（→ P.12-3））
- 手順 4 は省略できます。この場合、原稿は＜サユウビラキ＞で読み込まれます。

コピーする

用紙サイズのグループを選択する

用紙サイズのグループを選択する方法を説明しています。
工場出荷時は＜ AB ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜コピー　シヨウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
4   ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して＜サイズ　ケイレツ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ
2   ｻｲｽﾞ ｹｲﾚﾂ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して用紙サイズのグループを選択し、［OK］を押します。

```
ｻｲｽﾞ ｹｲﾚﾂ
                    AB
```

次のグループから選択できます。
＜ AB ＞、＜インチ＞、＜ A ＞

標準モードを変更する

標準モードとは、電源を入れたり、[ストップ／リセット］を押したりするときに自動的に適用されるコピー機能の組み合わせのことです。標準モードはお好みで変更することができます。

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

・<ガシツ>：<モジ／シャシン>
・<ヨミトリ　ノウド>：<シュドウ>（5）
・<バイリツ>：< 100% >
・<ジドウソート>：< OFF >
・<リョウメン>：<リョウメン　シナイ>

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して<コピー　ショウ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
4    ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>を選択し、［OK］を押します。

```
ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ
1    ﾋｮｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞﾉ ﾍﾝｺｳ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して変更したい設定項目を選択し、［OK］を押します。

例）

```
ﾋｮｳｼﾞｭﾝﾓｰﾄﾞﾉ ﾍﾝｺｳ
1    ｶﾞｼﾂ
```

以下の設定項目があります。

・<ガシツ>
・<ヨミトリ　ノウド>
・<バイリツ>
・<ジドウソート>
・<リョウメン>

メモ

［OK］の前に［ストップ／リセット］を押した場合は、設定内容は保存されません。

5 ［ストップ／リセット］を押して終了したら、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ

［メニュー］を押すと直前の画面に戻ります。

コピーの設定を確認する

＜ジドウ　ソート＞、＜リョウメン＞、＜2 in 1＞、＜ID カードコピー＞の現在の設定を確認できます。

1 ［ジョブキャンセル／状況確認］を繰り返し押して＜セッテイカクニン＞を選択し、［OK］を押します。

```
セッテイカクニン
```

＜ジドウ　ソート＞、＜リョウメン＞、＜2 in 1＞、＜ID カードコピー＞の現在の設定が表示されます。

例）

```
リョウメン
```

ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

Chapter 5

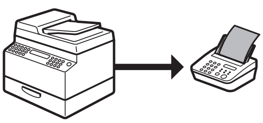
ファクス機能の使いかたについて説明しています。

こんなことができます（ファクス編）

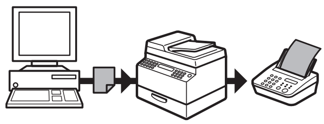
スーパー G3 対応（搭載）のファクス機能をはじめ、お使いのパソコンから直接ファクスを送信することができます。受信したファクス文書は指定した宛先へ転送することもできます。

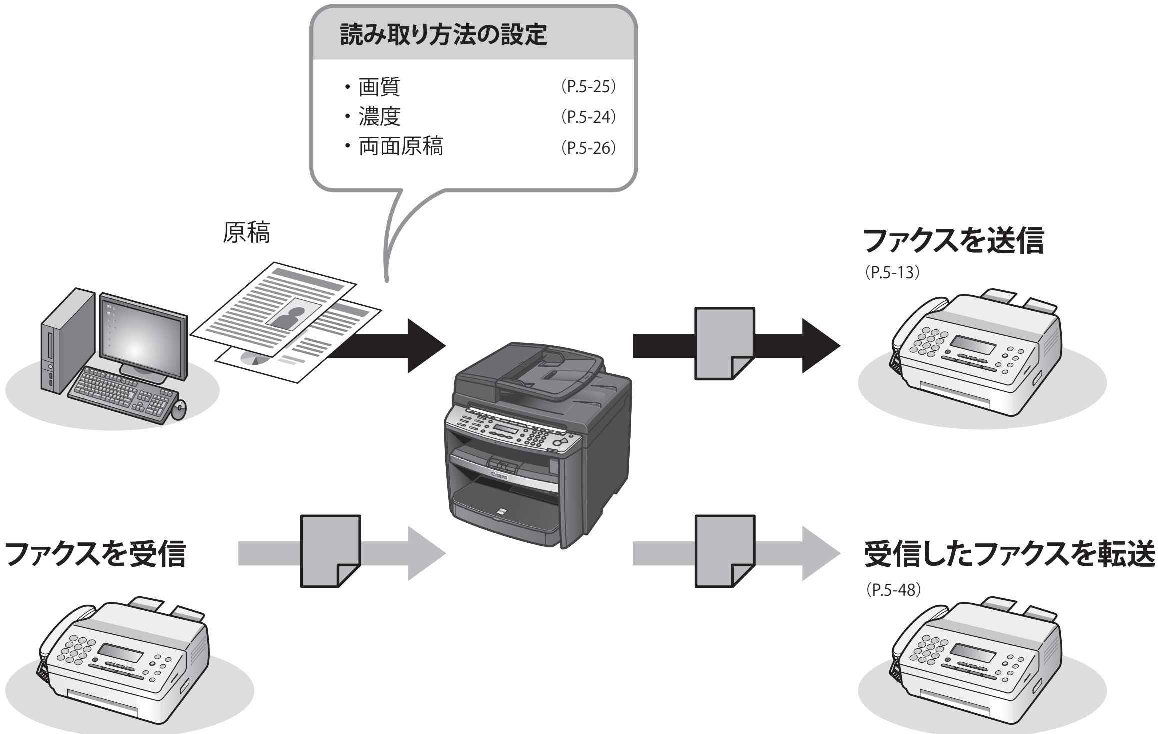
使用できるファクスの種類

ファクス（P.5-13）



PC ファクス（P.5-16）

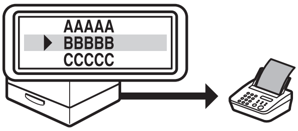




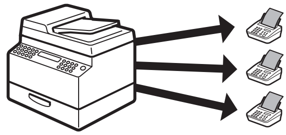
さまざまな送信機能

さまざまな宛先の指定方法 （P.5-19）

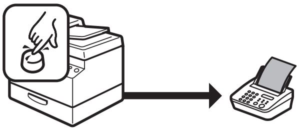
宛先検索



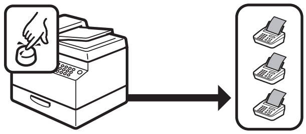
同報送信



ワンタッチダイヤル

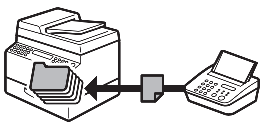


グループダイヤル

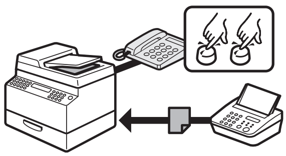


さまざまな受信機能

メモリ受信 （P.5-45）



リモート受信 （P.5-40）



お使いになる前に（ファクス編）

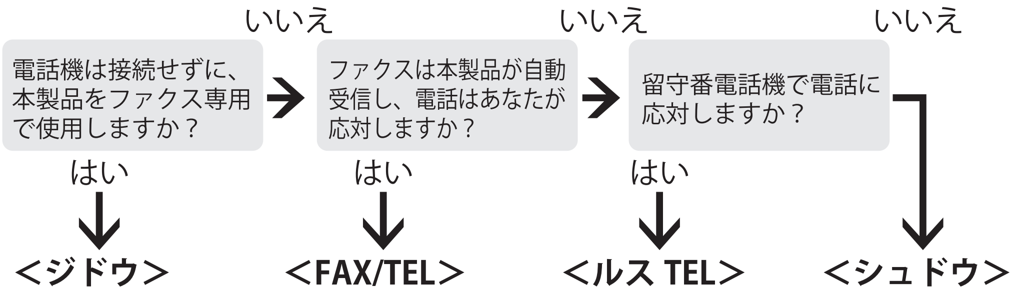
ファクスをお使いになる前に作業の必要な項目について説明します。

はじめに以下の作業を行ってください。

- 本製品のファクス番号
  本製品で使用するファクス番号を登録します。（→本製品のファクス番号を登録する：P.5-12）
- こちらの名前
  会社名や個人名などを登録します。（→本製品の名称を登録する：P.5-11）
- 日付と時刻
  現在の日付と時刻を設定します。（→日付と時刻を設定する：P.5-10）
- 電話回線の種類
  本製品に接続する電話回線の種類を設定します。（→電話回線の種類を設定する：P.5-10）
- ファクス受信モード
  ファクス文書の受信方法を用途に合わせて設定します。（→ファクスの受信方法：P.5-4）

ファクスの受信方法

ファクスの受信操作には、本製品が自動で応対するものやお客様が手動で応対するものなど、いくつかの受信方法があります。以下をもとに、用途にあったファクスの受信方法を選択してください。
工場出荷時は＜ジドウ＞に設定されています。



各受信モードについては以下を参照してください。

- ＜ジドウ＞：ジドウモード（P.5-5）
- ＜ FAX/TEL ＞：FAX/TEL モード（P.5-6）
- ＜ルス TEL ＞：ルス TEL モード（P.5-7）
- ＜シュドウ＞：シュドウモード（P.5-8）

メモ

受信したファクスのプリントとネットワークスキャンは同時に実行できません。同時に実行しようとした場合、それぞれの原稿は状況に応じて以下のように処理されます。

- ファクスの受信中にスキャンしようとした場合や、スキャン中にファクスを受信した場合、スキャンが完了してからプリントが開始されます。
- プリント中にスキャンしようとした場合、スキャンは実行されません。プリントが完了してから、再度スキャンの操作をしてください。

ジドウモード

このモードではファクスを自動的に受信します。外付け電話を使用しないでファクス機能のみを使用する場合にこのモードを選択します。（外付け電話を接続した場合は、＜チャクシン　ヨビダシ＞で設定した回数だけ鳴っている間は、電話を受けることもできます。）

●お使いになる前に

ファクスの受信モード設定を＜ジドウ＞にします。（→受信モードを設定する：P.5-9）

●着信時の動作

・外付け電話を接続しない場合

– 着信があったとき、相手がファクスの場合は自動的に受信します。

– 相手が電話の場合は、通話できません。

・外付け電話を接続した場合

着信音が設定した回数だけ鳴ります。
・鳴らす回数は＜チャクシン　ヨビダシ＞で指定できます。

→ 着信音が鳴っている間に受話器を取った場合

→ → **相手がファクスの場合**
「ピー」という音が聞こえる場合は相手がファクスです。以下の手順に従ってファクスを受信します。
1. ファクス [ファクス] を押します。
2. [スタート] を押します。
3. 受話器をおきます。

→ → **相手が電話の場合**
そのまま通話します。

→ 着信音が鳴っている間に受話器を取らなかった場合

→ → **相手がファクスの場合**
自動的に受信します。

→ → **相手が電話の場合**
通話できません。

メモ

＜チャクシン　ヨビダシ＞を変更する場合は、「呼び出し音を設定する」（P.5-39）を参照してください。

FAX/TEL モード

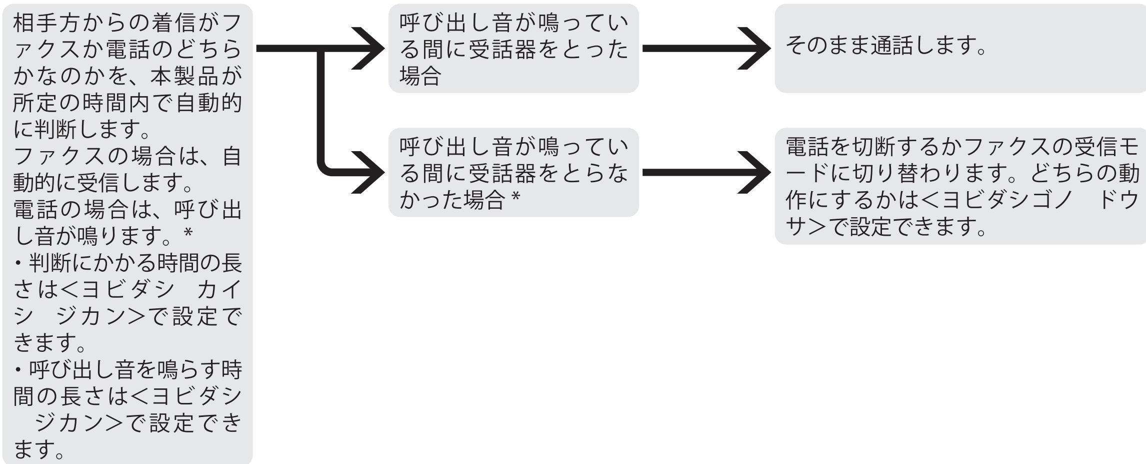
このモードではファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は呼び出し音を鳴らします。

●お使いになる前に

以下の作業を行ってください。

- 外付け電話機を本製品に接続します。（→ e- マニュアル「本機の設置、設定」「ファクスの設定（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」）
- ファクスの受信モード設定を＜ FAX/TEL ＞にします。（→受信モードを設定する：P.5-9）

●着信時の動作



* 相手方に応答メッセージが流れます。

- 相手方が呼び出し中のとき

  「ただいま電話を呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。ファクシミリの方は送信してください」
- 相手方が呼び出し中に受話器をとらなかったとき（＜ヨビダシゴノ　ドウサ＞を＜ジュシン＞に設定した場合）

  「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は送信してください」
- 相手方が呼び出し中に受話器をとらなかったとき（＜ヨビダシゴノ　ドウサ＞を＜シュウリョウ＞に設定した場合）

  「呼び出しましたが近くにおりません。申し訳ございませんが後ほどおかけ直しください」

メモ

＜ヨビダシ　カイシ　ジカン＞、＜ヨビダシ　ジカン＞、＜ヨビダシゴノ　ドウサ＞を変更する場合は、「 受信モードを設定する」（P.5-9）を参照してください。

ルス TEL モード

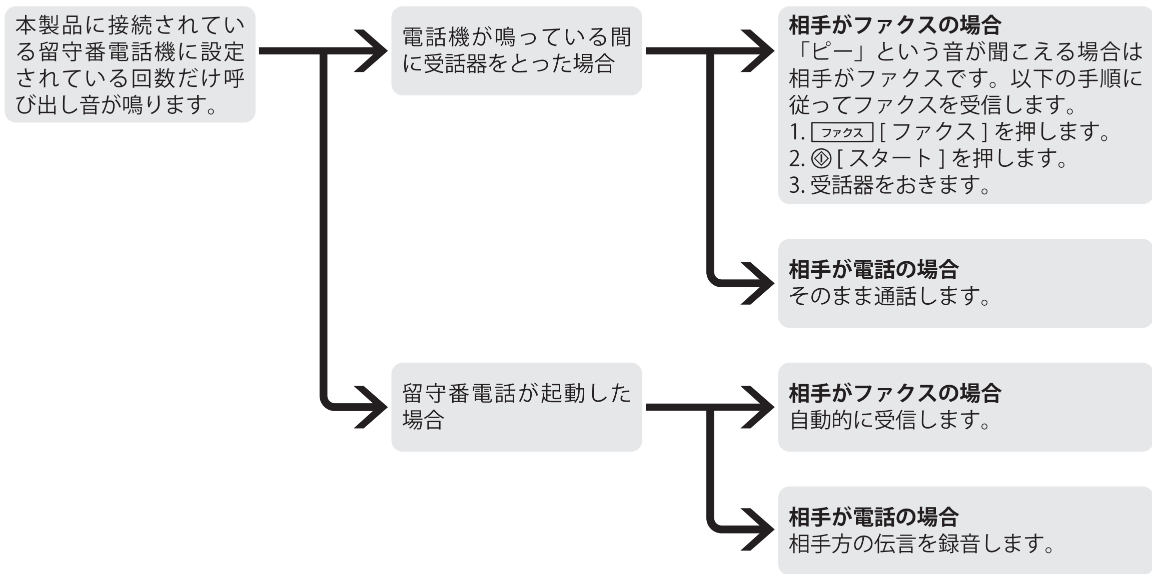
このモードではファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は相手方の伝言を留守番電話に録音します。

●お使いになる前に

以下の作業を行ってください。

- 留守番機能付き電話機を本製品に接続します。（→ e- マニュアル「本機の設置、設定」「ファクスの設定（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」）
- 呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴ったあとで留守番機能が起動するように設定します。
- 事前に留守番メッセージを電話機に録音してください。（留守番メッセージは、最初の 4 秒間程度を無音状態にするか、または全体の長さを 20 秒以内にすることを推奨します。）
- ファクスの受信モード設定を＜ルス TEL ＞にします。（→受信モードを設定する：P.5-9）

●着信時の動作



メモ

留守番機能を解除した場合は、ファクスの受信モード設定も変更してください。変更しないとファクスを自動的に受信できなくなります。

シュドウモード

このモードでは電話もファクスも着信時に呼び出し音が鳴りますので受話器をとって手動で応対します。ファクスよりも電話を多く使う場合に適したモードです。

●お使いになる前に

以下の作業を行ってください。

・外付け電話機を本製品に接続します。（→ e- マニュアル「本機の設置、設定」「ファクスの設定（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」）

・ファクスの受信モード設定を<シュドウ>にします。（→受信モードを設定する：P.5-9）

●着信時の動作

外付け電話機が鳴ります。

→ 電話機が鳴っている間に受話器をとらなかった場合
→ 電話もファクスも受けることはできません。

→ 電話機が鳴っている間に受話器をとった場合

→ **相手がファクスの場合**
「ピー」という音が聞こえる場合は相手がファクスです。以下の手順に従ってファクスを受信します。
1. ファクス [ファクス] を押します。
2. [スタート] を押します。
3. 受話器をおきます。

→ **相手が電話の場合**
そのまま通話します。

* リモート受信が設定されている場合は、お使いの電話機からのダイヤル操作でファクスを受信することもできます。（→電話機からの操作でファクスを受信する（リモート受信）：P.5-40）

受信モードを設定する

用途にあわせてファクスの受信モードを設定します。
工場出荷時は<ジドウ>に設定されています。

1 ㊙［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して<ファクスセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5   ファクスセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して<ジュシンモード>を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
1   ジュシンモード
```

4 ［◄−］または［+►］を押して受信モードを選択し、［OK］を押します。

```
ジュシンモード
                  FAX/TEL
```

< FAX/TEL >を選択した場合は、詳細な内容を設定できます。

■< FAX/TEL >を選択した場合

① ［◄−］または［+►］を押して<ヨビダシ カイシ ジカン>を選択し、［OK］を押します。

```
F/T ショウサイ セッテイ
1   ヨビダシ カイシ ジカン
```

② ［◄−］または［+►］を押して着信してから呼び出し音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間（4 秒～ 30 秒）を選択し、［OK］を押します。

```
ヨビダシ カイシ ジカン
                  6ビョウ
```

メモ

- 設定した時間が短いと、ファクス受信時にファクスと検出されず、外付け電話機の呼び出し音が鳴る場合があります。呼び出し音が鳴ってもファクスは受信できますが、ファクス受信時に呼び出し音が鳴ってしまう場合は、<ヨビダシ カイシ ジカン>を長く設定してください。
- 設定した時間は、相手側は呼び出し音が何も聞こえない状態になります。
- 設定した時間が長いと、相手側の無音状態が長くなります。
- 本製品がファクスを受信すると、呼び出し音が鳴らずに自動的に受信されます。
- 工場出荷時は< 6 ビョウ>に設定されています。

③ ［◄−］または［+►］を押して<ヨビダシ ジカン>を選択し、［OK］を押します。

```
F/T ショウサイ セッテイ
2   ヨビダシ ジカン
```

④ ［◄−］または［+►］を押して呼び出し音を鳴らす時間（10 秒～ 45 秒）を選択し、を選択し、［OK］を押します。

```
ヨビダシ ジカン
                  22ビョウ
```

メモ

工場出荷時は< 22 ビョウ>に設定されています。

⑤ ［◄−］または［+►］を押して<ヨビダシゴノ ドウサ>を選択し、［OK］を押します。

```
F/T ショウサイ セッテイ
3   ヨビダシゴノ ドウサ
```

⑥［◄－］または［＋►］を押して呼び出し終了後の本製品の動作を選択し、［OK］を押します。

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞﾉ ﾄﾞｳｻ
            ｼﾞｭｼﾝ
```

・＜ジュシン＞：ファクスを受信します。
・＜シュウリョウ＞：通信を切断します。

5 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ

受信モードを＜ FAX/TEL ＞に設定していて、外付け電話の呼び出し音が鳴らない場合、もしくは電話をかけられない場合には、［メニュー］→＜ファクスセッテイ＞→＜キホントウロク＞→＜コウシュウカイセン　セツゾク＞を＜アダプタ　セツゾク１＞に設定してください。それでも改善しない場合には、＜コウシュウカイセン　セツゾク＞を＜アダプタ　セツゾク２＞に設定してください。
* 工場出荷時は＜チョクセツ　セツゾク＞に設定されています。

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を設定します。設定した時刻と日付は、時刻指定機能の基準時刻になります。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜タイマーセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
8   ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜ヒヅケ／ジコク　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ
1   ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ
```

4 ⓪～⑨［テンキー］を使って時刻（24 時間表示）と日付（年／月／日）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ
15:50        '08 07 31
```

5 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

電話回線の種類を設定する

初期設定では、電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。電話回線の種別を自動的に判別する場合は、以下の設定をする必要はありません。なお、構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合は、電話回線の種別が自動的に判別されませんので、以下の手順に従い手動で設定してください。
工場出荷時は＜ジドウ＞に設定されています。

メモ

電話回線の種別を自動的に判別する場合は、電話線コードを接続してから、電源を入れてください。電源を先に入れた場合、電話回線の種別は自動的に判別されません。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
5   ﾌｧｸｽｾｯﾃｲ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜キホントウロク＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾌｧｸｽｾｯﾃｲ
2   ｷﾎﾝﾄｳﾛｸ
```

4 ［◄ー］または［＋►］を押して<カイセン シュルイ　センタク>を選択し、［OK］を押します。

```
キホントウロク
4　カイセン　シュルイ　センタク
```

5 ［◄ー］または［＋►］を押して<シュドウ>を選択し、［OK］を押します。

```
カイセン　シュルイ　センタク
                    シュト゛ウ
```

6 ［◄ー］または［＋►］を押して電話回線の種類を選択し、［OK］を押します。

- <プッシュカイセン>：お使いの電話がトーン回線の場合に選択します。
- <ダイヤルカイセン>：お使いの電話がパルス回線の場合に選択します。
- <ダイヤルカイセン>を選択した場合、回線速度を< 20PPS >か< 10PPS >から選択します。工場出荷時は< 20PPS >に設定されています。

メモ
お使いの電話回線の種類が分からない場合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

本製品の名称を登録する

本製品の名称として会社名や個人名などを登録します。
登録した名称は、発信元記録として相手先の記録紙にプリントされます。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄ー］または［＋►］を押して<ファクスセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5　ファクスセッテイ
```

3 ［◄ー］または［＋►］を押して<キホントウロク>を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
2　キホントウロク
```

4 ［◄ー］または［＋►］を押して<ユーザリャクショウ　トウロク>を選択し、［OK］を押します。

```
キホントウロク
2　ユーサ゛リャクショウ　トウロク
```

5 ⓪～⑨［テンキー］を使って名称（最大 32 文字）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ユーサ゛リャクショウ　トウロク　　［ア］
キヤノン
```

メモ
文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.1-16）を参照してください。

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

本製品のファクス番号を登録する

本製品で使用するファクス番号を登録します。登録したファクス番号は、原稿を送信したとき、発信元記録として相手先の記録紙にプリントされます。

1 [メニュー] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して<ファクスセッテイ>を選択し、[OK] を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 [◄−] または [+►] を押して<キホントウロク>を選択し、[OK] を押します。

```
ファクスセッテイ
2    キホントウロク
```

4 [◄−] または [+►] を押して<ユーザ TEL バンゴウトウロク>を選択し、[OK] を押します。

```
キホントウロク
1    ユーザ゛TELハ゛ンコ゛ウトウロク
```

5 ⓪〜⑨ [テンキー] を使ってお使いのファクス番号（スペースを含め最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
ユーザ゛TELハ゛ンコ゛ウトウロク
123XXXXXXX
```

6 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

ファクスを送信する

ファクスの送信方法や便利な機能について説明します。

ファクスの基本的な送信方法

ファクス送信の基本的な操作の流れを概説します。

1 原稿をセットします。



2 ファクス［ファクス］を押します。

3 必要に応じて原稿の読み込みを設定します。

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

4 ⓪〜⑨、(#)［テンキー］、(⋇)［トーン］を使って、相手先のファクス番号を入力します。

例）

= 0 1 2 X X X X X X X_

間違った番号を入力した場合は、［ストップ / リセット］を押します。

5 ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄－］または［＋►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿 1 枚ごとにを押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

電話をかけてからファクスを送信する（手動送信）

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場合は、手動で送信してください。

メモ

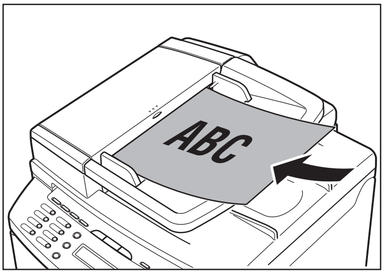
- 手動送信では、原稿台ガラスは使用できません。
- 手動送信では、グループダイヤルは使用できません。
- 手動送信では、両面原稿の読み込み機能は使用できません。

1 外付け電話機を本製品に接続します。

外付け電話機の接続方法については、e- マニュアル「本機の設置、設定」「ファクスの設定（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」を参照してください。

> **メモ**
>
> 本製品に接続する電話機が、黒電話 *（600 型、601 型など）を含む、金属ベル内蔵電話機の場合は、呼び出し音が小さかったり、呼び出し音が鳴らない可能性があります。黒電話以外でも、お使いの電話機によっては呼び出し音が鳴らない可能性があります。
> * 黒電話とは、以前に一般家庭で普及していた、旧式の黒い電話機の総称です。

2 **原稿を ADF にセットします。**



3 **［ファクス］を押します。**

4 **必要に応じて原稿の読み込みを設定します。**

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

5 **［オンフック］を押すか、外付け電話機の受話器を取ります。**

［オンフック］を押した場合は、［◄−］または［+►］を押すと通信音量を調整できます。

6 **相手先のファクス番号をダイヤルします。**

> **メモ**
>
> ファクス番号を入力する前に発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

7 **受話器で相手と話します。**

- 手順 5 で［オンフック］を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。
- 相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順 9 に進んでください。

8 **ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。**

9 **「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を置きます。**

読み取り動作が開始します。読み取りが終了すると、指定した宛先に送信されます。

一時的にトーン発信へ切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線での利用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合は、以下の手順で一時的にトーン信号を送出することができます。

メモ

通話するには、外付け電話機を本製品に接続する必要があります。

1 **［ファクス］を押します。**

2 **［オンフック］を押します。**

> **メモ**
>
> ファクス番号を入力する前に、発信音を確認します。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

3 **⓪〜⑨［テンキー］を使って、情報サービスにダイヤルします。**

例）

```
= 0 1 2
```

ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

4 **情報サービスの録音メッセージが応答したら、㊀［トーン］を押してトーン発信に切り替えます。**

例）

= 0 1 2 T

5 **⓪〜⑨［テンキー］を使って、情報サービスに必要な番号を入力します。**

例）

= 0 1 2 T 3 4 5 6

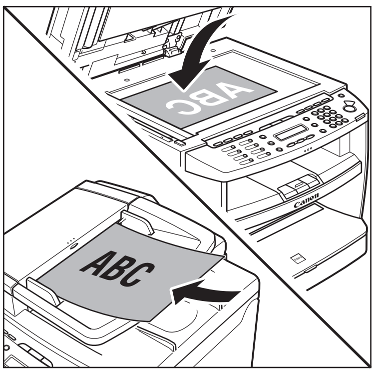
6 **ファクスを受信する場合は、◇［スタート］を押します。**

終了すると通信を自動的に切断し、回線は元の設定に戻ります。

海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

海外へのファクス送信時、ファクス番号にポーズの挿入が必要な場合があります。

1 **原稿をセットします。**



2 ファクス［ファクス］を押します。

3 **必要に応じて原稿の読み込みを設定します。**

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

4 **⓪〜⑨［テンキー］を使って国際アクセス番号を入力します。**

例）

= 0 1 2

国際アクセス番号の詳細については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

5 **必要に応じて［リダイヤル / ポーズ］を押し、ポーズを入力します。**

例）

= 0 1 2 P_

- ポーズを意味する＜ P ＞が表示されます。
- ポーズ 1 つにつき 2.5 秒間のポーズ時間が設定されます。
- ポーズを連続して入れる場合は、もう一度［リダイヤル / ポーズ］を押してください。

6 **⓪〜⑨［テンキー］を使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス／電話番号を入力します。**

例）

= 0 1 2 P 0 3 1 X X X X X X

7 **必要に応じてファクス／電話番号の末尾に、［リダイヤル / ポーズ］を押してポーズを入力します。**

例）

= 0 1 2 P 0 3 1 X X X X X X P

8 **◇［スタート］を押します。**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿1枚ごとに◇［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

> **メモ**
>
> <ファクス NO. カクニンニュウリョク>を< ON >に設定している場合、⓪〜⑨、#［テンキー］、＊［トーン］を使って宛先を入力すると、宛先の再入力画面が表示されます。同じ番号をもう一度入力し、［OK］を押してください。

PCファクスの基本的な送信方法

PCファクスを使うとアプリケーションソフトウェアで作成したデータをお使いのコンピュータから直接ファクス送信することができます。ここではPCファクス送信の基本的な操作の流れを概説します。

メモ

PCファクス送信とネットワークスキャンは同時に実行できません。同時に実行しようとした場合、それぞれの原稿は状況に応じて以下のように処理されます。
- ネットワークスキャン中にPCファクス送信しようとした場合、スキャンが完了してから送信が開始されます。
- PCファクス送信中にネットワークスキャンをしようとした場合、スキャンは実行されません。送信が完了してから、再度スキャンの操作をしてください。

1 **アプリケーションソフトウェアを起動して、ファクス送信する原稿を開きます。**

2 **メニューから［印刷］を選択します。**

> **メモ**
>
> ［印刷］ダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって表示する手順が異なります。

3 **お使いのファクスを選択したあと、［プロパティ］をクリックします。**

> **メモ**
>
> - ここに表示されるファクス名は、［プリンタ］フォルダ（または［プリンタとFAX］フォルダ）で変更することができます。［プリンタ］フォルダ（または［プリンタとFAX］フォルダ）の表示方法については、e-マニュアル「ファクスを使う」「基本的なファクス送信方法（PCファクス）」を参照してください。
> - ファクスドライバの画面は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって表示する手順が異なります。

4 **ファクスドライバの画面の各ページでファクス送信の設定を行ったあと、［OK］をクリックします。**

5 **［OK］をクリックします。**

6 **［送信の設定］ページで送信する相手先名とファクス番号を入力したあと、［相手先一覧に追加］をクリックします。**

メモ

- 一度に送信可能な相手先件数は、カバーシートの添付条件により異なります。詳しくは、ファクスドライバ画面右下にある［ヘルプ］をクリックして、ヘルプを参照してください。
- ［アドレス帳］をクリックして、相手先をアドレス帳から選択することもできます。アドレス帳については e- マニュアル「ファクスを使う」「アドレス帳の使いかた（PC ファクス）」を参照してください。
- アドレス帳の保存先フォルダにアクセス権限（デフォルトは、Power User 権限以上）がない場合には、アドレス帳の参照、編集を行えません。その場合は、アクセス権限のあるユーザでログオンするか、［アドレス帳の編集］ページで［フォルダ指定］をクリックして、アドレス帳の保存先を、書き込み権限のある［マイドキュメント］フォルダなどに変更してください。アドレス帳の保存先の変更方法については、e-マニュアル「ファクスを使う」「アドレス帳の使いかた（PC ファクス）」を参照してください。

7 **カバーシートを添付する場合は、［カバーシート］ページを選択して、カバーシートに関する設定をします。**

カバーシートの添付については、e- マニュアル「ファクスを使う」「カバーシートを添付する（PC ファクス）」を参照してください。

8 **［OK］をクリックします。**

ファクスの通信を中止する

送信中のジョブを中止します。

メモ

送信中のジョブは状況確認画面から中止することもできます。（→送信文書を確認／消去する：P.5-49）

1 ファクス［ファクス］を押します。

2 ［ストップ / リセット］を押します。

3 ＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄－］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？
 〈　ハイ　　　　　　　イイエ　〉
```

メモ

ADF に原稿が残っている場合は、取り除いてください。

ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

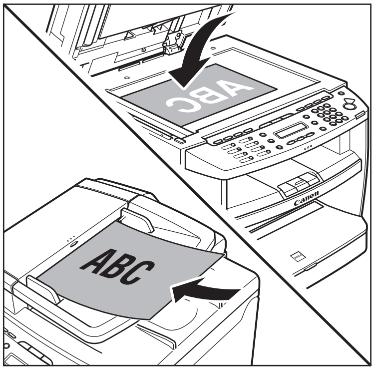
宛先を指定する

ファクスの宛先を指定する方法について説明します。送信先は、ワンタッチダイヤルキーや短縮ダイヤルに登録されている宛先を選択、または新規に宛先を入力して指定することができます。

新規宛先のファクス番号を指定する

⓪～⑨、# [テンキー]、✱ [トーン] を使って、宛先の番号を入力します。

1 **原稿をセットします。**



2 ファクス **[ファクス] を押します。**

3 **必要に応じて原稿の読み込みを設定します。**

詳細については、「濃度を調節する」(P.5-24)、「画質を調節する」(P.5-25)、「両面原稿を読み込む (MF4380dn のみ)」(P.5-26) を参照してください。

4 **⓪～⑨、# [テンキー]、✱ [トーン] を使って、相手先のファクス番号を入力します。**

例)

= 012XXXXXXX_

間違った番号を入力した場合は、[ストップ / リセット] を押します。

5 **[スタート] を押します。**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、[◄−] または [+►] を押して原稿サイズを選択したあと、原稿 1 枚ごとに [スタート] を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら [OK] を押します。

メモ

<ファクス NO. カクニンニュウリョク>を< ON >に設定している場合、⓪～⑨、# [テンキー]、✱ [トーン] を使って宛先を入力すると、宛先の再入力画面が表示されます。同じ番号をもう一度入力し、[OK] を押してください。

ワンタッチダイヤルキーを使って送信先を指定する

ワンタッチダイヤルキーを使った送信のしかたを説明します。最大 8 件の送信先を指定できます。

メモ
この機能を使うには、あらかじめワンタッチダイヤルキーに宛先を登録しておく必要があります。（→ワンタッチダイヤルを登録する：P.3-3）

1 原稿をセットします。



2 ファクス ［ファクス］を押します。

3 必要に応じて原稿の読み込みを設定します。

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

4 登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。

例）

```
=0123XXXXXX_
[05]キヤノン
```

間違ったキーを押した場合は、［ストップ / リセット］を押したあと、手順 3 から操作をやりなおしてください。

5 ［スタート］を押します。

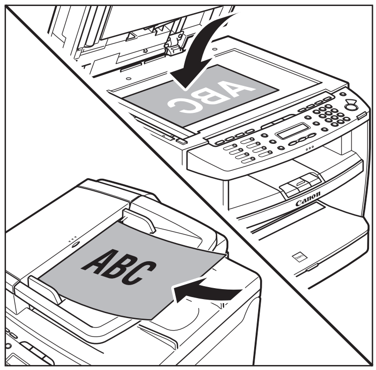
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄–］または［+►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

短縮ダイヤルを使って送信先を指定する

短縮ダイヤルを使った送信のしかたを説明します。最大 100 件の送信先を指定できます。

メモ
この機能を使うには、あらかじめ短縮ダイヤルに宛先を登録しておく必要があります。（→短縮ダイヤルを登録する：P.3-6）

1 原稿をセットします。



2 ファクス ［ファクス］を押します。

3 必要に応じて原稿の読み込みを設定します。

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

4 ［短縮ダイヤル］を押します。

5 **⓪〜⑨［テンキー］を使って 2 桁の登録先番号（00 〜 99）を入力します。**

例）

```
☎= 0 1 2 3 X X X X X X
［ * 0 1 ］キヤノン
```

間違った番号を入力した場合は、［ストップ / リセット］を押したあと、手順 3 から操作をやりなおしてください。

6 **［スタート］を押します。**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

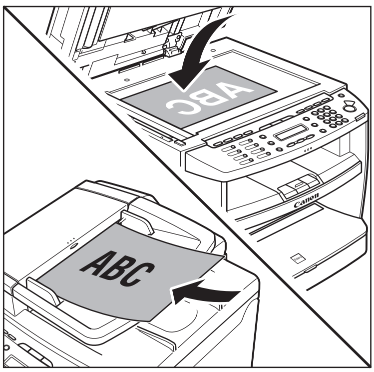
グループダイヤルを使って送信先を指定する

グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録済みの各宛先をひとつの宛先として指定することができます。同じ原稿を複数の宛先に送信するときに便利です。最大 50 件までの各宛先をひとつの宛先として登録することができます。

メモ

この機能を使うには、あらかじめグループダイヤルに宛先を登録しておく必要があります。（→グループダイヤルを登録する：P.3-9）

1 **原稿をセットします。**



2 **ファクス［ファクス］を押します。**

3 **必要に応じて原稿の読み込みを設定します。**

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

4 **グループ宛先が登録されているワンタッチダイヤルキー（01 〜 08）を押します。**

```
ク゛ルーフ゜ ダ゛イヤル
［ 0 1 ］キヤノンク゛ルーフ゜
```

間違ったキーを押した場合は、［ストップ / リセット］を押したあと、手順 3 から操作をやりなおしてください。

5 **［スタート］を押します。**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

宛先表キーを使って送信先を指定する

宛先表キーを使うと、登録済みの宛先を宛先表から検索できます。どのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録したか忘れてしまった場合に便利です。

メモ

この機能を使うには、あらかじめ宛先を登録しておく必要があります。（→宛先表に宛先を登録する（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）：P.3-1）

1 **原稿をセットします。**



2 ファクス **［ファクス］を押します。**

3 **必要に応じて原稿の読み込みを設定します。**

詳細については、「濃度を調節する」（P.5-24）、「画質を調節する」（P.5-25）、「両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）」（P.5-26）を参照してください。

4 **［宛先表］を繰り返し押して<メイショウケンサク>または<アドレス／バンゴウケンサク>を選択し、［OK］を押します。**

```
メイショウケンサク
```

- <メイショウケンサク>：宛先を名前で検索します。
- <アドレス／バンゴウケンサク>：宛先をファクス番号で検索します。

メモ

宛先が登録されていない場合は、<ミトウロクデス>と表示されます。

5 **⓪～⑨、(#)［テンキー］を使って検索する名前の最初の文字、またはファクス番号の最初の数字を入力します。**

例）

```
メイショウケンサク              [ア]
キヤノン
```

- たとえば、「ア」で始まる相手先の名称を検索する場合は、①（ア）を押します。入力した文字に一致する宛先が登録されている場合は、ディスプレイに表示されます。
- 手順 4 で<メイショウケンサク>を選択した場合は、(＊)［トーン］を押すと入力モードを切り替えることができます。ディスプレイ右上に入力モードを示す<ア>（カタカナ入力）、<Ａ>（アルファベット入力）または<１>（数字入力）が表示されます。

6 **［◄－］または［＋►］を押して宛先を検索します。**

例）

```
=0123XXXXXX_
[05]キヤノン
```

7 **探していた宛先が表示されたら［OK］を押します。**

8 ［スタート］を押します。

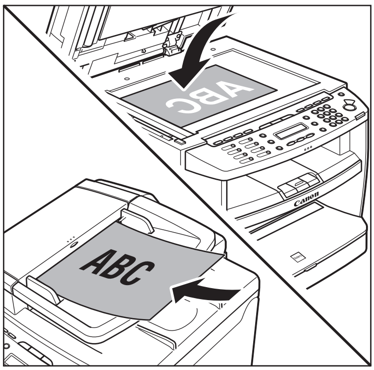
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿1枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

一度に複数の相手先に送信する（同報送信）

同報送信は、一度に複数の宛先に同じ原稿を送信することができます。

メモ
- 一度に送信できる宛先は最大124件です。（(124件のうち、⓪～⑨、#［テンキー］、＊［トーン］を使って指定できる宛先は、最大16件です。）ただし、グループを宛先として指定した場合は、そこに登録されている各宛先を1件と数えます。
- 原稿を複数の宛先に何度も送信する場合は、グループ宛先として登録することをおすすめします。

1 原稿をセットします。



2 ［メニュー］を押します。

3 ［◄−］または［+►］を押して＜ドウホウ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
2    ﾄﾞｳﾎｳ
```

4 宛先を指定します。

例）

```
NO.001=_
```

⓪～⑨、#［テンキー］、＊［トーン］、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、［宛先表］を使って宛先を指定します。

メモ
- ⓪～⑨、#［テンキー］、＊［トーン］を使う場合は、最大16件まで宛先を指定できます。
- ⓪～⑨、#［テンキー］、＊［トーン］を使って宛先を指定する場合は、番号を入力したあとに［OK］を押してください。

5 手順4を繰り返し、すべての宛先を入力します。

例）

```
NO.001=012XXXXXX
[01]ｷﾔﾉﾝ
```

メモ

指定済みの宛先を確認する場合は、［◄−］または［+►］を押して画面表示を切り替えます。

6 ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿1枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

メモ

<ファクスNO. カクニンニュウリョク>を< ON >に設定している場合、⓪～⑨、#［テンキー］、＊［トーン］を使って宛先を入力すると、宛先の再入力画面が表示されます。同じ番号をもう一度入力し、［OK］を押してください。

濃度を調節する

送信原稿の種類に合わせて濃度を調節できます。

1 原稿をセットします。



2 ファクス ［ファクス］を押します。

3 ［濃度］を押します。

4 ［◄−］または［+►］を押して濃度を調節し、［OK］を押します。

例）

```
ヨミトリ　ノウト゛
－ウスク　◖□□□□□■□□□□◗　コク＋
```

- ［+►］：原稿の濃度を薄くします。
- ［◄−］：原稿の濃度を濃くします。

> **メモ**
>
> 本手順で設定した内容は、原稿の読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、「標準モードを変更する」（P.5-30）を参照してください。

5 宛先を指定し原稿を送信します。

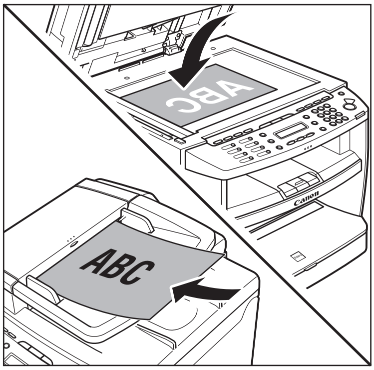
詳細については、「宛先を指定する」（P.5-19）を参照してください。

画質を調節する

送信原稿の種類に合わせて画質を調節できます。高い画質に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信時間が長くなります。

工場出荷時は<ヒョウジュン>に設定されています。

1 原稿をセットします。



2 ファクス ［ファクス］を押します。

3 ［画質］を繰り返し押して画質設定を選択し、［OK］を押します。

```
ｶﾞｼﾂ
                ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

- <ヒョウジュン>：文字のみの原稿に適しています。（200 × 100 dpi）
- <ファイン>：文字の細かい原稿に適しています（解像度は<ヒョウジュン>の 2 倍）。（200 × 200 dpi）
- <シャシン>：写真を含む原稿に適しています（解像度は<ヒョウジュン>の 2 倍）。（200 × 200 dpi）
- <スーパーファイン>：細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は<ヒョウジュン>の 4 倍）。（200 × 400 dpi）

メモ

本手順で設定した内容は、原稿の読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、「標準モードを変更する」（P.5-30）を参照してください。

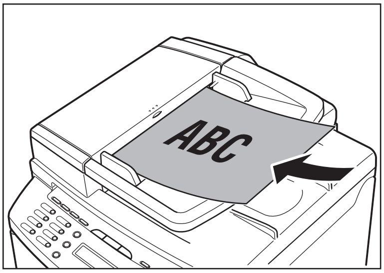
4 宛先を指定し原稿を送信します。

詳細については、「宛先を指定する」（P.5-19）を参照してください。

両面原稿を読み込む（MF4380dn のみ）

ADF にセットした両面原稿を自動的に裏返して、原稿の表裏を別べつに読み込みます。

1 原稿を ADF にセットします。



2 ファクス ［ファクス］を押します。

3 ◯［両面］を繰り返し押して原稿の開きかたを選択し、［OK］を押します。

- ＜リョウメン　サユウビラキ＞：オモテ面とウラ面の画像の天地（上下）が同じ場合に選択します。
- ＜リョウメン　ジョウゲビラキ＞：オモテ面とウラ面の画像の天地（上下）が逆の場合に選択します。

4 宛先を指定し原稿を送信します。

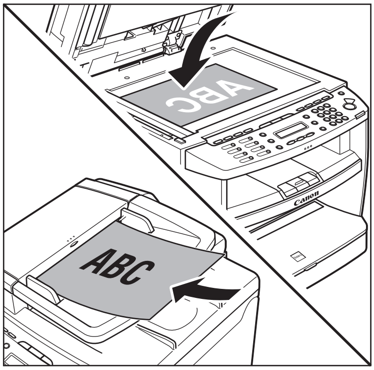
詳細については、「宛先を指定する」（P.5-19）を参照してください。

相手が話し中だったときは

相手が話し中などで原稿が送信できなかったときは、同じ相手を再度呼び出すことができます。最後にダイヤルした相手をお客様が手動で呼び出す手動リダイヤルと、本製品が自動的に再送信する自動リダイヤルの 2 つの機能があります。

手動リダイヤル

1 原稿をセットします。



2 ファクス ［ファクス］を押します。

3 ［リダイヤル / ポーズ］を押します。

> **メモ**
> ＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜リダイヤルノ　セイゲン＞が＜ ON ＞に設定されている場合は、リダイヤルは使用できません。

4 ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄－］または［＋►］を押して原稿サイズを選択したあと、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

自動リダイヤル

自動リダイヤルは、ファクス送信時に相手先が話し中などで送信できない場合や送信エラーが発生したときに、自動的に再送信する機能です。
自動リダイヤルを設定した場合は、リダイヤルする回数や間隔を設定することができます。

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

- ＜ジドウ　リダイヤル＞：ON
- ＜リダイヤル　カイスウ＞：2 カイ
- ＜リダイヤル　カンカク＞：2 フン

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクス　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜ソウシンキノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
3    ソウシン  キノウ  セッテイ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜ジドウ　リダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

```
ソウシン　キノウ　セッテイ
1　　シ゛ト゛ウ　リタ゛イヤル
```

5 ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
シ゛ト゛ウ　リタ゛イヤル
                    ON
```

6 ［◄−］、［+►］、または⓪〜⑨［テンキー］を使ってリダイヤルの回数（1 〜 10 回）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
リタ゛イヤル　カイスウ
                  2カイ
```

7 ［◄−］、［+►］、または⓪〜⑨［テンキー］を使ってリダイヤルの間隔（2 〜 99 分）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
リタ゛イヤル　カンカク
                  2フン
```

8 ⓢを押して待受画面に戻ります。

送信前に発信音を確認する

ファクスを相手先に送信するときに、発信音の確認をしてから、ダイヤルするかどうか設定できます。

工場出荷時は＜ ON ＞に設定されています。

1 ㊍［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクス セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜ソウシン キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
3    ソウシン キノウ セッテイ
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜ダイヤルジ カイセン　カクニン＞を選択し、［OK］を押します。

```
ソウシン キノウ セッテイ
2    ダイヤルジカイセン カクニン
```

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ダイヤルジカイセン カクニン
                         ON
```

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

標準モードを変更する

原稿の読み取り時に調節する濃度と画質の設定を、標準モードとして登録することができます。原稿をいつも同じ濃度や画質設定で読み取るときに便利です。

1 [メニュー]を押します。

2 [◄−]または[+►]を押して<ファクスセッテイ>を選択し、[OK]を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 [◄−]または[+►]を押して<キホントウロク>を選択し、[OK]を押します。

```
ファクスセッテイ
2    キホントウロク
```

4 [◄−]または[+►]を押して<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>を選択し、[OK]を押します。

```
キホントウロク
6    ヒョウジュンモードノ  ヘンコウ
```

5 [◄−]または[+►]を押して設定項目を選択し、[OK]を押します。

```
ヒョウジュンモードノ  ヘンコウ
1    ヨミトリ  ノウド
```

以下の項目を設定できます。
- <ヨミトリ　ノウド>：原稿の濃度を調節します。（→濃度を調節する：P.5-24）
- <ガシツ>：原稿の画質を調節します。（→画質を調節する：P.5-25）

6 [ストップ/リセット]を押して待受画面に戻ります。

送信した文書に発信元の情報をつける（発信元記録）

送信する文書に発信元記録をつけるかどうかを設定します。

発信元記録は送信文書の上部にプリントされます。こちらのファクス番号や名前などがプリントされるので、相手先で誰から送信されてきた文書か確認することができます。

工場出荷時は＜ ON ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクス セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜キホント ウロク＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
2    キホントウロク
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜ハッシン モト　キロク＞を選択し、［OK］を押します。

```
キホントウロク
3    ハッシンモト  キロク
```

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ハッシンモト  キロク
                              ON
```

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

送信開始スピードを変更する

回線の状態が悪く、送信が始まるまでに時間がかかるときは、送信開始スピードを変更することができます。

工場出荷時は＜ 33600bps ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄―］または［＋►］を押して＜システム　カンリ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
11  システム カンリ セッテイ
```

システム管理暗証番号が設定されている場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄―］または［＋►］を押して＜ツウシン　カンリセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
システム カンリ セッテイ
4   ツウシン カンリセッテイ
```

4 ［◄―］または［＋►］を押して＜ソウシン　スタート　スピード＞を選択し、［OK］を押します。

```
ツウシン カンリセッテイ
1   ソウシン スタート スピード
```

5 ［◄―］または［＋►］を押して目的のスピードを選択し、［OK］を押します。

```
ソウシン スタート スピード
                33600bps
```

送信が始まるまでに時間がかかるときは、回線状態が悪い可能性があります。＜ 33600bps ＞から ＜ 14400bps ＞、 ＜ 9600bps ＞、＜ 7200bps ＞、＜ 4800bps ＞、＜ 2400bps ＞の順にスピードを下げて、調整してください。

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

送信機能を制限する

宛先に関する操作や送信時の機能を制限します。

リダイヤル機能を制限する

リダイヤル機能を制限すると、以前に指定した宛先を［リダイヤル / ポーズ］を押して呼び出すことができなくなります。リダイヤル機能を制限したいときは設定を＜ ON ＞にしてください。
工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜システム　カンリ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
11　システム　カンリ　セッテイ
```

システム管理暗証番号が設定されている場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞を選択し、［OK］を押します。

```
システム　カンリ　セッテイ
5　　ソウシンキノウノ　セイゲン
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜リダイヤルノ　セイゲン＞を選択し、［OK］を押します。

```
ソウシンキノウノ　セイゲン
1　　リダイヤルノ　セイゲン
```

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
リダイヤルノ　セイゲン
                    ON
```

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

送信前にファクス番号を再度確認する

ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号を再度入力させることができます。ファクス番号を 2 度入力することで、指定した宛先に誤りがないことを確認してから原稿を送信することができます。この機能は、テンキーを使って送信先を指定した場合にのみ使用できます。
工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜システム　カンリ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
11　システム　カンリ　セッテイ
```

システム管理暗証番号が設定されている場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄−］または［+►］を押して＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞を選択し、［OK］を押します。

```
システム　カンリ　セッテイ
5　ソウシンキノウノ　セイゲン
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜ファクスNO. カクニンニュウリョク＞を選択し、［OK］を押します。

```
ソウシンキノウノ　セイゲン
2　ファクスNO.カクニンニュウリョク
```

5 ［◄−］または［+►］を押して＜ON＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスNO.カクニンニュウリョク
                              ON
```

6 ［ストップ/リセット］を押して待受画面に戻ります。

受信した文書を用紙の両面に印刷する

受信文書を用紙の両面にプリントすることで、用紙を節約することができます。
工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

メモ

両面印刷の対応用紙サイズは＜ A4 ＞または＜ LTR ＞です。両面印刷をお使いになる場合は、＜ヨウシ　サイズ＞を＜ A4 ＞または＜ LTR ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-19）

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜ファクス　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して＜プリント　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
5    プリント　セッテイ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜リョウメン　キロク＞を選択し、［OK］を押します。

```
プリント　セッテイ
2    リョウメンキロク
```

5 ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
リョウメンキロク
                    ON
```

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

受信した文書を縮小して印刷する

原稿を数ページに分けて受信した場合、ページ下部 8mm 以内に含まれるデータは、読みやすいように次のページの先頭に重複してプリントされます。また、縮小してプリントしたり、用紙サイズからはみ出した部分を省略してプリントしたりすることもできます。

工場出荷時は＜ ON ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して＜プリントセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
5    プリント  セッテイ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜ガゾウシュクショウ＞を選択し、［OK］を押します。

```
プリント  セッテイ
1    ガゾウ  シュクショウ
```

5 ［◄−］または［+►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。

```
ガゾウ  シュウリョウ
                        ON
```

- ＜ ON ＞：受信した文書の長さに合わせて自動的に縮小してプリントします。
- ＜ OFF ＞：縮小しないでプリントします。
- ＜ガゾウ　ショウリャク＞：1 ページに収まらない文書の末尾を最大 24 mm まで省略します。収まらない部分 24 mm を超える場合は、省略されないで次のページにプリントされます。

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

受信した文書に情報をつけて印刷する

相手先の発信元情報を、受信したファクスにプリントするかどうかを設定することができます。

工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクス　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5　　ファクスセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜ジュシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
4　　ジュシン　キノウ　セッテイ
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜アイテサキ　ハッシンモトキロク＞を選択し、［OK］を押します。

```
ジュシン　キノウ　セッテイ
4　　アイテサキ　ハッシンモトキロク
```

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
アイテサキ　ハッシンモトキロク
                          ON
```

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

トナーが少なくなっているときにも受信した文書を印刷する

トナーが残り少なくなった場合でも受信中の文書については印刷を継続することができます。

工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

メモ

- ＜インジケイゾク＞を＜ ON ＞に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることができません。
- トナーカートリッジ交換後は＜インジケイゾク＞を＜ OFF ＞に戻しておくことをおすすめします。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して＜プリントセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
5    プリント セッテイ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜インジケイゾク＞を選択し、［OK］を押します。

```
プリント セッテイ
3    インジケイゾク
```

5 ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
インジケイゾク
                              ON
```

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

呼び出し音を設定する

＜ジュシンモード＞が＜ジドウ＞に設定されている場合、外付け電話機の呼び出し音を鳴らすようにするかどうかを設定します。この設定を＜ ON ＞にした場合、ファクス受信時は、呼び出し音でファクスを受信したことがわかるようになります。電話着信時は、外付け電話機が鳴っている間に受話器を取れば、相手と通話できます。

工場出荷時は＜ ON ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して＜ジュシンキノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
4    ジュシン キノウ セッテイ
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜チャクシン　ヨビダシ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ジュシン キノウ セッテイ
1    チャクシン ヨビダシ
```

5 ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
チャクシン ヨビダシ
                              ON
```

6 ［◄－］または［＋►］を押して呼び出し音の回数を設定し、［OK］を押します。

例）

```
ヨビダシ カイスウ
                             2カイ
```

7 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

電話機からの操作でファクスを受信する（リモート受信）

本製品には外付けの電話機を 1 台接続できます。

外付けの電話機を接続している場合、通話中に電話機のダイヤルボタンを押してファクス受信用の ID 番号をダイヤルすると、その場でファクス受信動作に切り替えることができます。この機能を使うと、その場でファクス受信操作することができます。

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

・＜リモート　ジュシン＞：ON

・＜リモート　ジュシン　ID ＞：25

リモート受信機能を有効にする

以下の手順に従ってリモート受信機能を有効にします。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押して＜ファクス　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 ［◄−］または［+►］を押して＜ジュシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ファクスセッテイ
4    ジュシン キノウ セッテイ
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜リモート　ジュシン＞を選択し、［OK］を押します。

```
ジュシン キノウ セッテイ
2    リモート ジュシン
```

5 ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
リモート ジュシン
                    ON
```

6 ⓪～⑨［テンキー］を使ってファクス受信用の ID 番号（0 ～ 9 の数字による 2 桁の組み合わせ）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
リモート ジュシン ID
2X
```

メモ

ID 番号の初期値は 25 です。ID 番号を変更しない場合は、何も入力しないで［OK］を押してください。

7 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

リモート受信を使って文書を受信する

以下の手順に従ってリモート受信機能を使ってファクスを受信します。

メモ

リモート受信を使ってファクスを受信する場合は、以下を確認してください。

- 本製品に外付け電話機が接続されている。
- 外付け電話機の回線設定がプッシュ回線になっている。

1 着信があったら、外付け電話機の受話器を取ります。

2 「ピー」という音が聞こえたら、⓪〜⑨ [テンキー] を使って 2 桁のリモート受信 ID を入力し、受信を開始します。

話し声が聞こえた場合は、通話を始めてください。

3 受信が完了したら、受話器を置きます。

受信した文書のプリント方法を選択する

受信した文書をすべてメモリに保存してからプリントするか、受信と同時に各ページをプリントするかを選択できます。

工場出荷時は＜メモリジュシン＞に設定されています。

1 [メニュー] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 [◄−] または [+►] を押して＜ジュシンキノウ　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

```
ファクスセッテイ
4    ジュシン キノウ セッテイ
```

4 [◄−] または [+►] を押して＜ジュシンプリント＞を選択し、[OK] を押します。

```
ジュシン キノウ セッテイ
3    ジュシン プリント
```

5 [◄−] または [+►] を押してプリント方法を選択し、[OK] を押します。

```
ジュシン プリント
                  メモリジュシン
```

- ＜メモリジュシン＞：受信した文書をすべてメモリに保存してからプリントします。
- ＜プリントジュシン＞：受信と同時に各ページをプリントします。

6 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

相手先が不明なファクスを受信拒否する

相手先がファクス番号（電話番号）を通知せずにファクスを送信してきた場合、その受信を拒否することができます。ダイレクトメール（DM）の受信を制限したいときなどに使用することをお勧めします。受信拒否したいときは設定を＜ ON ＞にしてください。

工場出荷時は＜ OFF ＞に設定されています。

1 [メニュー] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して＜ファクス　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

```
メニュー
5    ファクスセッテイ
```

3 [◄−] または [+►] を押して＜ジュシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

```
ファクスセッテイ
4    ジュシン  キノウ  セッテイ
```

4 [◄−] または [+►] を押して＜ DM セイゲン＞を選択し、[OK] を押します。

```
ジュシン  キノウ  セッテイ
5    DMセイゲン
```

5 [◄−] または [+►] を押して＜ ON ＞を選択し、[OK] を押します。

```
DMセイゲン
                              ON
```

6 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

受信開始スピードを変更する

回線の状態が悪く、受信が始まるまでに時間がかかるときは、受信開始スピードを変更することができます。

工場出荷時は＜ 33600bps ＞に設定されています。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄–］または［+►］を押して＜システム　カンリ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
11　システム　カンリ　セッテイ
```

システム管理暗証番号が設定されている場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄–］または［+►］を押して＜ツウシン　カンリセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
システム　カンリ　セッテイ
4　　ツウシン　カンリセッテイ
```

4 ［◄–］または［+►］を押して＜ジュシン　スタート　スピード＞を選択し、［OK］を押します。

```
ツウシン　カンリセッテイ
2　　ジュシン　スタート　スピード
```

5 ［◄–］または［+►］を押して目的のスピードを選択し、［OK］を押します。

```
ジュシン　スタート　スピード
                33600bps
```

受信が始まるまでに時間がかかるときは、回線状態が悪い可能性があります。＜ 33600bps ＞から＜ 14400bps ＞、＜ 9600bps ＞、＜ 7200bps ＞、＜ 4800bps ＞、＜ 2400bps ＞の順にスピードを下げて、調整してください。

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

受信した文書をプリントしないでメモリに保存する（メモリ受信）

受信した文書は通常すぐにプリントされますが、以下の手順に従って<メモリジュシン セッテイ>を< ON >にすると、プリントしないでいったんメモリに保存しておくことができます。保存した文書はいつでも好きなときにプリントしたり、不要な場合は消去して使用する用紙を節約することができます。

工場出荷時は< OFF >に設定されています。

1 ㊋［メニュー］を押します。

2 ［◄－］または［+►］を押して<システム カンリ セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
11  システム  カンリ  セッテイ
```

システム管理暗証番号が設定されている場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［+►］を押して<ツウシン カンリセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
システム  カンリ  セッテイ
4    ツウシン  カンリセッテイ
```

4 ［◄－］または［+►］を押して<メモリジュシン セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

```
ツウシン  カンリセッテイ
3    メモリジ゛ュシン  セッテイ
```

メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

5 ［◄－］または［+►］を押して< ON >を選択し、［OK］を押します。

```
メモリジ゛ュシン  セッテイ
                          ON
```

6 ［◄－］または［+►］を押して<パスワード>を選択し、［OK］を押します。

```
メモリジ゛ュシン  セッテイ
1    ハ゜スワート゛
```

7 暗証番号を設定または変更する場合は、⓪～⑨［テンキー］を使って番号（最大7桁）を入力したあと、［OK］を押します。

例）

```
ハ゜スワート゛
1234567
```

・暗証番号を設定すると、メモリ受信の設定内容を変更するときやメモリ受信を解除するときに設定した番号を入力する必要があります。
・暗証番号を設定しない場合は、何も入力しないで［OK］を押してください。

8

［◄−］または［+►］を押して＜ジカン シテイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
メモリジュシン　セッテイ
2　　ジカン　シテイ
```

メモリ受信の開始時刻と終了時刻を指定できます。開始時刻になると自動的にメモリ受信に切り替わり、終了時刻になると解除されます。時刻を指定しない場合は、手順 12 に進んでください。

9

［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ジカン　シテイ
                    ON
```

10

⓪〜⑨［テンキー］を使って開始時刻（24 時間制）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
カイシジコク
              00：00
```

11

⓪〜⑨［テンキー］を使って終了時刻（24 時間制）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
シュウリョウジコク
              00：00
```

12

［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信した文書をプリントする

1 [メニュー] を押します。

2 [◄−] または [+►] を押して<システム カンリ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

```
メニュー
11　システム　カンリ　セッテイ
```

システム管理暗証番号が設定されている場合は、⓪〜⑨ [テンキー] を使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

3 [◄−] または [+►] を押して<ツウシン カンリセッテイ>を選択し、[OK] を押します。

```
システム　カンリ　セッテイ
4　　ツウシン　カンリセッテイ
```

4 [◄−] または [+►] を押して<メモリジュシン　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

```
ツウシン　カンリセッテイ
3　　メモリシ゛ュシン　セッテイ
```

メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、⓪〜⑨ [テンキー] を使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

5 [◄−] または [+►] を押して< OFF >を選択し、[OK] を押します。

```
メモリシ゛ュシン　セッテイ
                    OFF
```

メモリ受信機能が解除され、保存されている文書がプリントされます。

6 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモリにあるファクス受信文書を別の宛先へ転送する

メモリに保存されている文書を宛先を指定して送信します。

1 [ジョブキャンセル / 状況確認] を繰り返し押して<ツウシン　ジョウキョウ>を選択し、[OK] を押します。

```
ﾂｳｼﾝ  ｼﾞｮｳｷｮｳ
```

2 [◄−] または [+►] を押して転送するジョブを選択し、[OK] を押します。

例）

```
001  ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ
123XXXXXX
```

3 [◄−] または [+►] を押して<テンソウ>を選択し、[OK] を押します。

```
001
ﾃﾝｿｳ
```

4 転送先を指定します。

宛先はワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを使って指定します。
ワンタッチダイヤルの宛先を指定する場合は、ワンタッチダイヤルキーを押し、[OK] を押します。短縮ダイヤルの宛先を指定する場合は、[短縮ダイヤル] を押したあと 2 桁の登録先番号を入力し、[OK] を押します。

> **メモ**
>
> 宛先はあらかじめ宛先表に登録しておく必要があります。（→宛先表に宛先を登録する（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）：P.3-1）

5 [スタート] を押します。

メモリにあるファクス文書を確認／操作する

メモリにあるファクス文書の状況を確認したり操作することができます。

送信文書を確認／消去する

送信中または送信待機中になっているファクス文書の詳細情報を確認できます。不要な文書があれば消去することもできます。

1 **［ジョブキャンセル / 状況確認］を繰り返し押して＜ツウシン　ジョウキョウ＞または＜ジョブノ　チュウシ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
ﾂｳｼﾝ ｼﾞｮｳｷｮｳ
```

＜ジョブノ　チュウシ＞を選択した場合は、［◄–］または［+►］を押して＜ソウシン／ジュシン＞を選択し、［OK］を押します。

2 **［◄–］または［+►］を押してメモリ内にある送信ジョブを確認します。**

例）

```
001  ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ
031XXXXXX
```

文書を消去する場合は、次の手順に進んでください。消去しない場合は、［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

3 **［◄–］または［+►］を押して消去するジョブを選択し、［OK］を押します。**

例）

```
001  ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ
031XXXXXX
```

メモ

＜ドウホウ＞の場合は、ジョブに設定されたすべての宛先への送信がキャンセルされます。

4 **［◄–］または［+►］を押して＜チュウシ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
002
ﾁｭｳｼ
```

手順 1 で＜ジョブノ　チュウシ＞を選択した場合、本操作手順は不要です。次の手順に進んでください。

5 **［◄–］を押して＜ハイ＞を選択します。**

```
ﾁｭｳｼｼﾏｽｶ?
 < ﾊｲ          ｲｲｴ >
```

消去操作を中止する場合は、［+►］を押して＜イイエ＞を選択します。

6 **［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。**

受信文書を確認／消去する

メモリに保存されているファクス文書の詳細情報を確認できます。不要な文書があれば消去することもできます。また、メモリに保存されている文書については、宛先を指定して送信することができます。

1 ◯［ジョブキャンセル / 状況確認］を繰り返し押して＜ツウシン　ジョウキョウ＞または＜ジョブノ　チュウシ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ツウシン　シ゛ョウキョウ
```

＜ジョブノ　チュウシ＞を選択した場合は、［◄−］または［+►］を押して＜ソウシン／ジュシン＞を選択し、［OK］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押してメモリ内にある受信ジョブを確認します。

例）

```
001　メモリシ゛ュシン
031XXXXXX
```

文書を消去する場合は、次の手順に進んでください。消去しない場合は、［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

3 ［◄−］または［+►］を押して消去するジョブを選択し、［OK］を押します。

例）

```
002　メモリシ゛ュシン
123XXXXXX
```

4 ［◄−］または［+►］を押して＜チュウシ＞を選択し、［OK］を押します。

```
002
チュウシ
```

手順 1 で＜ジョブノ　チュウシ＞を選択した場合、本操作手順は不要です。次の手順に進んでください。

> **メモ**
>
> ＜テンソウ＞を選択すると、文書を別の宛先へ転送できます。詳細については、「メモリにあるファクス受信文書を別の宛先へ転送する」（→ P.5-48）を参照してください。

5 ［◄−］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
チュウシシマスカ？
 〈 ハイ              イイエ 〉
```

消去操作を中止する場合は、［+►］を押して＜イイエ＞を選択します。

6 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

送受信した文書の履歴情報を確認する

送受信済み文書の履歴情報を確認できます。

1 ◯［ジョブキャンセル / 状況確認］を繰り返し押して＜ツウシンリレキ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ツウシンリレキ
```

2 ［◄−］または［+►］を押して送受信履歴を表示します。

例）

```
02 (12/31  17:50) TX
031XXXXXX          OK
```

ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）

3 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

コンピュータから プリントする

Chapter 6

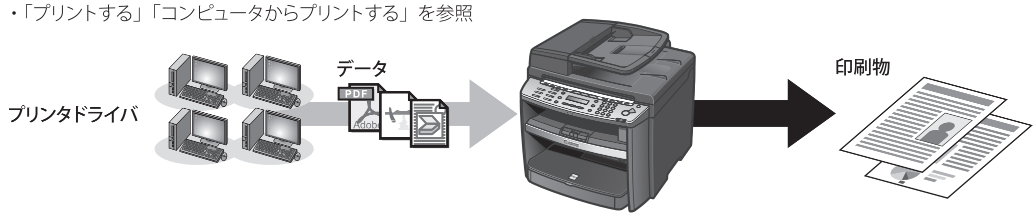
コンピュータから印刷する方法を説明しています。

こんなことができます（プリント編）

両面印刷、ソート印刷、また、拡大／縮小印刷ができます。

コンピュータから印刷する（ネットワーク接続／ USB 接続）

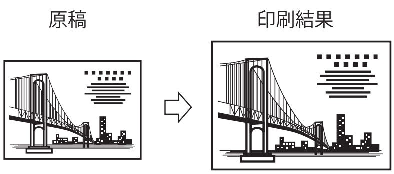
e- マニュアル
・「プリントする」「コンピュータからプリントする」を参照



さまざまな印刷機能（コンピュータからプリントする）

拡大／縮小印刷

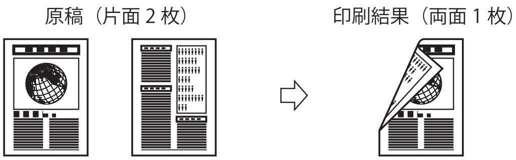
（P.6-7）



両面印刷

（P.6-10）

片面の原稿から両面に印刷する

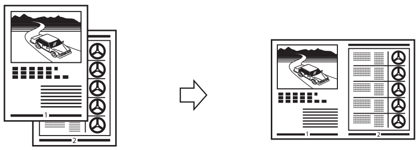


さまざまな印刷機能（コンピュータからプリントする）

複数ページを 1 枚の用紙に印刷する （P.6-9）

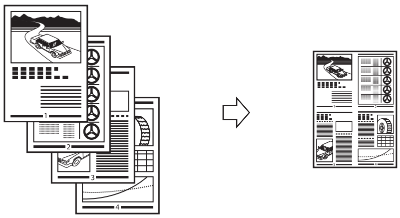
2 in 1

原稿　　　　印刷結果



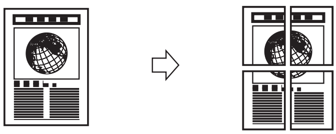
4 in 1

原稿　　　　印刷結果



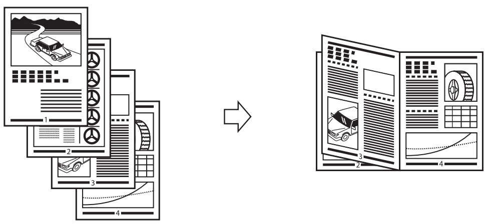
ポスター印刷

e- マニュアル
・「プリントする」「ポスター印刷を行う」



製本印刷

e- マニュアル
・「プリントする」「製本印刷を行う」



メモ

2 in 1、両面印刷、ソートなどの機能は組み合わせて使用できます。

プリンタドライバをインストールする

印刷するにはプリンタドライバをインストールする必要があります。

USB 接続でプリンタドライバをインストールする場合は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」または e- マニュアル「本機の設置、設定」「USB 接続」を参照してください。

ネットワーク接続でプリンタドライバをインストールする場合は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続（MF4380dn/MF4370dn のみ）」または e- マニュアル「本機の設置、設定」「ネットワーク接続（MF4380dn/MF4370dn のみ)」を参照してください。

プリンタドライバ

アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要です。アプリケーションソフトウェアの印刷データをプリンタ用のデータに変換して、プリンタへ送ります。
プリンタドライバは、印刷データの処理をコンピュータとプリンタで負荷分散することによって、最適な速度で出力することを可能にします。従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリでの動作を実現します。印刷データの変換以外にも、印刷データをスプールする機能や印刷条件を設定する機能を持っており、拡大／縮小やとじしろ調整など、さまざまな印刷の仕上がりを設定することができます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

コンピュータからプリントする

ここではコンピュータからプリントする手順を説明しています。

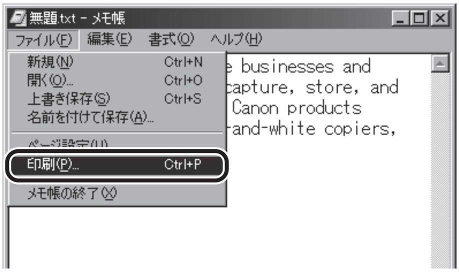
コンピュータにプリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」を参照してください。プリンタドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

- 印刷の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。
- お使いの OS や機種によって画面が異なることがあります。

1 アプリケーションソフトウェアを起動して、印刷する原稿を開きます。

2 メニューから［印刷］を選択します。



プリンタドライバの画面が表示されます。

メモ

プリンタドライバ画面を表示する手順は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。

3 お使いのプリンタを選択したあと、［ページ設定］をクリックします。



4 プリンタドライバの画面の各ページで印刷の設定をします。



5 ［印刷］をクリックします。



印刷が開始されます。
印刷をキャンセルしたい場合は、「プリントジョブを確認／削除する」（→ P.6-11）を参照してください。

拡大／縮小して印刷する

A4 サイズの原稿を B5 サイズの用紙に縮小して印刷したり、B5 サイズの原稿を A4 サイズの用紙に拡大して印刷することができます。出力サイズを指定して、自動的に倍率を決定する方法と、任意に倍率を指定する方法があります。

メモ

- 選択した用紙サイズやお使いのプリンタの機種によっては、拡大／縮小印刷を設定できない場合があります。
- お使いのプリンタの機種によっては、選択した用紙サイズに最適な拡大／縮小印刷を設定できないことがあります。
- アプリケーションソフトウェアで拡大／縮小印刷が設定できるときは、アプリケーションソフトウェア側で設定してください。
- お使いの OS や機種によって画面が異なることがあります。

1 ［ページ設定］タブをクリックします。



プリンタドライバの画面の表示方法については、「コンピュータからプリントする」（→ P.6-5）を参照してください。

2 ［原稿サイズ］から原稿サイズを選択します。



3 ［出力用紙サイズ］から実際に印刷する用紙サイズを選択します。



選択した原稿サイズと出力用紙サイズにより、拡大／縮小の倍率が自動的に設定されます。

4 任意の倍率で拡大／縮小したい場合は、［倍率を指定する］にチェックマークを付けて、［倍率］で拡大／縮小の倍率を指定します。



メモ

規定の範囲（25 % ～ 200 %）に入らない拡大／縮小を設定したときは、設定されている出力用紙に等倍（100 %）で印刷されます。

5 ［印刷］または［OK］をクリックします。

複数ページを 1 枚の用紙に印刷する

連続した複数のページを用紙 1 枚に縮小して印刷します。用紙 1 枚に 2、4、6、8、9、16 ページ分の原稿を配置することができます。数枚の原稿が 1 枚にまとまることで、見やすい資料が作れます。また、印刷用紙も節約でき、保管時の省スペース化にも役立ちます。

メモ

- 本機能をお使いの場合は、任意の倍率で拡大／縮小することはできません。
- アプリケーションソフトウェアによっては、部単位で印刷する機能がありますが、本機能と同時に使用しないでください。正しく印刷できない場合があります。
- お使いの OS や機種によって画面が異なることがあります。

1 ［ページ設定］タブをクリックします。



プリンタドライバの画面の表示方法については、「コンピュータからプリントする」（→ P.6-5）を参照してください。

2 ［ページレイアウト］から［N ページ / 枚］を選択します。



3 ［配置順］でページを配置する順序を選択します。



4 ［印刷］または［OK］をクリックします。

メモ

［2 ページ／枚］以外にも、［4 ページ／枚］、［6 ページ／枚］、［8 ページ／枚］、［9 ページ／枚］、または［16 ページ／枚］を選択できます。［ポスター（2 × 2)］、［ポスター（3 × 3)］、または［ポスター（4 × 4)］を選択した場合、複数枚の用紙で構成されたポスターを印刷することができます。

両面印刷を行う

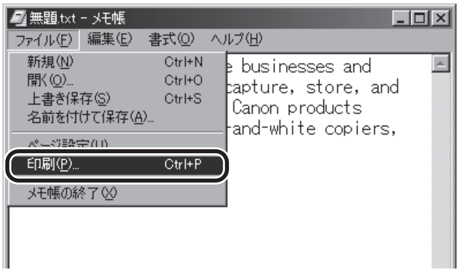
用紙の表と裏にプリントします。たくさんのページをプリントするとき、用紙の表／裏を使えば、用紙の消費を半分に節約できます。

メモ

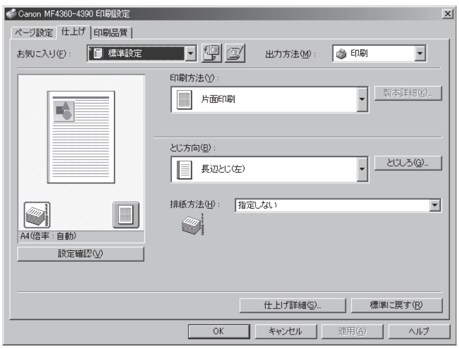
お使いの OS や機種によって画面が異なることがあります。

1 アプリケーションソフトウェアを起動して、印刷する原稿を開きます。

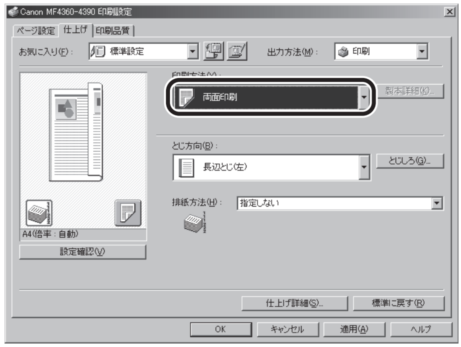
2 メニューから［印刷］を選択します。



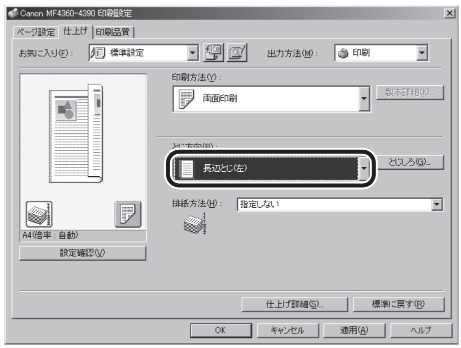
3 お使いのプリンタを選択したあと、［仕上げ］タブをクリックします。



4 ［印刷方法］で［両面印刷］を選択します。



5 ［とじ方向］を指定します。



6 ［印刷］または［OK］をクリックします。

プリントジョブを確認／削除する

プリントジョブの状況を確認したり、プリントの開始前に削除したりできます。

メモ

実行／メモリランプが点灯または点滅していることを確認してください。実行／メモリランプが消灯している場合は、プリントのジョブ状況のメモリ内にジョブはありません。

1 ◯［ジョブキャンセル／状況確認］を繰り返し押して＜プリント　ジョウキョウ＞または＜ジョブノ　チュウシ＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ  ｼﾞｮｳｷｮｳ
```

＜ジョブノ チュウシ＞を選択した場合は、［◄－］または［＋►］を押して＜プリント＞を選択し、［OK］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押してメモリ内にあるプリントジョブを確認します。

例）

```
0001  18:30
File.txt
```

ジョブを削除する場合は次の手順に進んでください。削除しない場合は［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

3 ［◄－］または［＋►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。

例）

```
0002  18:45
Note.txt
```

4 ［◄－］または［＋►］を押して＜チュウシ＞を選択し、［OK］を押します。

```
0002
ﾁｭｳｼ
```

手順 1 で＜ジョブノ チュウシ＞を選択した場合、本操作手順は不要です。次の手順に進んでください。

5 ［◄－］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｦ  ﾁｭｳｼ  ｼﾏｽｶ?
 <  ﾊｲ              ｲｲｴ  >
```

削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して＜イイエ＞を選択します。

6 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

スキャン機能を使う

Chapter 7

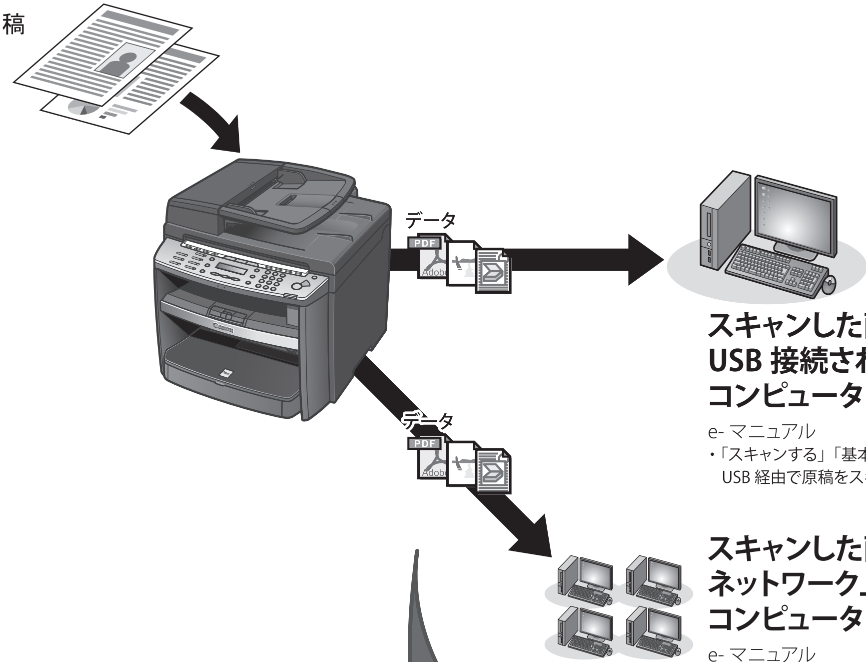
スキャン機能の使いかたについて説明しています。

こんなことができます（スキャン編）

読み込んだ原稿を画像データに変換し、USB ケーブルで接続されたお使いのコンピュータに保存することができます。また、ネットワーク上にあるコンピュータから操作して原稿を読み込ませることもできます。

* MF4350d/MF4330d/D450 では、ネットワーク経由で原稿を読み込ませることはできません。

原稿



スキャンした画像を USB 接続されたお使いのコンピュータに保存

e- マニュアル
・「スキャンする」「基本的なスキャン方法 - USB 経由で原稿をスキャンする」を参照

スキャンした画像をネットワーク上のコンピュータに保存

e- マニュアル
・「スキャンする」「基本的なスキャン方法 - ネットワーク経由で原稿をスキャンする」を参照

Color Network ScanGear のさまざまな設定

ネットワークに接続されたコンピュータからのスキャンには、Color Network ScanGear を使用します。Color Network ScanGear には以下の設定が行えます。

基本的な設定
- カラーモード
- 解像度
- 原稿サイズ

画像処理設定
- 濃度
- 画像の色を反転
- 水平 (左右) 反転
- 回転
- 明るさ
- コントラスト
- ガンマ

お使いになる前に（スキャン編）

スキャン機能をお使いになる前に作業の必要な項目について説明します。
はじめに以下の作業を行ってください。

USB 経由で原稿をスキャンする場合

●USB スキャナドライバ
USB スキャナドライバをインストールします。（→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」）

ネットワーク経由で原稿をスキャンする場合

●ネットワーク設定
ネットワーク関連の設定をします。ネットワーク環境上での通信が可能となります。（→ e- マニュアル「ネットワーク設定」「基本的なネットワーク設定」）

●Color Network ScanGear
Color Network ScanGear スキャナドライバをインストールします。（→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続（MF4380dn/MF4370dn のみ）」）

スキャンの基本的な操作方法

スキャンの基本的な操作方法について説明します。

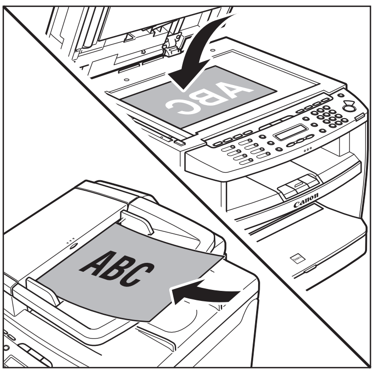
USB 経由で原稿をスキャンする

本製品の操作パネルを使って原稿を読み込み、読み込んだデータを USB 経由でコンピュータに取り込むことができます。ここでは基本的な操作の流れを概説します。

メモ

- スキャンする前に、本製品とお使いのコンピュータが USB ケーブルで接続されていることと、スキャナドライバがコンピュータにインストールされていることを確認してください。
- ADF を使っての読み込みは、鮮明な画像が得られないことがありますので、よりよい品質でスキャンするためには、原稿を原稿台ガラスに置いて読み込むことをおすすめします。

1 原稿をセットします。



2 [スキャン]を繰り返し押して＜ USB スキャンモード＞を選択します。

MF4350d/MF4330d/D450 の場合は、[スキャン]［スキャン］を押して＜スキャンモード＞を表示させます。

3 ［スタート］を押します。

- 使用するプログラムをたずねてきたら、「MF Toolbox Ver4.9」を選択してください。設定に従って原稿が読み込まれます。
- 読み込みが終了したら、［マイ ドキュメント］内の［マイ ピクチャ］フォルダに読み込んだ日付のフォルダが作成され、読み込まれた原稿が保存されます。（Windows Vista/7 では、［ピクチャ］フォルダに保存されます。）

ネットワーク経由で原稿をスキャンする（MF4380dn/MF4370dn のみ）

Color Network ScanGear を使って原稿をスキャンします。ネットワーク上にあるコンピュータからスキャン操作したデータは、お使いのコンピュータに保存されます。ここでは基本的な操作の流れを概説します。

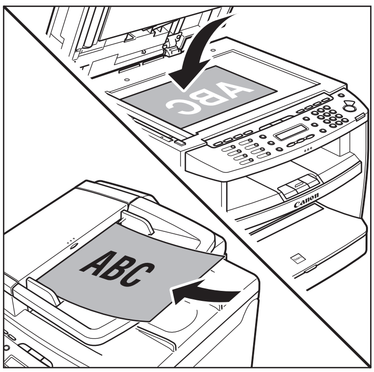
メモ

- Color Network ScanGear をインストールしてから一度も Color Network ScanGear ドライバを起動していない場合は、使用するネットワークスキャナを ScanGear Tool で選択しておく必要があります。詳細については、e- マニュアル「スキャンする」「使用するネットワークスキャナを選択する（ネットワークスキャン）」を参照してください。
- ADF を使っての読み込みは、鮮明な画像が得られないことがありますので、よりよい品質でスキャンするためには、原稿を原稿台ガラスに置いて読み込むことをおすすめします。
- 受信したファクスのプリントとネットワークスキャンは同時に実行できません。同時に実行しようとした場合、それぞれの原稿は状況に応じて以下のように処理されます。
  – ファクスの受信中にスキャンしようとした場合や、スキャン中にファクスを受信した場合、スキャンが完了してからプリントが開始されます。
  – プリント中にスキャンしようとした場合、スキャンは実行されません。プリントが完了してから、再度スキャンの操作をしてください。

- PC ファクス送信とネットワークスキャンは同時に実行できません。同時に実行しようとした場合、それぞれの原稿は状況に応じて以下のように処理されます。
  - ネットワークスキャン中に PC ファクス送信しようとした場合、スキャンが完了してから送信が開始されます。
  - PC ファクス送信中にネットワークスキャンをしようとした場合、スキャンは実行されません。送信が完了してから、再度スキャンの操作をしてください。
- プリントとネットワークスキャンは同時に実行できません。同時に実行しようとした場合、それぞれの原稿は状況に応じて以下のように処理されます。
  - ネットワークスキャン中にプリントしようとした場合、スキャンが完了してからプリントが開始されます。エラーが発生した場合でも、スキャンが完了するとプリントが自動的に開始されます。
  - プリント中にネットワークスキャンをしようとした場合、スキャンは実行されません。プリントが完了してから、再度スキャンの操作をしてください。

1 **コンピュータで、TWAIN 対応アプリケーションソフトウェアから Color Network ScanGear を起動します。**

2 **本製品に原稿をセットします。**



メモ

原稿のセットの方法によって、Color Network ScanGear で設定する項目が異なります。原稿を原稿台にセットした場合は e- マニュアル「原稿台からスキャンする（ネットワークスキャン）」を参照してください。原稿を ADF にセットした場合は e- マニュアル「ADF からスキャンする（ネットワークスキャン）」を参照してください。

3 **本製品の操作パネルの スキャン ［スキャン］を繰り返し押して<ネットワークスキャンモード>を選択します。**

4 **コンピュータで、Color Network ScanGear の画面の［メイン］、［オプション］、［スキャン情報］ページを使ってスキャン条件を設定します。**

各ページの設定内容については、各ページのヘルプを参照してください。

5 **コンピュータで、Color Network ScanGear の画面の［スキャン］をクリックします。**

スキャンが開始されます。スキャンが終了すると、Color Network ScanGear の画面が閉じ、スキャンした画像がアプリケーションソフトウェアに転送されます。スキャン中は、スキャンの進み具合を示すダイアログボックスが表示されます。スキャンを中止する場合は、ダイアログボックスの［キャンセル］をクリックしてください。

USB 経由でスキャン中のジョブを中止する

USB 経由でスキャン中のジョブを中止します。

1 **［ストップ / リセット］を押します。**

2 **コンピュータ上の画面で［OK］を押します。**

ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）

Chapter 8

本製品がネットワークを通して使用できる機能、その機能を使用するにあたって必要な設定と設定の流れについて説明しています。

ネットワーク設定の流れ

ネットワークの各機能を使うには、いくつかの設定が必要となります。
以下を参考に設定完了までの流れを確認してください。

したいこと

ネットワーク接続でコンピュータから、プリント、ファクス、スキャンがしたい。

↓

本体の設定

IP アドレスの設定（IPv4、IPv6）

スタートアップガイド

- 「ネットワーク接続の設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
「IP アドレス取得設定」を参照

e- マニュアル

- 「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」、
「IP アドレスの設定と確認をする」を参照

↓

コンピュータの設定

ネットワーク接続でドライバをインストール

スタートアップガイド

- 「コンピュータでのソフトウェア設定」「コンピュータと本製品の接続方法の種類」を参照

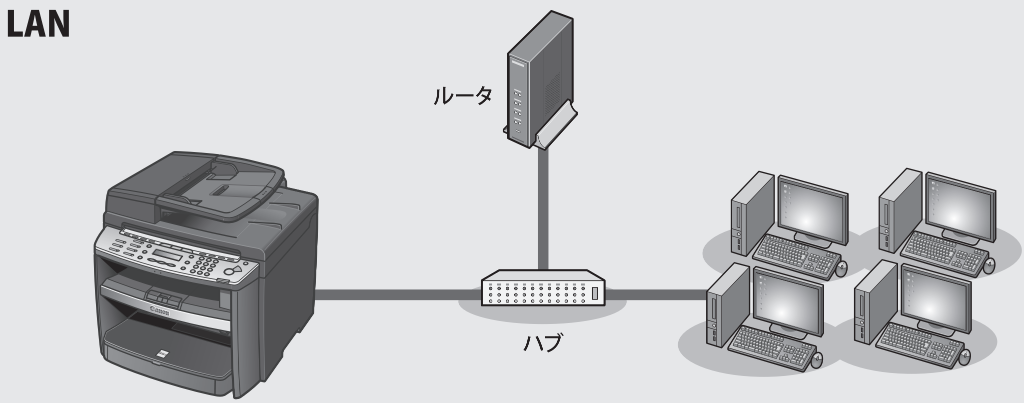
e- マニュアル

- 「本機の設置、設定」「コンピュータとソフトウェア設定」を参照

ネットワークとは

コンピュータの世界では、コンピュータどうしが網の目のようにつながり、相互に通信している状態をネットワークといいます。本製品では LAN を使用します。LAN とは "Local Area Network" の略で、限られた範囲内（例えば会社の中）で使用されるネットワークのことをいいます。

本製品のネットワーク構成例



使用できる機能：

- ネットワークスキャン
- リモート UI
- ネットワークプリント
- PC ファクス

こんなことができます（ネットワーク編）

ネットワークの機能を使うことで以下のようなことができます。

ネットワークスキャン

ネットワークを通してスキャンした画像を加工できます。

e- マニュアル
・「スキャンする」「基本的なスキャン方法 - ネットワーク経由で原稿をスキャンするとき」を参照

ネットワーク PC ファクス

コンピュータからデータを本機に送信し、本機からファクスを送信できます。

e- マニュアル
・「PC ファクスを使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」「基本的なファクス送信方法（PC ファクス）」を参照

ネットワークプリント

ネットワークを通してプリントできます。

e- マニュアル
・「プリントする」「基本的な印刷方法」を参照

リモート UI

ネットワークを通してコンピュータから本製品の各種設定／登録ができます。

e- マニュアル
・「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
「リモート UI を使うには」を参照

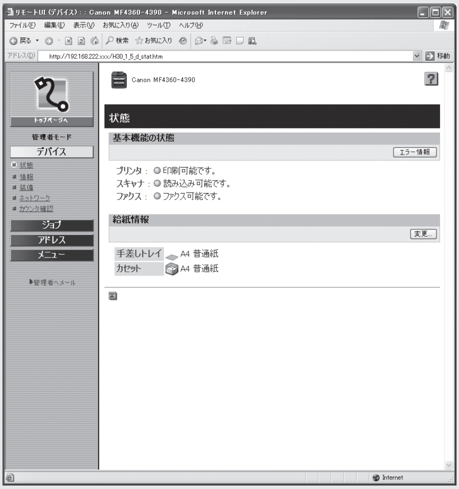
コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）

Chapter 9

ネットワーク上のコンピュータから本製品を簡単に管理できます。

こんなことができます（リモート UI 編）

リモート UI を使用すると、コンピュータのウェブブラウザから本製品の状態や機能の確認、および設定の変更をすることができます。また、宛先表への宛先の入力操作は、コンピュータのキーボードを使用することで、より簡単に行うことができます。





編集：
- 本体設定
- 宛先表

確認：
- デバイス情報
- ジョブ情報（履歴）

e- マニュアル
・「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」を参照

リモート UI を使用して、次の設定や確認を行うことができます。

コンピュータから デバイス情報を確認する

コンピュータのウェブブラウザから、本製品の状態、用紙の状態、エラー情報、使用できる機能、ネットワーク設定、カウンタ情報といったデバイス情報を確認することができます。遠隔地からデバイス情報にアクセスできるので、簡単にデバイス管理を行うことができます。

詳細は、e- マニュアル「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」「本製品の状態と情報を確認する」を参照してください。

コンピュータから ジョブを管理する

実行中または待機中のプリントジョブ管理することができます。また、プリントジョブの履歴やファクスの送信／保存／受信結果を確認することもできます。遠隔地からジョブ情報にアクセスできるので、簡単にジョブ管理を行うことができます。

詳細は、e- マニュアル「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」「ジョブを管理する」を参照してください。

パソコンから宛先表を編集する

宛先表の各項目を追加したり変更したりすることができます。コンピュータのキーボードを使用できるので、宛先表の宛先編集が簡単になります。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを編集できます。

詳細は、e- マニュアル「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」「宛先表を管理する」を参照してください。

パソコンから設定／登録する

転送設定、保存／読み込み機能、デバイスの仕様といったシステム設定を行うことができます。さまざまなシステム管理設定を、より簡単に、短時間で行うことができます。

詳細は、e- マニュアル「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」「システム管理の設定をする」を参照してください。

ログインについて

以下の手順でリモート UI にログインします。

メモ

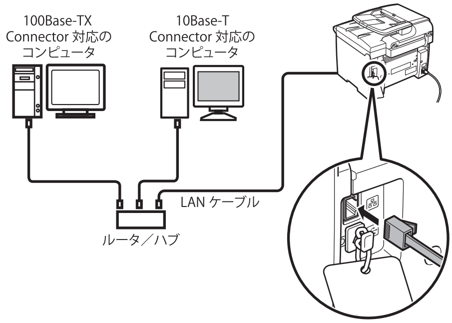
ログインする前に、以下の操作を実行してください。

・＜メニュー＞→＜ネットワーク セッテイ＞→＜ IP アドレス　カクニン＞を選択し、本製品の IP アドレスを確認します。IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。（詳細については、e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」の「IP アドレスの設定とネットワーク接続を確認する（IPv4）」または「ネットワーク接続を確認する（IPv6）」を参照してください。）

・＜メニュー＞→＜システム　カンリ　セッテイ＞→＜ HTTP ヲ　シヨウ＞を＜ ON ＞に設定します。（詳細については、e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」「HTTP 通信の許可を設定する」を参照してください。

1 **ネットワークを準備します。**

TCP/IP ネットワークで使用できるよう本製品を設定し、ネットワークルータまたはハブに本製品とコンピュータを接続します。詳細については、スタートアップガイド「ネットワーク接続の設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」または e- マニュアル「本機の設置、設定」「ネットワーク接続の設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」を参照してください。



2 **ウェブブラウザを起動します。**

3 **ウェブブラウザを起動し、本製品の IP アドレスを入力してから、キーボードの［Enter］キーを押します。**



・入力例：http://xxx.xxx.xxx.xxx.xxx/
x 部分は本製品の IP アドレスです。

・IP アドレスの確認方法の詳細は、e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」の「IP アドレスの設定とネットワーク接続を確認する（IPv4）」または「IP アドレスの設定を確認する（IPv6）」を参照してください。

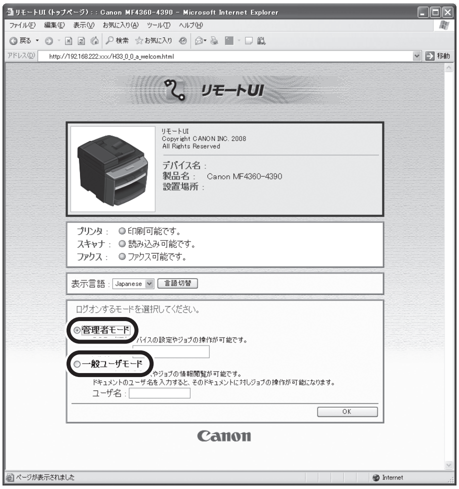
リモート UI の画面が表示されます。

4 **必要なデータを入力します。**

必要なデータは認証モードによって異なります。

■管理モードが設定されていない場合

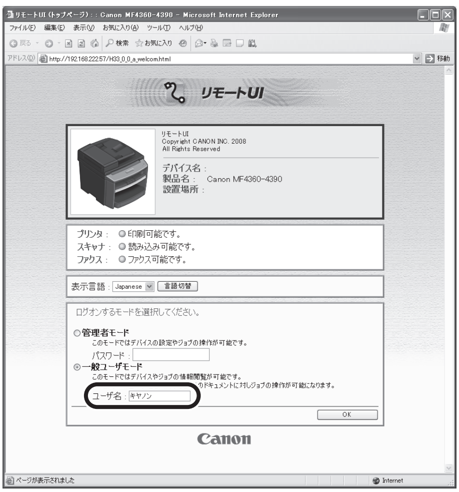
① ［管理者モード］または［一般ユーザモード］を選択します。



メモ

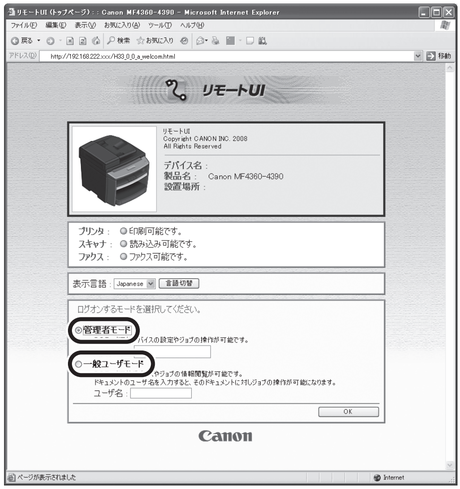
さまざまな機能の設定を変更したい場合は［管理者モード］を選択してください。［一般ユーザモード］を選択した場合、設定を変更することはできません。

② 一般ユーザモードを選択した場合はユーザ名を入力します。



■パスワードが設定されている場合

① ［管理者モード］または［一般ユーザモード］を選択します。



メモ

さまざまな機能の設定を変更したい場合は［管理者モード］を選択してください。［一般ユーザモード］を選択した場合、設定を変更することはできません。

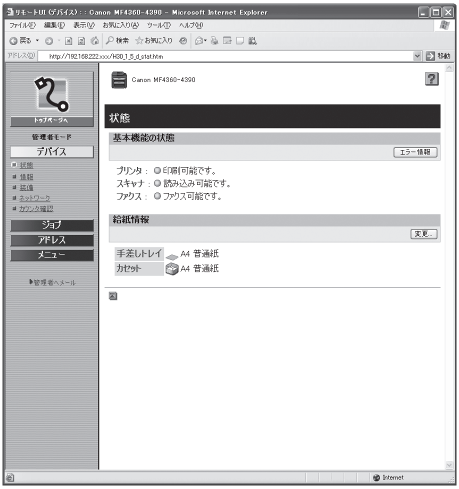
② パスワードまたはユーザ名を入力します。



5 ［OK］をクリックします。

6 本製品を管理／操作します。

ウェブブラウザから本製品を管理／操作できます。詳細については、e- マニュアル「コンピュータからの設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」を参照してください。



日常のメンテナンス

Chapter 10

日常のお手入れについて説明しています。

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認してください。

- メモリにジョブが蓄積されていないことを確認してから、主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になったりすることがあります。

注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、およびその他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体内部の部品を損傷する恐れがあります。

メモ

- 電源プラグを抜いている間は、ファクスの送受信はできません。
- プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。
- メモリ受信されたデータや、送信予約などは、電源プラグを抜いてから約 5 分間は保持されます。メモリに保存されたジョブを確認するには、「メモリにあるファクス受信文書を別の宛先へ転送する」（P.5-48）を参照してください。

本体のお手入れ

本体外部や通気口を清掃します。

1 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、本体の表面を拭きます。

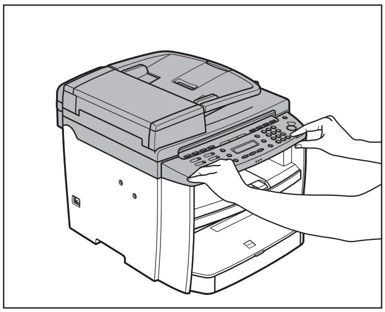
3 完全に乾いてから電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

内部のお手入れ

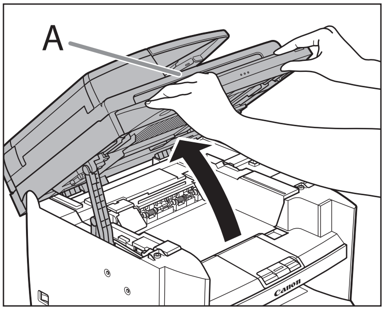
プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

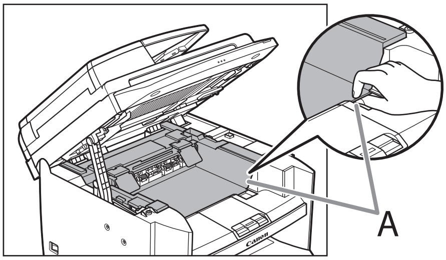
2 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



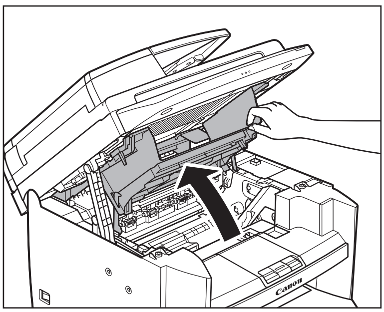
3 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



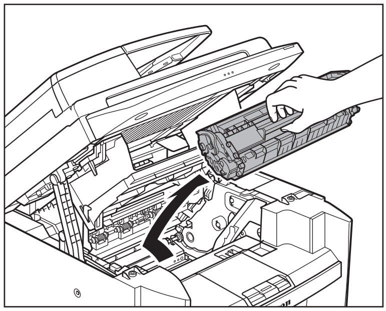
4 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



5 トナーカバーを開けます。

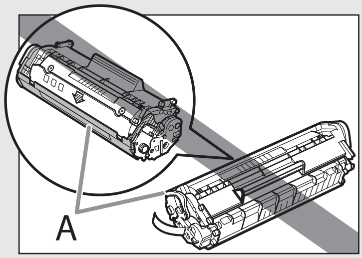


6 トナーカートリッジを取り出します。



注意

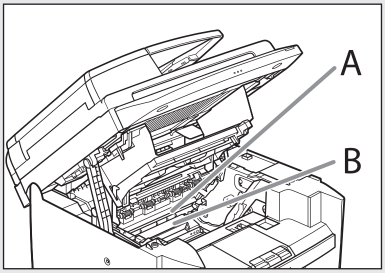
- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。



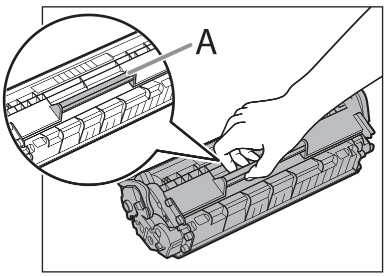
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

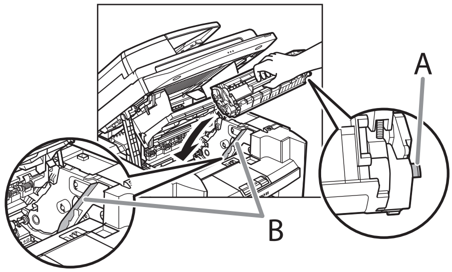
7 清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。

> **⚠ 注意**
>
> - 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
> - 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。
>
> 
>
>
> - 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

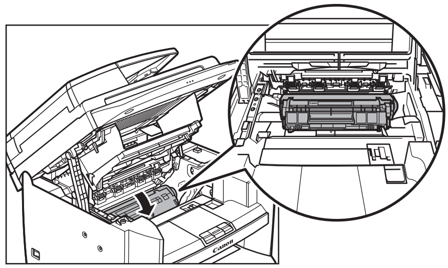
8 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



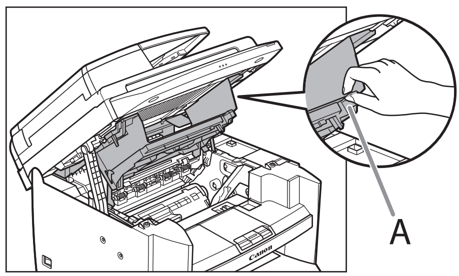
9 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



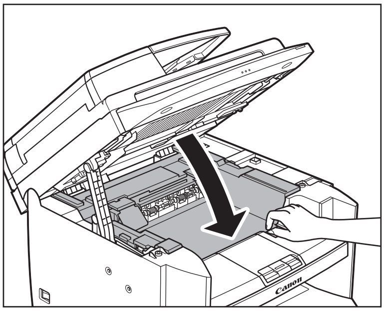
10 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



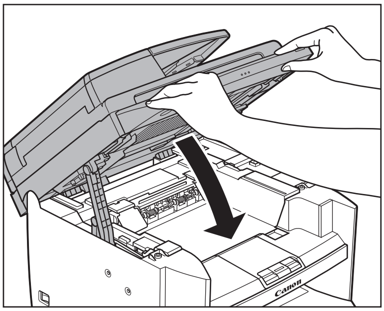
11 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



12 トナーカバーを閉じます。



13 操作パネル部を下げます。



注意
- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

14 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。トナーカートリッジを交換したときにもクリーニングしてください。A4 の白紙を手差しトレイにセットし、クリーニングを開始します。

メモ
- クリーニングには普通紙を使用してください。
- クリーニングには約 130 秒かかります。
- メモリにジョブがある場合はクリーニングできません。

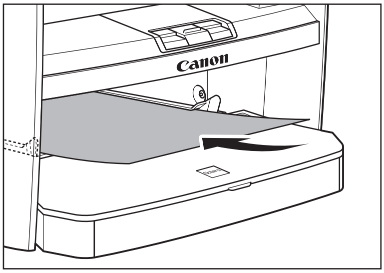
1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄ー］または［+►］を押して<チョウセイ／クリーニング>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
9    チョウセイ/  クリーニング
```

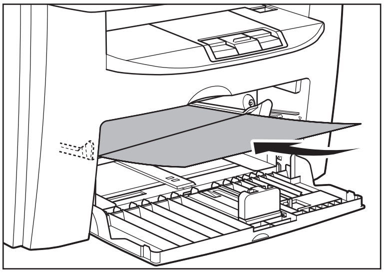
3 A4 の白紙を 1 枚、手差しトレイにセットします。

■MF4380dn/MF4370dn/D450



日常のメンテナンス

■MF4350d/MF4330d



4 ［◄－］または［＋►］を押してを押して<テイチャクキノクリーニング>を選択し、［OK］を押します。

```
チョウセイ/  クリーニング
1    テイチャクキノ  クリーニング
```

クリーニングが開始されます。

> **メモ**
> クリーニングに使用した用紙は、クリーニング終了後、廃棄してください。

読み取りエリアのお手入れ

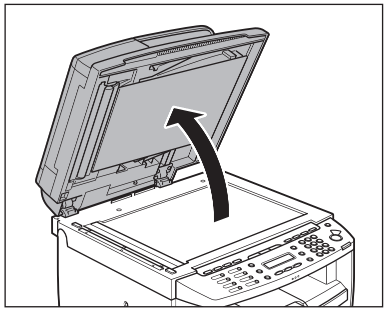
コピーや送信ファクスの品質を保つため、読み取りエリアを清掃してください。

原稿台ガラスのお手入れ

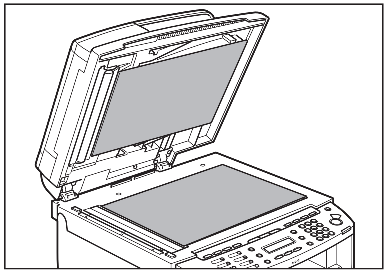
以下の手順で、原稿台ガラスおよび原稿台ガラスカバーの下面の清掃をしてください。

> **注意**
> 原稿台ガラスおよびフィーダー裏面の清掃をするときは、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。

1 ADF を開きます。

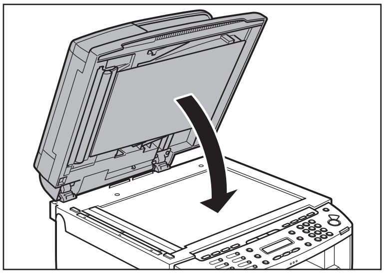


2 水を含ませてかたく絞った布で、原稿台ガラスと ADF 下面の原稿台ガラスカバーを拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



> **注意**
> 水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

3 ADF を閉じます。



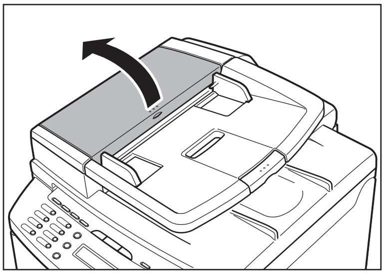
> **注意**
> 指をはさまないよう注意してください。

ADF（MF4380dn/D450）

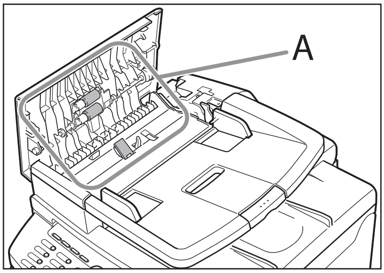
ADF を使用して原稿を読み取ったときに、ローラについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は読み取りエリアとローラを清掃してください。

1 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 ADF のカバーを開きます。

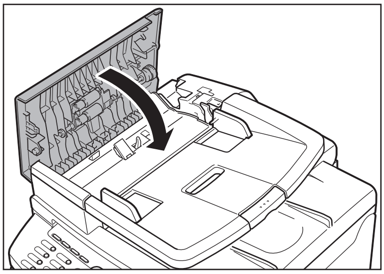


3 水を含ませた布で、ADF 内部のローラ（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



> **注意**
> 水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

4 ADF のカバーを閉じます。



> **注意**
> 指をはさまないよう注意してください。

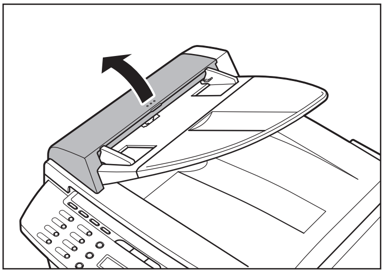
5 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

ADF（MF4370dn/MF4350d/MF4330d）

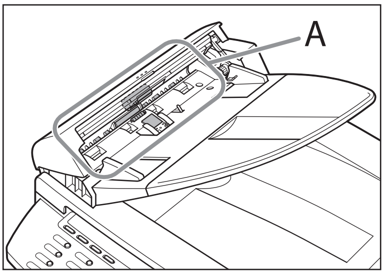
ADF を使用して原稿を読み取ったときに、ローラについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は読み取りエリアとローラを清掃してください。

1 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 ADF のカバーを開きます。

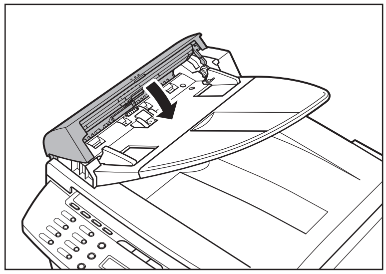


3 水を含ませた布で、ADF 内部のローラ（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



> **注意**
> 水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

4 ADF のカバーを閉じます。



> **注意**
> 指をはさまないよう注意してください。

5 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。本製品の使用中にトナーが少なくなったり、なくなったりすると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
トナーショウ（ケイゾクプリントカ） トナージュンビ	トナーが残り少なくなったとき。	• トナーカートリッジの中のトナーを均一にならしてください。（→「トナーを均一にならす」（P.10-10）） • 大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。（→「トナーカートリッジを交換する」（P.10-13））
トナーガ　ナクナリマシタ トナーヲ　コウカンシテクダサイ	トナーがなくなったとき。	• トナーカートリッジの中のトナーを均一にならしてください。（→「トナーを均一にならす」（P.10-10）） • メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。（→「トナーカートリッジを交換する」（P.10-13））

トナーを均一にならす

トナーが残り少なくなってくると、ディスプレイに<トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナージュンビ>と表示されます。この場合は、トナーを均一にならしてください。トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意しておくことをおすすめします。

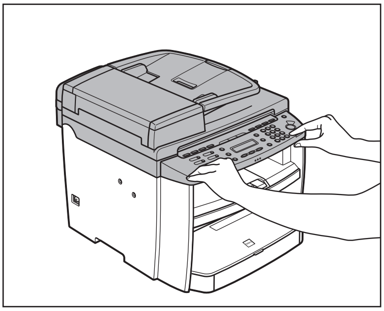
注意

「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

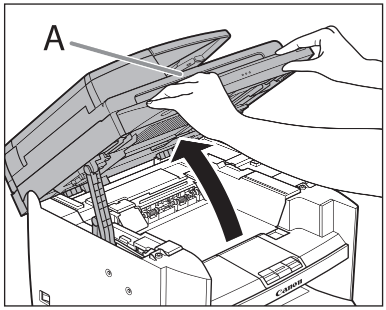
メモ

<インジケイゾク>を< ON >に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることができません。（→「ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」（P.5-1））

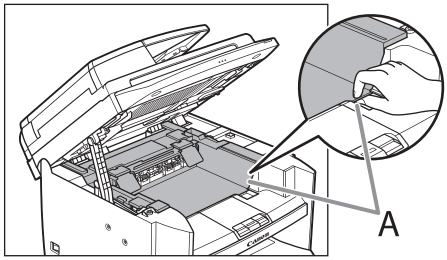
1 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



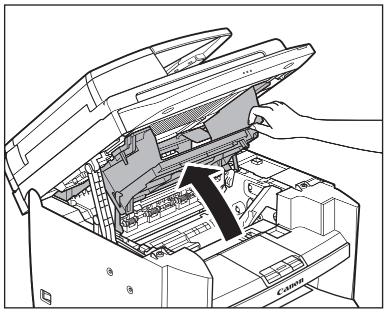
2 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



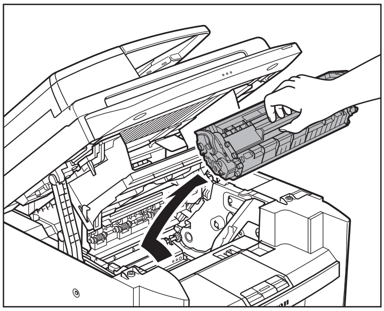
3 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



4 トナーカバーを開けます。



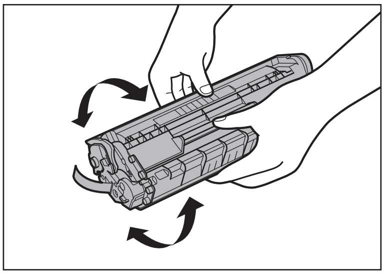
5 トナーカートリッジを取り出します。



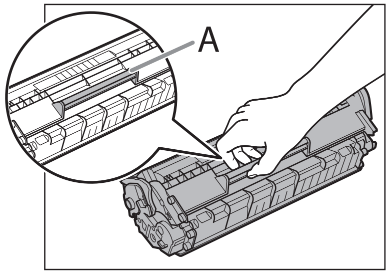
注意

「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

6 トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。

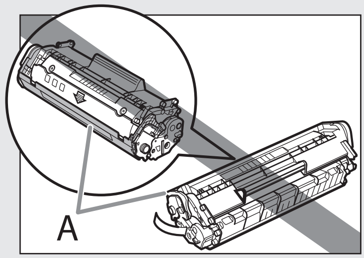


7 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

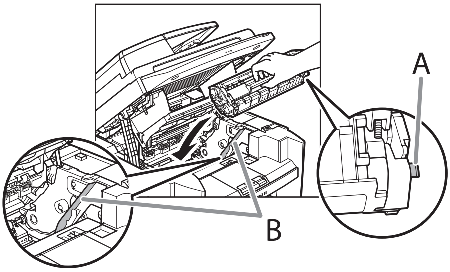
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



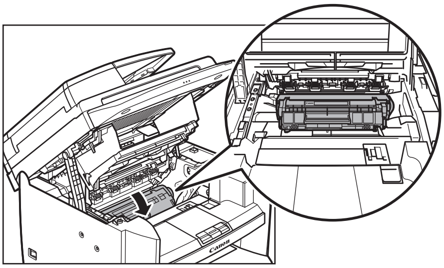
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

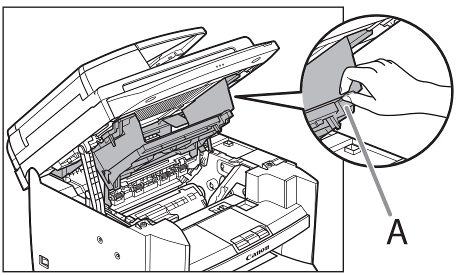
8 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



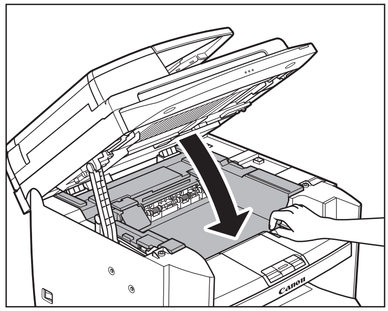
9 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



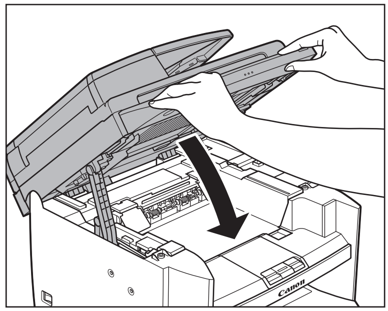
10 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



11 トナーカバーを閉じます。



12 操作パネル部を下げます。



注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

トナーカートリッジを交換する

<トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ>と表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したデータはプリントされずにメモリに保存されます。<インジケイゾク>を< ON >に設定している場合は、トナーカートリッジを交換しなくても、受信したデータやレポートを続けてプリントすることができます。（→「ファクス機能を使う（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」（P.5-1））

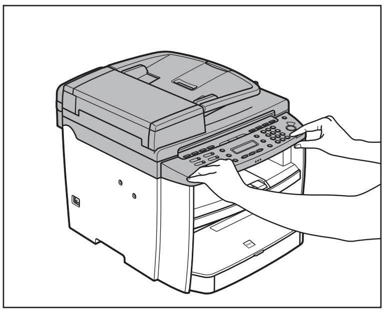
注意

「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

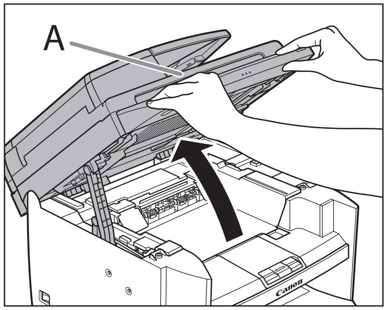
メモ

- <インジケイゾク>を< ON >に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度プリントすることができません。
- ［トナー残量］が寿命の場合も、トナーカートリッジを交換してください。（→「トナー残量を確認する」（P.1-14））

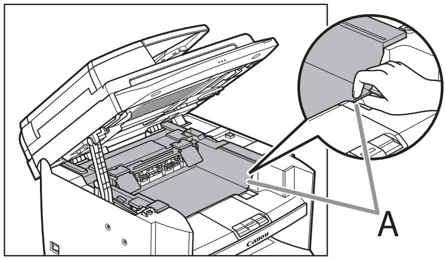
1 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



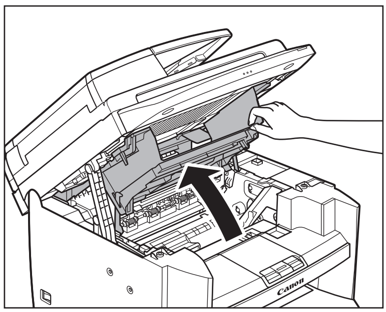
2 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



3 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。

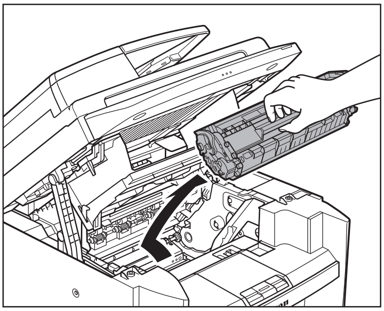


4 トナーカバーを開けます。



日常のメンテナンス

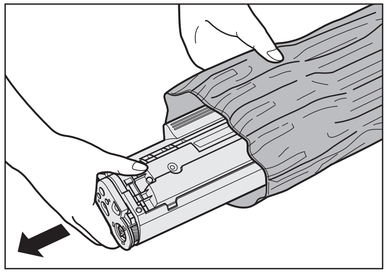
5 **トナーカートリッジを取り出します。**



注意

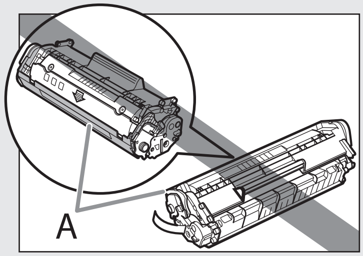
「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

6 **保護袋から新しいトナーカートリッジを取り出します。**



注意

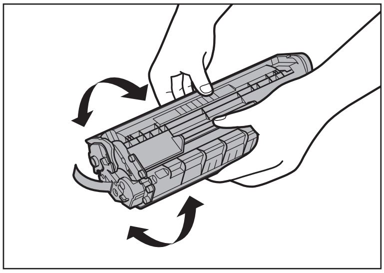
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



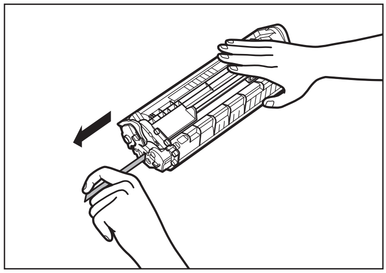
メモ

保護袋は保存しておいてください。後で本製品からトナーカートリッジを取り外す際に必要となります。

7 **トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。**



8 **トナーカートリッジを平らな場所におき、片手でトナーカートリッジを押さえながら、シーリングテープを完全に引き抜きます。**

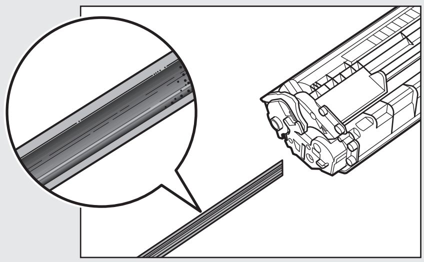


メモ

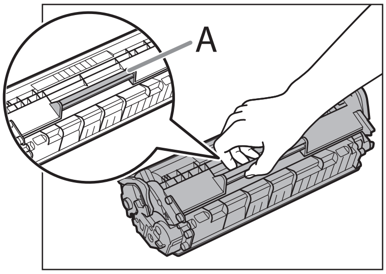
シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

注意

- 引き抜いたシーリングテープには、トナーが付着していることがあります。手や衣服を汚さないように注意してください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うと、トナーが定着し、落ちなくなります。

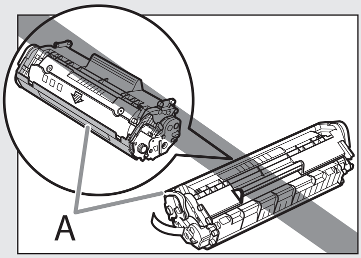


9 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

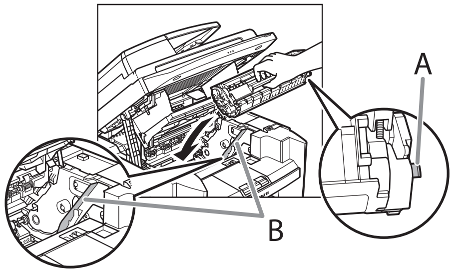
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



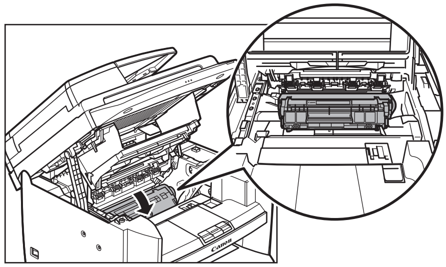
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

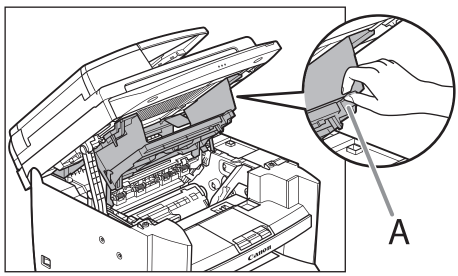
10 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



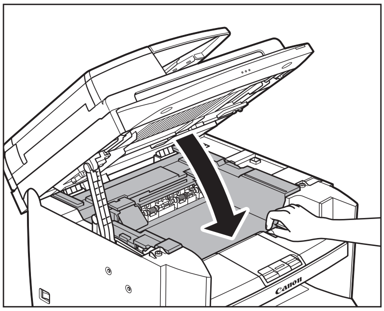
11 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



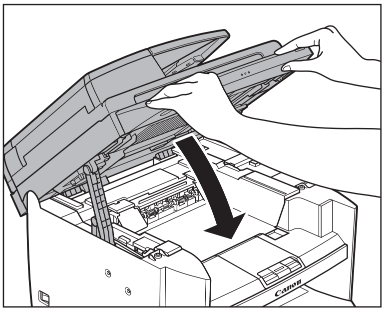
12 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



13 トナーカバーを閉じます。



14 操作パネル部を下げます。



注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

本製品を移動するとき

本製品を移動する際に必要な手順を説明しています。

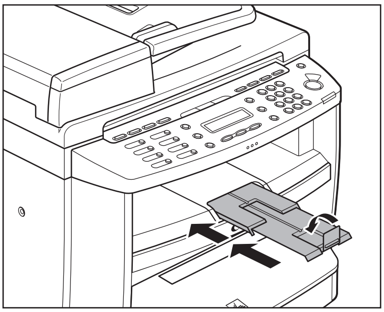
MF4380dn/MF4370dn/D450

本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

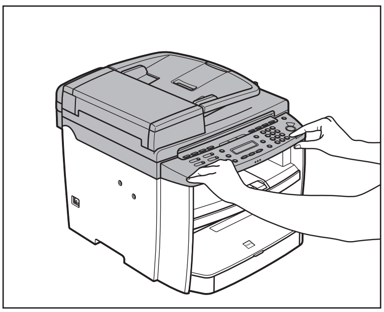
1 主電源スイッチを切ります。

2 電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。

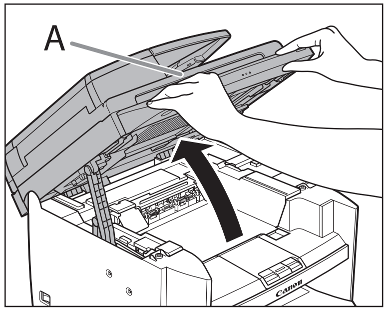
3 排紙補助トレイを使用している場合は、排紙ストッパーを折りたたみ、排紙補助トレイを本体内部に押し込みます。



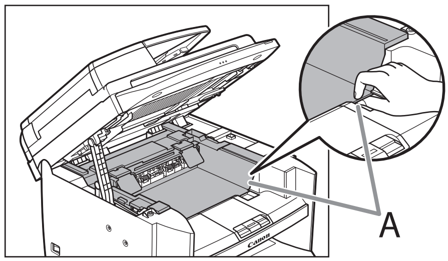
4 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



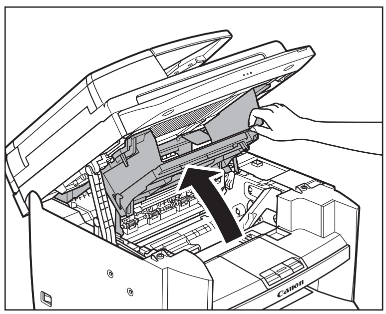
5 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



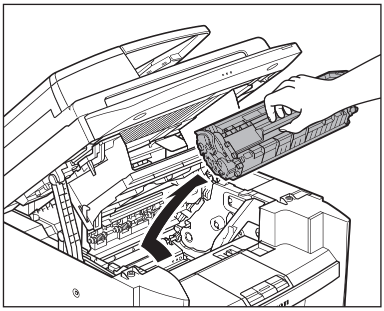
6 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



7 トナーカバーを開けます。

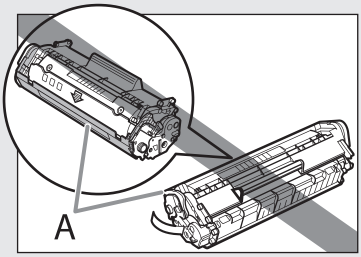


8 トナーカートリッジを取り出します。



注意

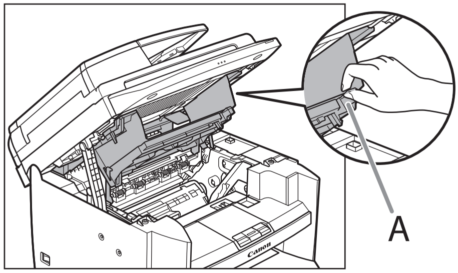
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



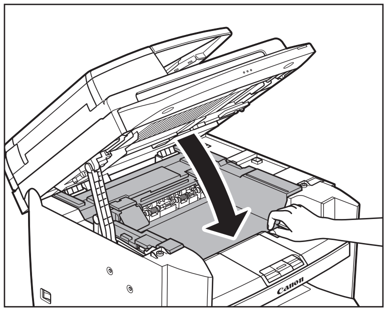
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

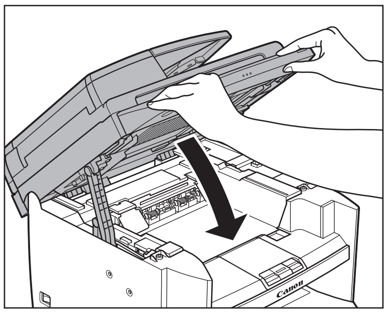
9 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



10 トナーカバーを閉じます。



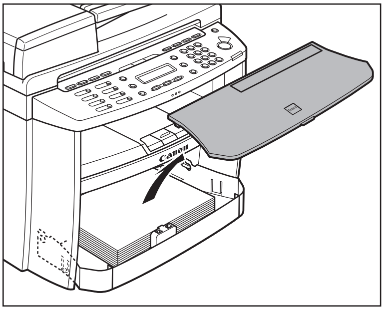
11 操作パネル部を下げます。



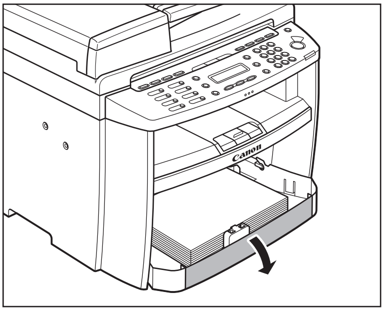
注意

指をはさまないよう注意してください。

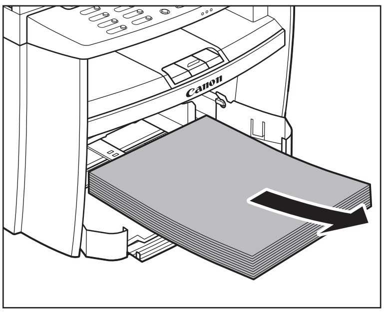
12 用紙カバーを用紙カセットから取り外します。



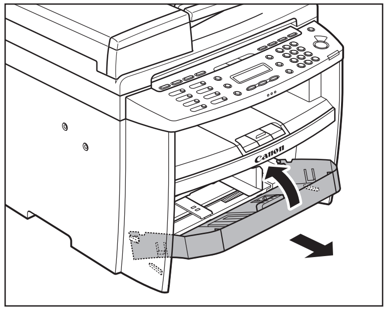
13 用紙カセットの前面部を開きます。



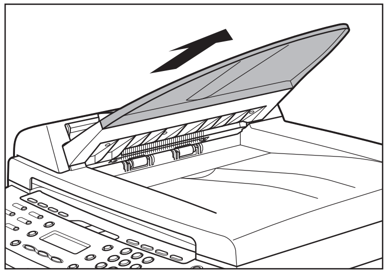
14 用紙カセットから用紙を取り出します。



15 用紙カセットの前面部を持ち上げ、手前に引いて取り外します。



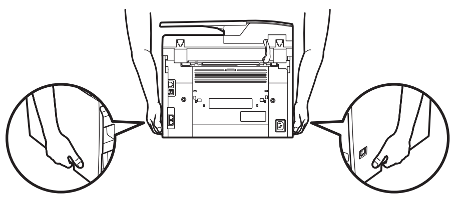
16 原稿給紙トレイを取り外します。



MF4380dn と D450 は、この手順をとばして手順 17 に進んでください。

17 すべてのカバーが閉じていることを確認します。

18 左右にある取っ手をにぎって、本製品を持ち上げます。



注意

- 付属品を持って本製品を持ち上げないでください。本製品を落とすと、けがをする恐れがあります。
- 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さを確認してください。（→「主な仕様」（P.13-2））

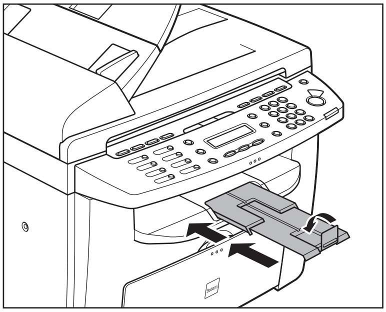
MF4350d/MF4330d

本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

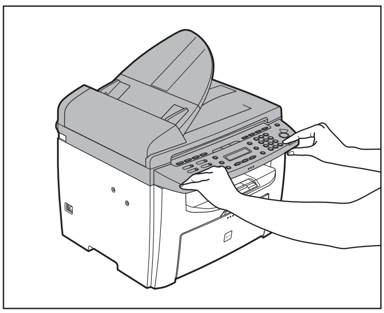
1 主電源スイッチを切ります。

2 電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。

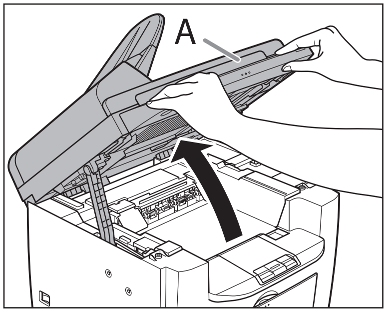
3 排紙補助トレイを使用している場合は、排紙ストッパーを折りたたみ、排紙補助トレイを本体内部に押し込みます。



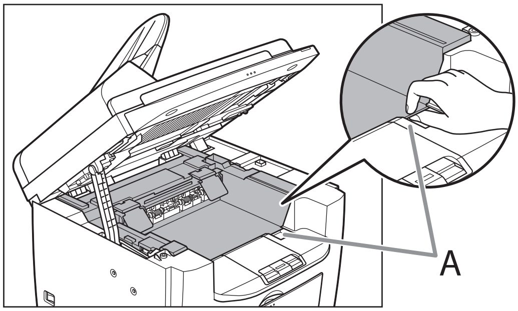
4 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



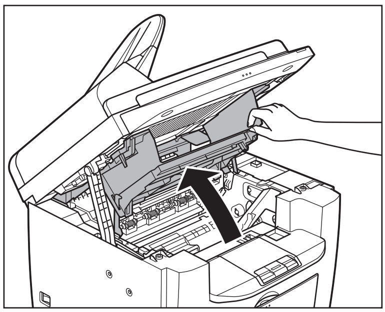
5 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



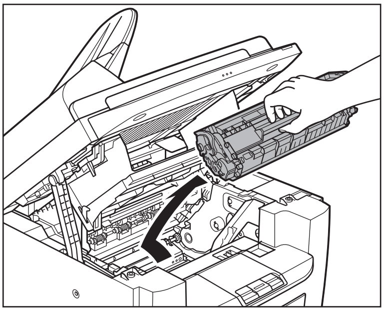
6 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



7 トナーカバーを開けます。

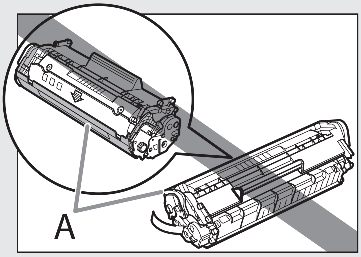


8 トナーカートリッジを取り出します。



注意

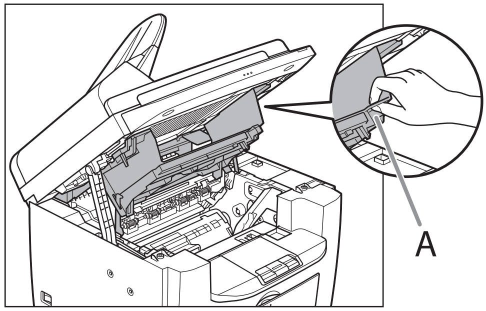
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



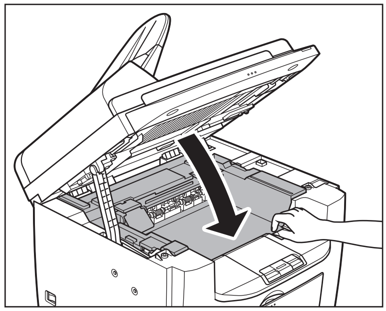
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

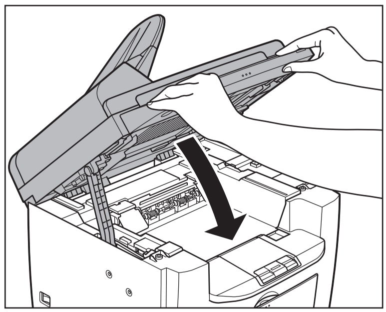
9 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



10 トナーカバーを閉じます。



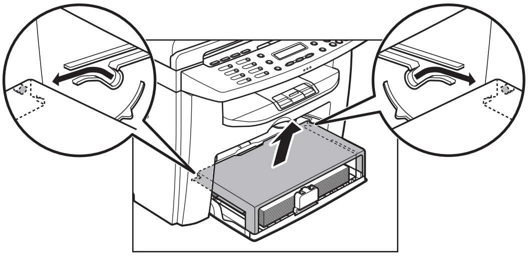
11 操作パネル部を下げます。



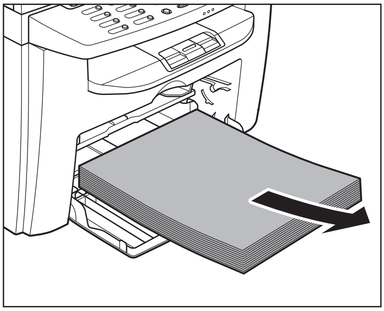
注意

指をはさまないよう注意してください。

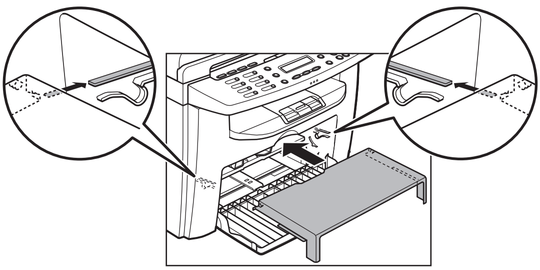
12 用紙カバーを用紙トレイから取り出します。



13 用紙カセットから用紙を取り出します。



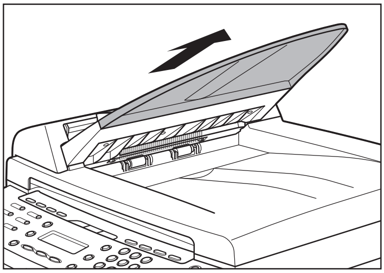
14 用紙カバーを本体の内部へ格納します。



15 用紙後端ガイドを押して、用紙トレイを閉じます。

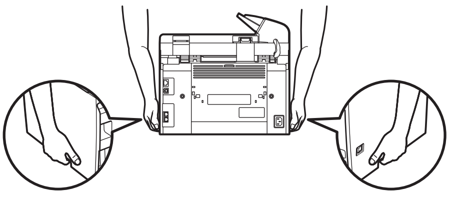


16 原稿給紙トレイを取り外します。



17 すべてのカバーが閉じていることを確認します。

18 左右にある取っ手をにぎって、本製品を持ち上げます。



⚠ 注意

- 付属品を持って本製品を持ち上げないでください。本製品を落とすと、けがをする恐れがあります。
- 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さを確認してください。(→「主な仕様」(P.13-2))

困ったときには

Chapter 11

紙づまりが起きたときや、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

用紙や原稿がつまったら

ディスプレイに＜ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ＞、＜ヨウシガ　ツマリマシタ＞、または＜ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞と表示された場合は、ADF か本体内部で紙づまりが起きています。つまった原稿や用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除いてください。

紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

・本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
・お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。（→使用できる用紙について：P.2-6）
・つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

注意

・つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。
・つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。
・用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
・手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。

メモ

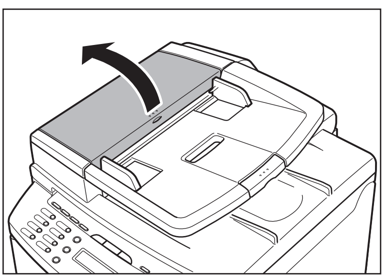
つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ADF につまった原稿を取り除く

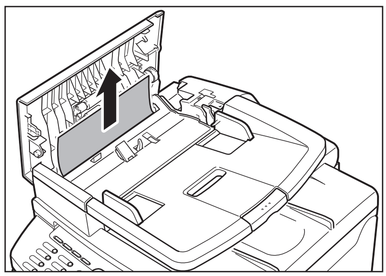
ディスプレイに＜ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ＞と表示された場合は、ADF からつまった原稿を取り除いてください。

MF4380dn/D450 の場合

1 ADF カバーを開きます。



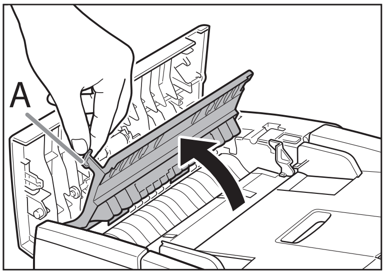
2 つまった原稿の両端を持って、ADF から静かに取り除きます。



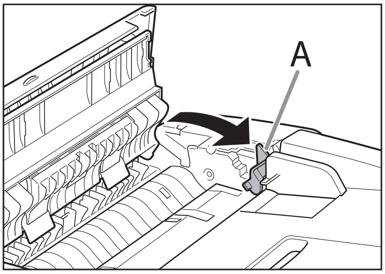
メモ

原稿が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

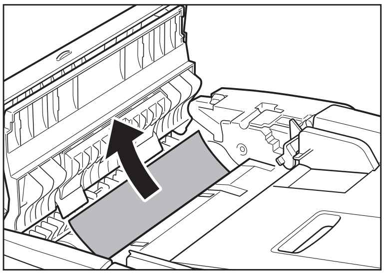
3 手前のつまみ（A）を持って、中カバーを開きます。



4 圧解除レバー（A）を押します。



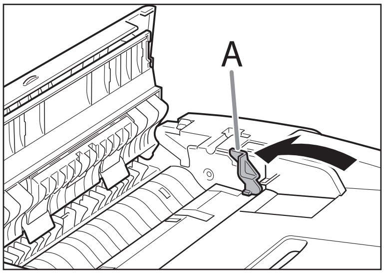
5 つまった原稿を取り除きます。



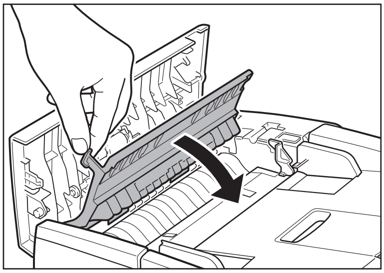
メモ

原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破れることがあります。

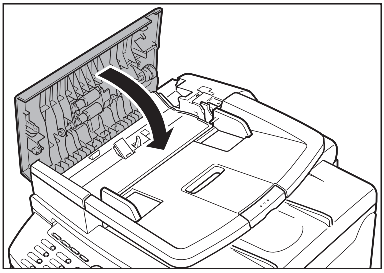
6 圧解除レバー (A) を元に戻します。



7 中カバーを閉じます。



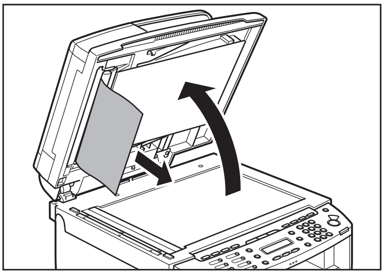
8 ADF カバーを閉じます。



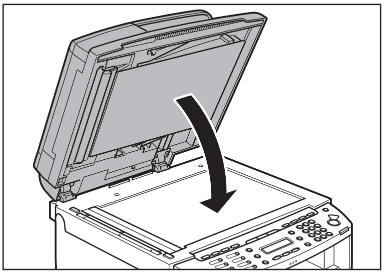
メモ

指をはさまないよう注意してください。

9 原稿台ガラスカバーを開き、つまった原稿を取り除きます。



10 原稿台ガラスカバーを閉じます。

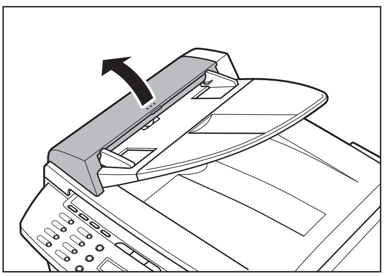


注意

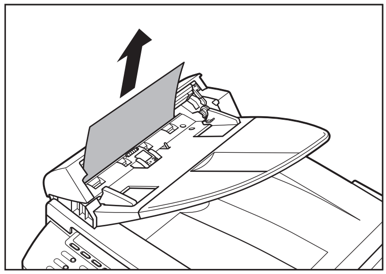
指をはさまないよう注意してください。

MF4370dn/MF4350d/MF4330d の場合

1 ADF カバーを開きます。



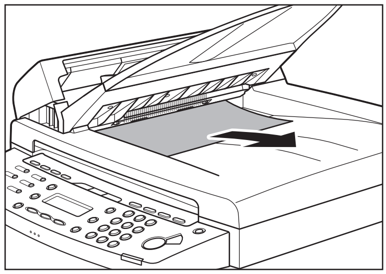
2 つまった原稿の両端を持って、ADF から静かに取り除きます。



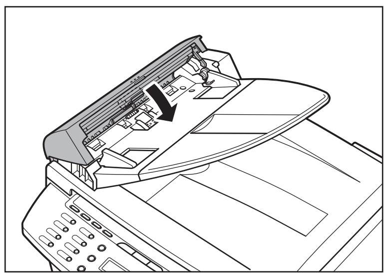
メモ

原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破れることがあります。

3 つまった原稿の両端を持って、排紙トレイから静かに取り除きます。



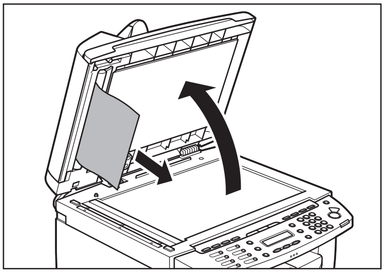
4 ADF カバーを閉じます。



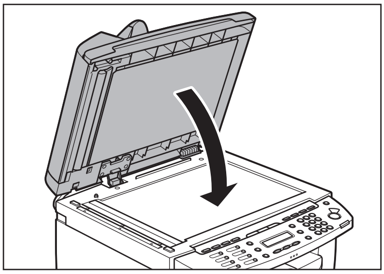
注意

指をはさまないよう注意してください。

5 原稿台ガラスカバーを開き、つまった原稿を取り除きます。



6 原稿台ガラスカバーを閉じます。



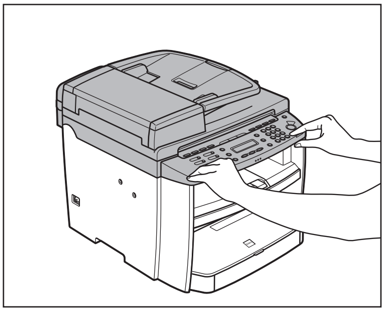
> **注意**
> 指をはさまないよう注意してください。

本体内部につまった用紙を取り除く

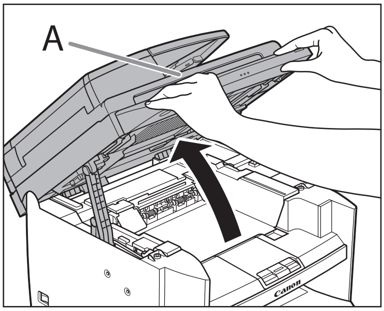
ディスプレイに<ヨウシガ　ツマリマシタ>または<ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲアケテクダサイ>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除きます。

MF4380dn/MF4370dn/D450 の場合

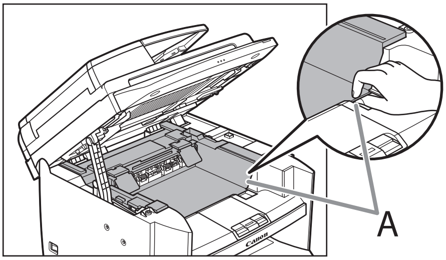
1 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



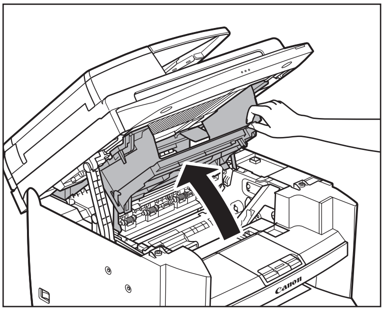
2 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



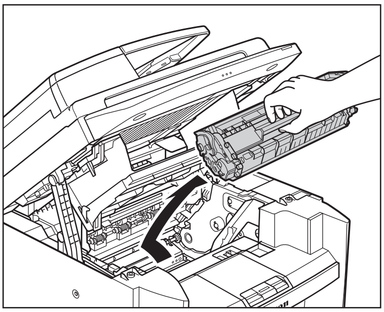
3 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



4 トナーカバーを開けます。

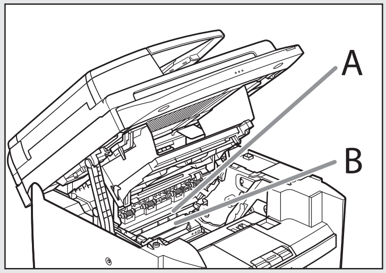


5 トナーカートリッジを取り出します。



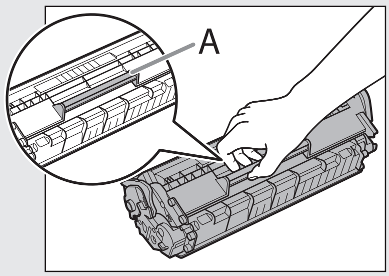
注意

- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触して、損傷する場合があります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

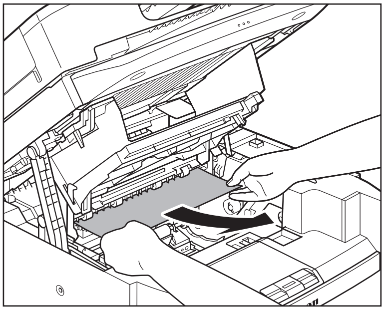


メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手（A）を持ってください。

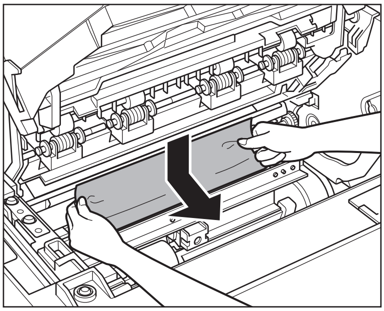


6 つまった用紙の両端を持って、静かに引き出します。



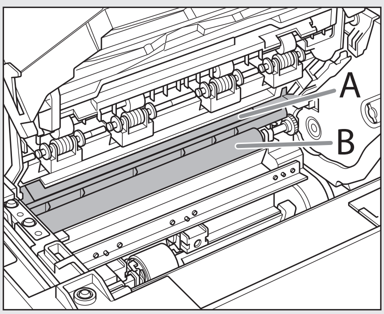
■つまった用紙の先端が出ていない場合

①定着器と搬送ローラの間につまった用紙を、先端が見えるまで下方向に静かに引き出します。

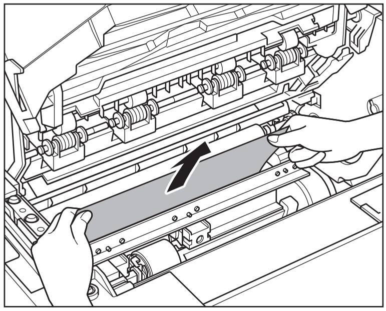


注意

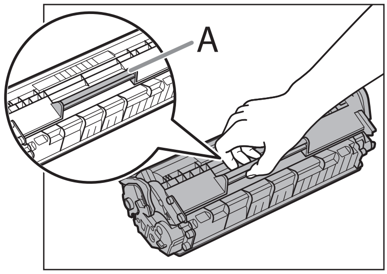
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。



②用紙の先端が出たら、つまった用紙をゆっくりと引き出します。



7 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



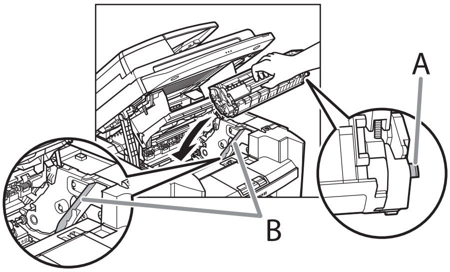
注意

トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

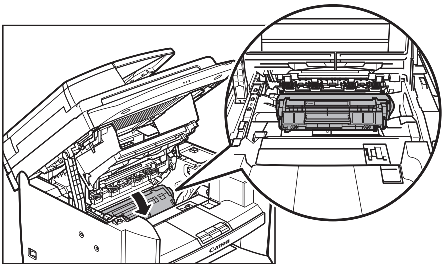
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

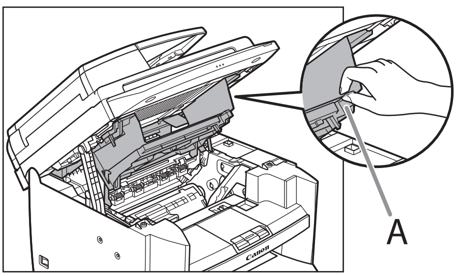
8 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



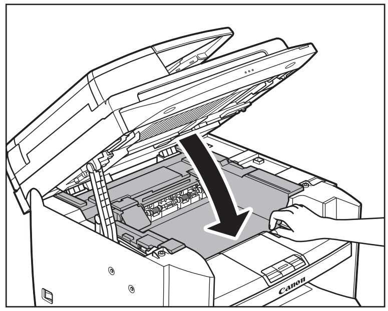
9 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



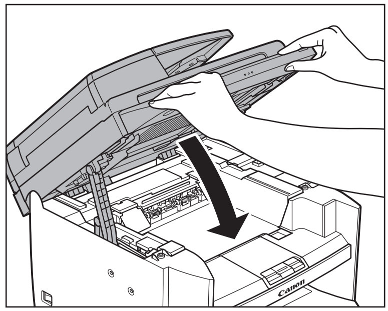
10 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



11 トナーカバーを閉じます。

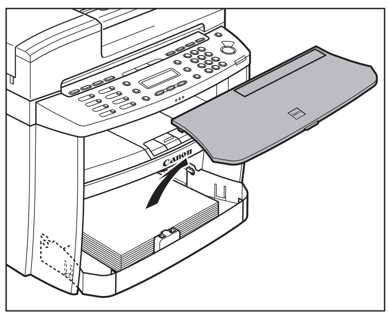


12 操作パネル部を下げます。

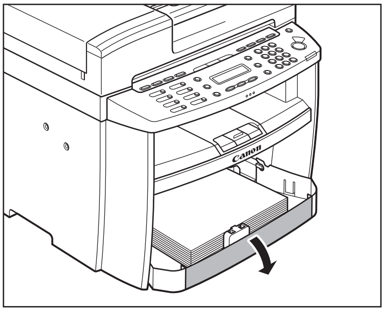


> **注意**
> • 指をはさまないよう注意してください。
> • トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

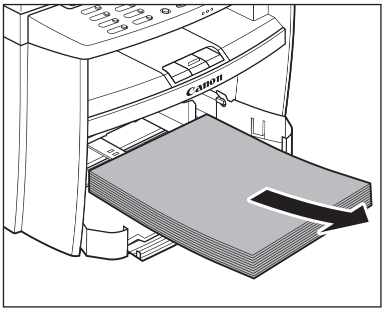
13 用紙カセットから用紙カバーを取り除きます。



14 用紙カセットの前面部を開きます。

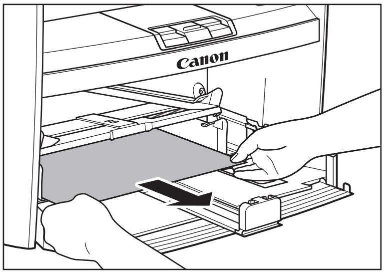


15 用紙カセットの用紙を取り除きます。

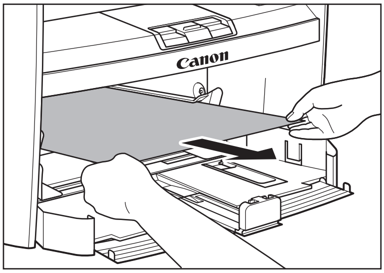


16 つまった用紙の両端を持って、静かに矢印の方向に引き出します。

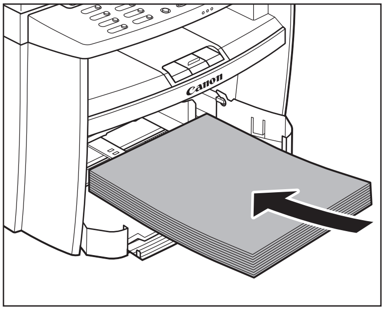
■用紙カセットから給紙している場合



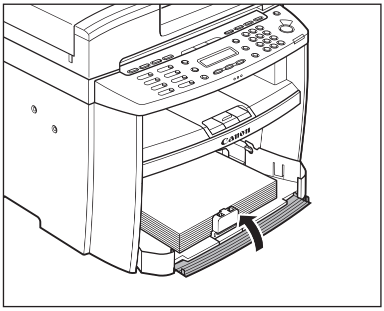
■手差しトレイから給紙している場合



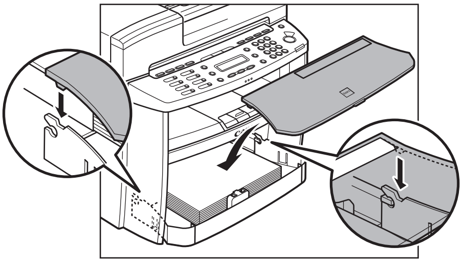
17 用紙カセットに用紙をセットします。



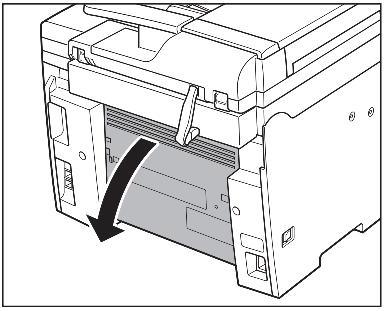
18 用紙カセットの前面部を閉じます。



19 **用紙カバーを用紙カセットに合わせます。**

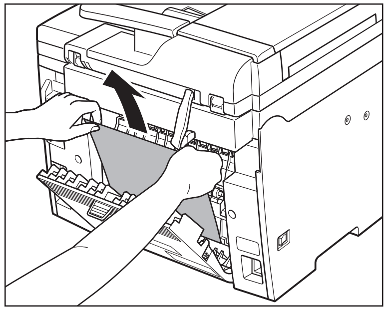


20 **後ろカバーを開きます。**

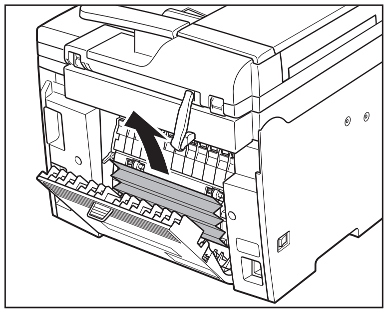


この手順は、ディスプレイに<ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

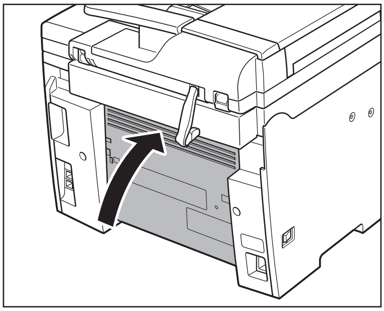
21 **つまった用紙の両端を持って、静かに上方に引き出します。**



- この手順は、ディスプレイに<ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。
- つまった用紙がひどく折れ曲がっている場合は、用紙を伸ばしてから引き抜いてください。



22 後ろカバーを閉じます。



この手順は、ディスプレイに<ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

注意

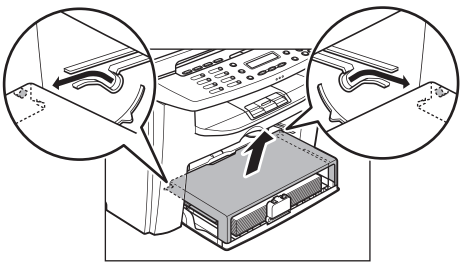
指をはさまないよう注意してください。

メモ

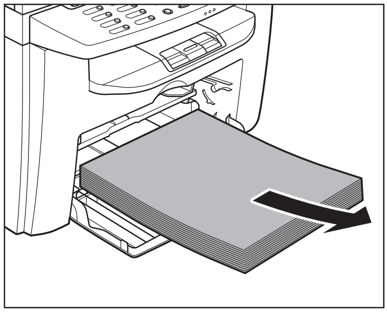
背面につまった用紙を取り除いた後は、トナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

MF4350d/MF4330d の場合

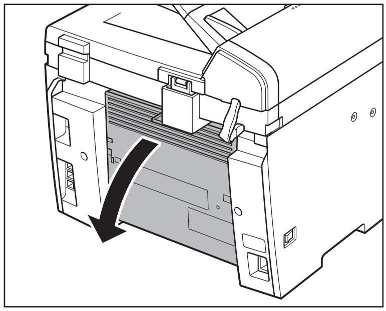
1 用紙カバーを用紙トレイから取り外します。



2 用紙トレイから用紙を取り出します。

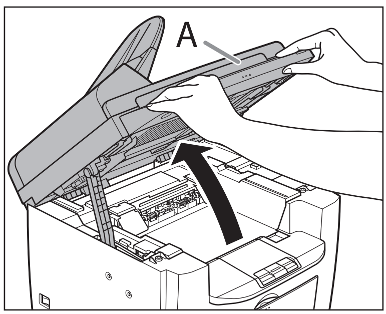


3 後ろカバーを開きます。

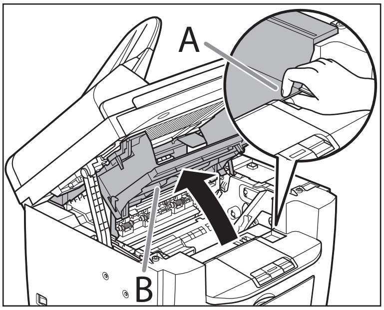


この手順は、ディスプレイに<ヨウシガ ツマリマシタ／ウシロカバーヲ アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

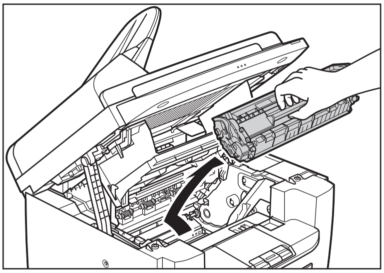
4 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。



5 くぼみにあるつまみ（A）を持って、トナーカバー（B）を開けます。

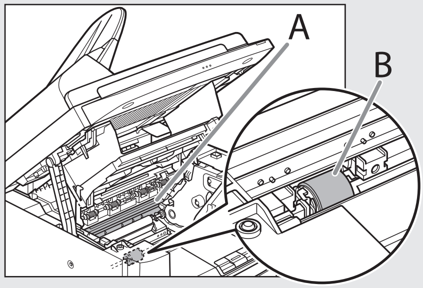


6 カートリッジを取り出します。



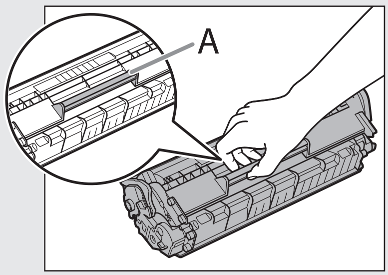
注意

- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触して、損傷する場合があります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

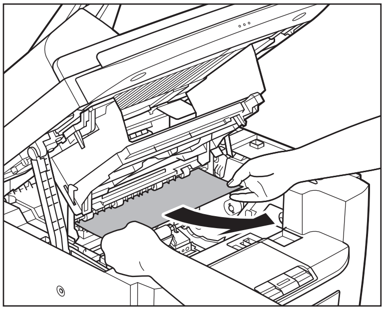


メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手（A）を持ってください。

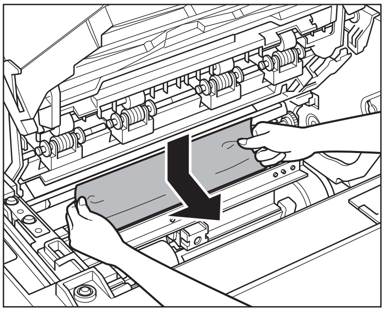


7 つまった用紙の両端を持って、静かに引き出します。



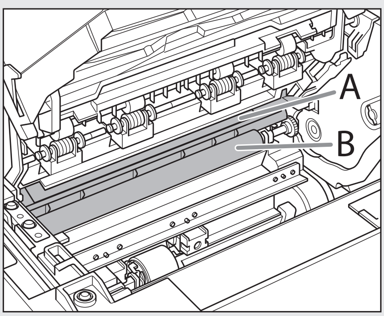
■つまった用紙の先端が出ていない場合

①定着器と搬送ローラの間につまった用紙を、先端が見えるまで下方向に静かに引き出します。

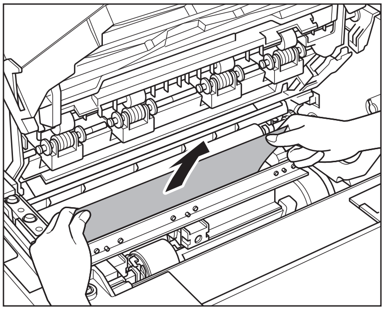


注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

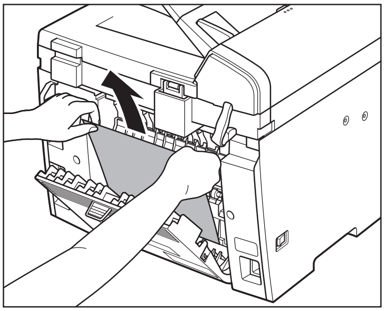


②用紙の先端が出たら、つまった用紙をゆっくりと引き出します。

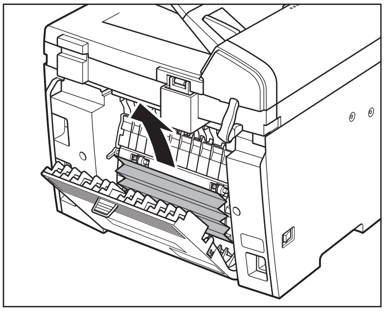


8 つまった用紙の両端を持って、静かに上方に引き出します。

- この手順は、ディスプレイに<ヨウシガ ツマリマシタ／ウシロカバーヲ アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

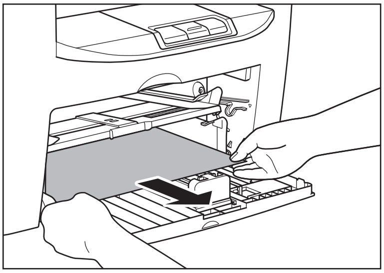


- つまった用紙がひどく折れ曲がっている場合は、用紙を伸ばしてから引き抜いてください。

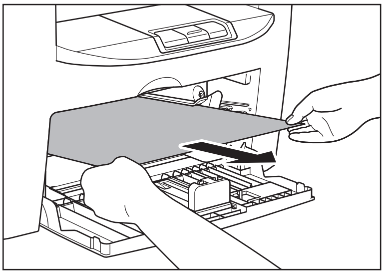


9 つまった用紙の両端を持って、静かに矢印の方向に引き出します。

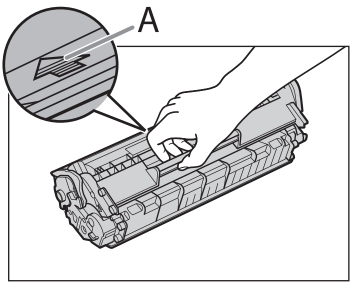
■用紙トレイから給紙している場合



■手差しトレイから給紙している場合



10 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

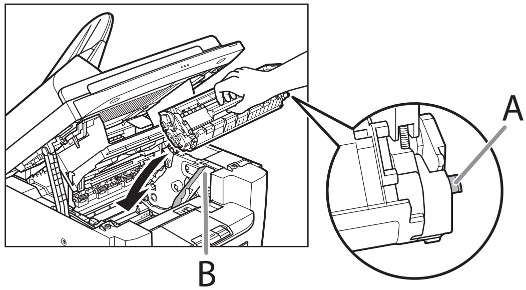


矢印（A）を本体に向けてください。

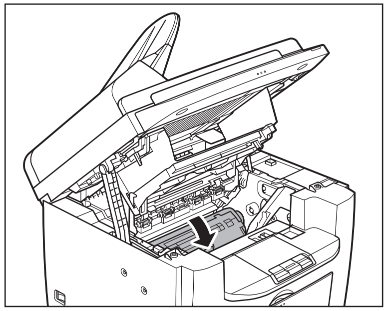
注意

トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

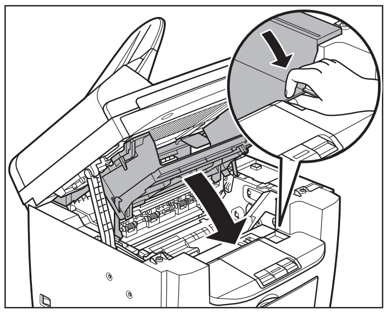
11 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



12 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。

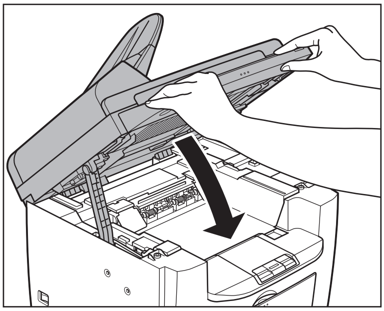


13 つまみを持って、トナーカバーを閉じます。



困ったときには

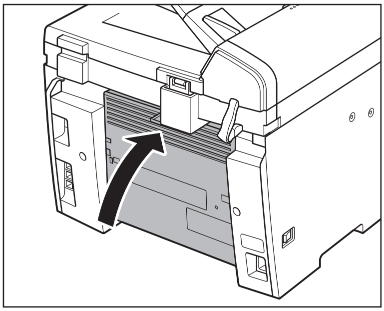
14 操作パネル部を閉じます。



注意

指をはさまないよう注意してください。

15 後ろカバーを閉じます。



この手順は、ディスプレイに<ヨウシガ ツマリマシタ／ウシロカバーヲ アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

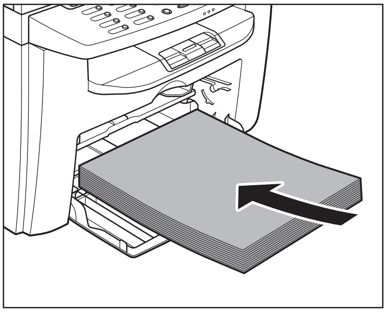
注意

指をはさまないよう注意してください。

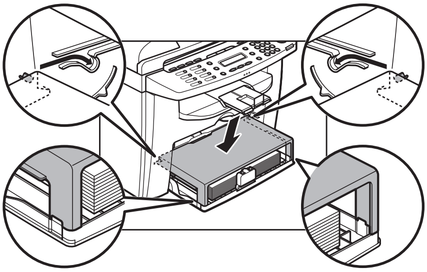
メモ

背面につまった用紙を取り除いた後は、トナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

16 原稿トレイに用紙をセットします。



17 用紙カバーの両側の突起を本体内部のガイドに合わせて奥までスライドしたあと、用紙カバーの角を用紙トレイの角に合わせます。



メモ

全ての手順が正常に終了した場合、本製品は操作可能な状態になります。ディスプレイに待受画面が表示されていれば、問題は解決されています。待受画面が表示されない場合は、本体内に紙づまりが残っていないか、確認してください。

メッセージが表示されたら

ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法を説明します。

メッセージ	原因	処置
ガゾウガ　ウシナワレマシタ	電源を切ったときにメモリに蓄積されていたデータが失われた。 電源を切っても、メモリに蓄積されているファクス受信文書などのデータは約 5 分間保存されます。ただし、5 分を超えるとデータは消去されますのでご注意ください。	2 秒後に自動的にエラーが解除され、メモリクリアレポートがプリントされます。
カバーヲ　シメテクダサイ **トナーカバー**	トナーカバーが完全に閉じていない。	トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。
ゲンコウヲ　テンケンシテクダサイ	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿を ADF から取り除いてください。 （→ ADF につまった原稿を取り除く）
コノキノウハ　シヨウデキマセン	［リダイヤル／ポーズ］を使ってのリダイヤルはできない。＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜リダイヤルノ　セイゲン＞が＜ ON ＞に設定されているときに表示される。	＜リダイヤルノ　セイゲン＞を＜ OFF ＞に設定するか、手動でダイヤルしてください。
コレイジョウ　トウロクデキマセン	• 入力した同報送信の相手先が最大件数（124）に達した。 • 登録したグループダイヤルの相手先が最大件数（50）に達した。	• 数回に分けて送信してください。 • 別のワンタッチダイヤルキーに登録してください。
システム　エラー **EXXX**	本体に何らかのエラーが発生している。 ＜ XXX ＞はエラーの種類に応じた 3 桁の番号を示す。	主電源スイッチを切り、10 秒以上待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
シバラク　オマチクダサイ	主電源スイッチを入れたとき、またはプリントの準備ができていない場合に表示される。	メッセージが消えるまでお待ちください。

メッセージ	原因	処置
ジュシンデータプリントデキマセン **エラーカイジョゴ　プリント**	何らかのエラーが発生したため、受信データをメモリに一時的に保存した。	このエラーメッセージは以下のエラーメッセージと交互に表示されます。エラーが解消された後、受信データはプリントされます。対処方法については、一緒に表示されるメッセージの対処方法を参照してください。 • ＜カバーヲ　シメテクダサイ／トナーカバー＞ • ＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞ • ＜テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ＞ • ＜トウロクサイズヲ　ヘンコウ／→ヨウシセッテイ＞ • ＜トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ＞ • ＜パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ＞ • ＜ヨウシガ　ツマリマシタ＞ • ＜ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞ • ＜ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ＞ • ＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞
ジュワキヲ　オイテクダサイ	外付け電話機の受話器が外れている。	受話器を置いてください。
スデニ　トウロクサレテイマス	• グループダイヤル登録中に、すでに登録済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録しようとした。 • 同報送信入力中に、すでに入力済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを入力しようとした。	使用する前にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録されている情報を確認してください。
タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ	用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズと、本製品の＜ヨウシ　サイズ＞メニューまたはプリンタドライバの［出力用紙サイズ］に設定されている用紙サイズが異なる。	用紙をセットしなおすか、本製品またはプリンタドライバで設定した用紙サイズを変更してください。（→＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.11-22）
テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ	手差しトレイに用紙がセットされている。	手差しトレイにセットされている用紙を取り除いてください。手差しトレイに用紙がセットされていると、ファクス、レポートおよびリストはプリントされずにメモリに蓄積されます。

メッセージ	原因	処置
トウロクサイズヲ　ヘンコウ → ヨウシセッテイ	プリントに適切な用紙サイズが設定されていない。	• レポート、リスト、受信したデータをプリントする場合は、＜カセット＞の＜ヨウシ　サイズ＞を＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICOOFICIO ＞、＜ GOVERNMENT-LETTER ＞、＜ GOVERNMENT-LEGAL ＞、＜ FOOLSCAP ＞、＜ LTR ＞、または＜ LGL ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-19） • 受信したデータを両面印刷する場合は、＜カセット＞の＜ヨウシ　サイズ＞を＜ A4 ＞または＜ LTR ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-19） • 両面コピーする場合は、＜ヨウシ　サイズ＞を＜ A4 ＞または＜ LTR ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-19）
トウロクチュウノ　キーデス トウロク　デキマセン	グループダイヤル登録中に、グループダイヤルとして割り当てようとしているワンタッチダイヤルキー自体を指定した。	他のワンタッチダイヤルを指定してください。
トナーガ　ナクナリマシタ トナーヲ　コウカンシテクダサイ	トナーがなくなった。	トナーを均一にならしてください。（→トナーを均一にならす：P.10-10）メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。コピー中およびプリント中にこのメッセージが表示されると、実行中のジョブは継続して印刷されます。ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したファクスはプリントされずにメモリに保存されます。トナーカートリッジの交換をしないで受信したファクスをプリントする場合は、＜ファクスセッテイ＞の＜プリント　セッテイ＞で＜インジケイゾク＞を＜ ON ＞に設定してください。トナー交換後は＜インジケイゾク＞を＜ OFF ＞に戻しておくことをおすすめします。（→トナーが少なくなっているときにも受信した文書を印刷する：P.5-38）
トナーショウ（ケイゾクプリントカ） トナージュンビ	トナーが残り少なくなっている。	トナーを均一にならしてください。（→トナーを均一にならす：P.10-10）トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意してください。

メッセージ	原因	処置
パスワードガ　チガイマス	入力したメモリ受信の暗証番号またはシステム管理暗証番号が間違っている。	正しいパスワードを入力してください。詳細については、「受信した文書をプリントしないでメモリに保存する（メモリ受信）」（P.5-45）または e- マニュアル「本製品の紹介」「システム管理暗証番号を設定する」を参照してください。
パネルヲ　モチアゲテクダサイ **トナーカバーヲ　アケテクダサイ**	何らかのエラーが発生した。	このエラーメッセージは、他のエラーメッセージと交互に表示されます。対処方法は一緒に表示されるエラーメッセージの対処方法を参照してください。（例えば＜ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ＞。）
バンゴウガ　イッチシマセン	2 回目に入力したファクス番号が 1 回目に入力した番号と異なる。＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜ファクス NO. カクニンニュウリョク＞が＜ ON ＞に設定されているときに表示される。	ファクス番号が正しいかどうか、確認してください。［スタート］を押してから、1 回目に入力した番号と同じ番号を入力してください。
プリンタ　データエラー **プリンタヲ　テンケンシテクダサイ**	本体に何らかのエラーが発生している。	主電源スイッチを切り、10 秒ほど待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ミトウロクデス	指定したワンタッチダイヤルキーや短縮ダイヤルに、宛先が登録されていない。	宛先を登録してください。詳細については、「ワンタッチダイヤルを登録する」（P.3-3）または「短縮ダイヤルを登録する」（P.3-6）を参照してください。
ムコウデス	• グループダイヤルの登録中に、すでにワンタッチダイヤルとして登録済みのワンタッチダイヤルキーに登録しようとした。 • ワンタッチダイヤルの登録中に、すでにグループダイヤルとして登録済みのワンタッチダイヤルキーに登録しようとした。	未使用のワンタッチダイヤルキーに登録してください。
メモリ　ザンリョウ	利用できるメモリ残量のメッセージで、送信時に原稿を ADF にセットすると表示される。	メモリ容量が不足する場合は、メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。

メッセージ	原因	処置
メモリガ　イッパイデス	• ジョブがいっぱいになった。	• メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。 • 原稿または画像データを分割して送信してみてください。 • 解像度を下げて送信してください。
	• メモリに保存できる送受信ジョブ数が最大件数に達した。	本製品のメモリに保存できるジョブ数は、送受信ジョブ合わせて 256 件です（相手側のファクスが Canon Satera MF4380dn で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のジョブ数）。メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。または、メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
ヨウシガ　ツマリマシタ	本体内で紙づまりが起きた。 このエラーメッセージは＜パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ＞のエラーメッセージと交互に表示される。	つまった用紙を取り除いて（→用紙や原稿がつまったら：P.11-2）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。 次にカバーを開閉して実行中のジョブを再開してください。
ヨウシガ　ツマリマシタ ウシロカバーヲ　アケテクダサイ	本体内で紙づまりが起きた。 このエラーメッセージは＜パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ＞のエラーメッセージと交互に表示される。	つまった用紙を取り除いて（→用紙や原稿がつまったら：P.11-2）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。 次にカバーを開閉して実行中のジョブを再開してください。
ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ **トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ**	用紙が正しくセットされていないか、トナーカートリッジが正しくセットされていない。	• 用紙カセットと手差しトレイからセットされている用紙を取り除いてください。そのあと、用紙をセットしなおしてください。用紙のセット方法については、「用紙をセットする」（P.2-10）を参照してください。 • トナーカートリッジを正しくセットしてください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ	• コピーまたはプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。	• 用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。
	• 受信文書のプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。また、レポートやリストのプリント時に適切な用紙サイズが設定されていない。 このエラーメッセージは＜トウロクサイズヲヘンコウ／ →ヨウシセッテイ＞または＜ジュシンデータプリントデキマセン／エラーカイジョゴ　プリント＞のエラーメッセージと交互に表示される。	• 用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。レポートやリストのプリント時の場合は、用紙サイズを＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICO-OFICIO ＞、＜ GOVERNMENT-LETTER ＞、＜ GOVERNMENTLEGAL ＞、＜ FOOLSCAP ＞、＜ LTR ＞、または＜ LGL ＞に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。

エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録される 4 桁のコードです。

2008 12/31 15:50 123XXXXXXX　　　ｷﾔﾉﾝ　　　P . 001

****
***　　　ｴﾗｰｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　　　***
****

ｳｹﾂｹNO.	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	NO.	ｱｲﾃｻｷ	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｹｯｶ
0001	ｿｳｼﾝ G3	001	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ 111XXXXXXX	12 / 31 15:50	000	STOP 00 ' 00
			00A0 : ｿｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼｼﾏｼﾀ			

エラーコード

レポートの詳細については、e- マニュアル「本製品の紹介」「レポートを自動でプリントする（MF4380dn/MF4370dn/MF4350d のみ）」を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
0001	相手先のファクスが G3 ファクスではない。	先方が対応できるモードまたは通信速度で原稿を送ってください。
0070	受信を手動で中止した。	相手先に連絡して、再度送信してもらってください。
0071	メモリがいっぱいになった。	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
0080	相手先のファクスから 35 秒以内に応答がない。	もう一度原稿を送ってください。相手先に連絡して、先方のファクスをチェックしてもらってください。海外に送信する場合は、ファクス／電話番号の前にポーズを入れてください。
008D	相手機が用紙切れで送信できない。	用紙を補給するよう、相手先に連絡してください。
00A0	送信を手動で中止した。	再度送信してください。
00A1	原稿がつまった。	つまった原稿を取り除いてください。（→用紙や原稿がつまったら：P.11-2）
00FF	リダイヤルに失敗した。	相手先の番号が正しいか、または電話線コードが正しく接続されているか確認してください。

＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合

本製品の＜ヨウシ　サイズ＞メニューまたはプリンタドライバの［出力用紙サイズ］に設定されている用紙サイズと、用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されるメッセージです。このメッセージが表示された場合は、＜ヨウシ　サイズ＞メニューまたは［出力用紙サイズ］に設定されているサイズの用紙をセットしなおすか、セットされている用紙サイズに合わせて＜ヨウシ　サイズ＞メニューまたは［出力用紙サイズ］の設定サイズを変更してください。

用紙をセットしなおす

ディスプレイに表示されている用紙サイズでプリントしたい場合は、以下の手順に従ってジョブを再開させます。

1 ディスプレイに表示されているサイズの用紙をセットします。

- 用紙カセットに用紙をセットした場合は、［OK］を押すとプリントが再開されます。
- 手差しトレイに用紙をセットした場合は、そのままプリントが再開されます。

> **メモ**
> ファクス／レポートジョブの場合は、手差しトレイにセットした用紙にプリントすることはできません。

用紙サイズ設定を変更する

セットされている用紙のままプリントしたい場合は、以下の手順に従ってジョブを再開させます。

コピージョブの場合

1 ［ストップ / リセット］を押します。

2 ［◄−］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
コピ゛ーヲ　チュウシ　シマスカ？
 〈　ハイ　　　　　　　イイエ　〉
```

3 ［用紙設定］を繰り返し押して＜カセット＞または＜テザシトレイ＞を選択し、［OK］を押します。

```
カセット
```

4 ［◄−］または［+►］を押してセットされている用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

```
ヨウシ　サイズ゛
                          A 4
```

5 原稿を再度コピーします。

ファクス／レポートジョブの場合

1 ◯［用紙設定］を繰り返し押して<カセット>を選択し、［OK］を押します。

```
カセット
```

2 ［◄－］または［＋►］を押してセットされている用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

```
ヨウシ　サイズ
                A4
```

3 ［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。

4 ［OK］を押してジョブを再開します。

プリントジョブの場合

1 ◯［ジョブキャンセル / 状況確認］を繰り返し押して<ジョブノ　チュウシ>を選択し、［OK］を押します。

```
ジョブノ　チュウシ
```

2 ［◄－］または［＋►］を押して<プリント>を選択し、［OK］を押します。

```
ジョブタイプ
プリント
```

3 ［◄－］または［＋►］を押して消去するジョブを選択し、［OK］を押します。

例）

```
0002 18:45
Note.txt
```

> **メモ**
> プリントするファイルによっては、ファイル名称が正しく表示されない場合があります。

4 ［◄－］を押して<ハイ>を選択します。

```
プリントヲ　チュウシ　シマスカ?
 〈　ハイ            イイエ　〉
```

5 セットされている用紙のサイズを、プリンタドライバの［出力用紙サイズ］から選択し、再度プリントします。

停電のときには

電力供給が止まっている間、コピー、スキャン、プリントの各機能は使用できません。

● 停電時のファクス機能について

・原稿を送受信できません。

・外付け電話機で電話をかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

・外付け電話機で電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

また、停電の発生や電源コードが誤って抜けるなどが原因で電源供給が止まっても、メモリに蓄積されていた送受信データは約 5 分間保存されます。ただし、5 分を超えるとデータは消去されます。この場合、電源が再度投入されるとディスプレイには＜ガゾウガ　ウシナワレマシタ＞と表示され、メモリクリアレポートがプリントされます。（トナーが空の場合や用紙切れの場合は除きます。）レポートにはメモリから消去されたデータが最大 60 件まで一覧表示されるため、どのようなデータが消去されたか確認できます。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。

ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（Satera MF4380dn/Satera MF4370dn/Satera MF4350d/Satera MF4330d/Satera D450）
- シリアル番号（本体裏面のラベルに記載されている、アルファベット 3 文字と数字 5 桁の文字列になります）
- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

メモ

ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

各種機能を登録／設定する

Chapter 12

本製品の設定を変更したり、確認したりする方法を説明しています。

設定メニュー一覧

設定メニューから機能内容を設定／変更することができます。

ユーザデータリストをプリントする

ユーザデータリストをプリントするには、以下の手順に従ってください。

1 ◯［レポート］を繰り返し押して＜ユーザ　データ　リスト＞を選択し、［OK］を押します。

```
ﾕｰｻﾞ ﾃﾞｰﾀ ﾘｽﾄ
```

設定メニューを使う

設定メニューを使うには、以下の手順に従ってください。

1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄−］または［+►］を押してメニューを選択し、［OK］を押します。

```
ﾒﾆｭｰ
1   ｵﾝﾘｮｳ ﾁｮｳｾｲ
```

- ＜オンリョウ　チョウセイ＞
- ＜ドウホウ＞
- ＜キョウツウ　シヨウ　セッテイ＞
- ＜コピー　シヨウ　セッテイ＞
- ＜ファクスセッテイ＞
- ＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞
- ＜プリント　セッテイ＞
- ＜タイマー　セッテイ＞
- ＜チョウセイ／　クリーニング＞
- ＜レポート　セッテイ＞
- ＜システム　カンリ　セッテイ＞

3 ［◄−］または［+►］を押してサブメニューを選択し、［OK］を押します。

```
ｵﾝﾘｮｳ ﾁｮｳｾｲ
1   ﾂｳｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ
```

メモ

サブメニューの詳細は「メニューの設定内容」（→ P.12-3）を参照してください。

4 設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、［OK］を押します。

5 設定が終了したら、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ

- ［OK］を押す前に［ストップ／リセット］を押した場合、設定内容は保存されません。
- 直前の画面に戻るには、［メニュー］を押します。

メニューの設定内容

工場出荷時の設定は太字で示しています。

音量調整

設定項目	設定内容	参照先
1 ツウシン オンリョウ	（0 ～ 3）（**2**）	e- マニュアル 「本製品の紹介」
2 ニュウリョクオン	（0 ～ 3）（**2**）	
3 ケイコクオン	（0 ～ 3）（**2**）	
4 ソウシンシュウリョウオン	（0 ～ 3）（**0**）	
5 ジュシンシュウリョウオン	（0 ～ 3）（**0**）	

同報

設定項目	設定内容	参照先
1 ドウホウ	最大 124 件	P.5-23

共通仕様設定

設定項目	設定内容	参照先
1 ショキキノウノ　セッテイ	・ **コピー** ・ ファクス ・ スキャン	e- マニュアル 「本製品の紹介」
2 トナーセーブモード	・ **OFF** ・ ON	

コピー仕様設定

設定項目	設定内容	参照先
ヒョウジュンモードノ ヘンコウ		
1 ガシツ	• **モジ／シャシン** • モジ • シャシン • モジ／シャシン +	P.4-23
2 ヨミトリ　ノウド	• **シュドウ**（1 ～ 9（**5**）） • ジドウ	
3 バイリツ		
テイケイヘンバイ	• 200% MAX. • 141% A5 → A4 • 122% A5 → B5 • 115% B5 → A4 • **100%** • 86% A4 → B5 • 81% B5 → A5 • 70% A4 → A5 • 50% MIN.	
シュドウ	1% 刻み（50% ～ 200%（**100%**））	
4 ジドウソート	• **OFF** • ON	
5 リョウメン	• **リョウメン　シナイ** • カタメン > リョウメン 　ーリョウメンコピーノ　シュルイ（ジョウゲビラキ、サユウビラキ） • リョウメン > リョウメン * 　ーゲンコウノ　シュルイ（ジョウゲビラキ、サユウビラキ） 　ーリョウメンコピーノ　シュルイ（ジョウゲビラキ、サユウビラキ） • リョウメン > カタメン * 　ーゲンコウノ　シュルイ（ジョウゲビラキ、サユウビラキ）	
2 サイズ　ケイレツ	• **AB** • インチ • A	P.4-22

* MF4380dn ／ D450 のみ

ファクス設定

設定項目	設定内容	参照先
1 ジュシンモード	• **ジドウ** • ルス TEL • FAX/TEL • シュドウ	P.5-4
2 キホントウロク		
1 ユーザ TEL バンゴウトウロク	最大 20 桁	P.5-12
2 ユーザリャクショウトウロク	最大 32 文字	P.5-11
3 ハッシンモト キロク	• **ON** • OFF	P.5-31
4 カイセン　シュルイ　センタク		P.5-10
ジドウ		
シュドウ	• ダイヤルカイセン • プッシュカイセン	
5 コウシュウカイセンセツゾク	• **チョクセツセツゾク** • アダプタセツゾク 1 • アダプタセツゾク 2	P.5-9
6 ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ		
1 ヨミトリ　ノウド	1 ～ 9（**5**）	P.5-30
2 ガシツ	• **ヒョウジュン** • ファイン • シャシン • スーパーファイン	
3 ソウシン　キノウ　セッテイ		
1 ジドウ　リダイヤル	• **ON** • OFF	P.5-27
リダイヤル カイスウ	1 カイ～ 10 カイ（**2 カイ**）	
リダイヤル カンカク	2 フン～ 99 フン（**2 フン**）	
2 ダイヤルジカイセン　カクニン	• **ON** • OFF	P.5-29
4 ジュシン　キノウ　セッテイ		
1 チャクシン　ヨビダシ	• **ON** • OFF	P.5-39
ヨビダシ　カイスウ	1 カイ～ 16 カイ（**2 カイ**）	
2 リモート　ジュシン	• **ON** • OFF	P.5-40
リモート　ジュシン　ID	00 ～ 99（**25**）	
3 ジュシン　プリント	• **メモリジュシン** • プリントジュシン	P.5-42

設定項目	設定内容	参照先
4 アイテサキ　ハッシンモトキロク	・ **OFF** ・ ON	P.5-37
5 DM　セイゲン	・ **OFF** ・ ON	P.5-43
5 プリント　セッテイ		
1 ガゾウ　シュクショウ	・ **ON** ・ OFF ・ ガゾウ　ショウリャク	P.5-36
2 リョウメンキロク	・ **OFF** ・ ON	P.5-35
3 インジケイゾク	・ **OFF** ・ ON	P.5-38

宛先表仕様設定

設定項目	設定内容	参照先
1 ワンタッチ　ダイヤル	最大 8 件	P.3-3
ナマエ	スペースを含め最大 20 文字	
デンワバンゴウ	スペースを含め最大 50 桁	
2 タンシュク　ダイヤル	最大 100 件	P.3-6
ナマエ	スペースを含め最大 20 文字	
デンワバンゴウ	スペースを含め最大 50 桁	
3 グループ　ダイヤル	最大 8 グループ	P.3-9
ナマエ	スペースを含め最大 20 文字	
NO.0##=	最大 50 件× 8 グループ	

プリント設定

設定項目	設定内容	参照先
1 エラータイムアウト	・ **ON**（5 ビョウ～ 300 ビョウ（**15 ビョウ**）） ・ OFF	e- マニュアル 「コンピュータから プリントする」

タイマー設定

設定項目	設定内容	参照先
1 ヒヅケ／ジコク　セッテイ	• ジカン（00 ～ 23） • フン（00 ～ 59） • トシ（00 ～ 99） • ツキ（01 ～ 12） • ニチ（01 ～ 28、29、30、31）	P.5-10
2 ヒヅケ／ジコク　タイプ	• **YYYY MM/DD** • MM/DD/YYYY • DD/MM YYYY	e- マニュアル 「本機の設置、設定」
3 オートスリープ	• **ON**（3 フン～ 30 フン（**5 フン**）） • OFF	P.1-18

調整／クリーニング

設定項目	設定内容	参照先
1 テイチャクキノ　クリーニング	開始	P.10-5
2 トクシュモード T	• **OFF** • ON	e- マニュアル 「日常のメンテナンス」
3 トクシュモード U	• **OFF** • モード　1 • モード　2	
4 トクシュモード V	• **OFF** • ON	
5 トクシュモード Y	• **OFF** • ON	
6 トクシュモード Z	• **OFF** • ON	

レポート設定

設定項目	設定内容	参照先
1 ソウシンケッカ　レポート	• **エラージノミ　プリント** • プリントシナイ • プリントスル	e- マニュアル 「本製品の紹介」
2 ジュシンケッカ　レポート	• **プリントシナイ** • プリントスル • エラージノミ　プリント	
3 ツウシンカンリ　レポート	• **プリントスル** • プリントシナイ	

システム管理設定

設定項目	設定内容	参照先
1 システムカンリシャ セッテイ		e- マニュアル 「本製品の紹介」
1 カンリ　アンショウバンゴウ	7 桁	
2 デバイスジョウホウ　セッテイ		
1 デバイスメイ	スペースを含め最大 32 文字	
2 セッチバショ	スペースを含め最大 32 文字	

設定項目	設定内容	参照先
3 ネットワーク　セッテイ		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 TCP/IP セッテイ		
1 IPv4 セッテイ		
1 IP アドレス　ジドウシュトク		
ON	・ DHCP（**ON**/OFF） ・ BOOTP（**OFF**/ON） ・ RARP（**OFF**/ON）	
OFF		
2 IP アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 サブネット　マスク	（**000.000.000.000**）	
4 ゲートウェイアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
5 IP アドレス　ハンイセッテイ		
OFF		
ON		
1 IP アドレス 1		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
2 IP アドレス 2		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 IP アドレス 3		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	

設定項目	設定内容	参照先
4 IP アドレス 4		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
5 IP アドレス 5		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
6 IP アドレス 6		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
7 IP アドレス 7		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
8 IP アドレス 8		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
9 IP アドレス 9		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	

設定項目	設定内容	参照先
10 IP アドレス 10		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**000.000.000.000**）	
6 DNS セッテイ		
1 DNS　サーバー　セッテイ		
1 プライマリ DNS サーバー	プライマリ DNS サーバー（**000.000.000.000**）	
2 セカンダリ DNS サーバー	セカンダリ DNS サーバー（**000.000.000.000**）	
2 ホスト／ドメインメイセッテイ		
1 ホストメイ	スペースを含め最大 47 文字	
2 ドメインメイ	スペースを含め最大 47 文字	
3 DNS ノドウテキコウシンセッテイ		
1 DNS ノ　ドウテキコウシン	・ **OFF** ・ ON	
2 IPv6 セッテイ		
1 IPv6 ヲ　シヨウ	・ **OFF** ・ ON	
2 ステートレスアドレス　セッテイ	・ **OFF** ・ ON	
3 シュドウアドレス　セッテイ		
1 シュドウアドレスヲ　シヨウ	・ **OFF** ・ ON	
2 シュドウアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 プレフィックスチョウ	0 ～ 128（**64**）	
4 デフォルトルータアドレス	デフォルトルータアドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 DHCPv6 ヲ　シヨウ	・ **OFF** ・ ON	
5 PING コマンド	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	

各種機能を登録／設定する

設定項目	設定内容	参照先
6 IP アドレス　ハンイ　セッテイ		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
OFF		
ON		
1 IP アドレス 1		
1 キョカ／キョヒ	• **キョヒ** • キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	• **OFF** • ON（0 ～ 128（**64**））	
2 IP アドレス 2		
1 キョカ／キョヒ	• **キョヒ** • キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	• **OFF** • ON（0 ～ 128（**64**））	
3 IP アドレス 3		
1 キョカ／キョヒ	• **キョヒ** • キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	• **OFF** • ON（0 ～ 128（**64**））	

設定項目	設定内容	参照先
4 IP アドレス 4		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	
5 IP アドレス 5		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	
6 IP アドレス 6		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	
7 IP アドレス 7		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	

設定項目	設定内容	参照先
8 IP アドレス 8		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	
9 IP アドレス 9		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	
10 IP アドレス 10		
1 キョカ／キョヒ	・ **キョヒ** ・ キョカ	
2 カイシアドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
3 シュウリョウ　アドレス	IP アドレス（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
4 プレフィックスチョウ	・ **OFF** ・ ON（0 ～ 128（**64**））	

設定項目	設定内容	参照先
7 DNS セッテイ		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 DNS　サーバー　セッテイ		
1 プライマリ DNS サーバー	プライマリ DNS サーバー（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
2 セカンダリ DNS サーバー	セカンダリ DNS サーバー（**0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000**）	
2 ホスト／ドメインメイ セッテイ		
1 IPv4 ホスト／ドメイン　シヨウ	• **ON** • OFF	
2 ホストメイ	スペースを含め最大 47 文字（**CanonDF41F1**）	
3 ドメインメイ	スペースを含め最大 47 文字	
3 DNS ノドウテキコウシン セッテイ		
1 DNS ノ　ドウテキコウシン	• **OFF** • ON	
1 シュドウアドレスノ　トウロク	• **OFF** • ON	
2 ステートフルアドレスノ　トウロク	• **OFF** • ON	
3 LPD インサツ	• **ON** • OFF	
4 RAW インサツ	• **ON** • OFF	
5 Bonjour　セッテイ	• **ON** • OFF	
1 Bonjour　メイショウ	スペースを含め最大 63 文字（**Canon MF4360-4390（DF:41:F1）**）	
2 ユウセン　プロトコル	• **LPR** • RAW	
6 HTTP ヲ　シヨウ	• **ON** • OFF	
7 ポートバンゴウ　セッテイ	• 1 LPD（0 ～ 65535（**515**）） • 2 RAW（0 ～ 65535（**9100**）） • 3 HTTP（0 ～ 65535（**80**）） • 4 SNMP（0 ～ 65535（**161**））	

設定項目	設定内容	参照先
8 ジュシンキョカ　MAC　アドレス		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
OFF		
ON	• 1 キョカアドレス 1（**00-00-00-00-00-00**） • 2 キョカアドレス 2（**00-00-00-00-00-00**） • 3 キョカアドレス 3（**00-00-00-00-00-00**） • 4 キョカアドレス 4（**00-00-00-00-00-00**） • 5 キョカアドレス 5（**00-00-00-00-00-00**）	
2 SNMP　セッテイ		
1 SNMP ヲ　シヨウ	• **ON** • OFF	
2 コミュニティメイ 1	スペースを含め最大 15 文字（**public**）	
3 コミュニティメイ 2	スペースを含め最大 15 文字	
4 SNMP　カキコミ　カノウ　1	• **ON** • OFF	
5 SNMP　カキコミ　カノウ　2	• **OFF** • ON	
3 ETHERNET ドライバ		
1 ジドウ　ケンシュツ	• **ジドウ** • シュドウ	
1 ツウシン　ホウシキ	• **ゼンニジュウ** • ハンニジュウ	
2 ETHERNET ノ　シュルイ	• **100 BASE-TX** • 10 BASE-TX	
2 MAC アドレス	MAC アドレス	

設定項目	設定内容	参照先
4 IP アドレス　カクニン		e- マニュアル「ネットワーク設定（MF4380dn/MF4370dn のみ）」
1 IPv4	• 1 IP アドレス • 2 サブネット　マスク • 3 ゲートウェイアドレス	
2 IPv6	• 1 リンクローカルアドレス（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 2 ステートレスアドレス 1（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 3 ステートレスアドレス 2（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 4 ステートレスアドレス 3（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 5 ステートレスアドレス 4（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 6 ステートレスアドレス 5（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 7 ステートレスアドレス 6（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 8 ステートフルアドレス（IP アドレス、プレフィックスチョウ） • 9 デフォルトルータアドレス（デフォルトルータアドレス）	
5 キドウジカンノ　セッテイ	（0 ビョウ～ 300 ビョウ（**0 ビョウ**））	
4 ツウシン　カンリセッテイ		
1 ソウシン　スタート　スピード	**33600bps**、14400bps、9600bps、7200bps、4800bps、2400bps	
2 ジュシン　スタート　スピード	**33600bps**、14400bps、9600bps、7200bps、4800bps、2400bps	
3 メモリジュシン　セッテイ	• **OFF** • ON	
1 パスワード	7 桁	
2 ジカン　シテイ	• **OFF** • ON	
カイシジコク	• ジカン（00 ～ 23） • フン（00 ～ 59）	
シュウリョウジコク	• ジカン（00 ～ 23） • フン（00 ～ 59）	
5 ソウシンキノウノ　セイゲン		P.5-33
1 リダイヤルノ　セイゲン	• **OFF** • ON	
2 ファクス NO. カクニンニュウリョク	• **OFF** • ON	

設定項目	設定内容	参照先
6 ファームウェア　コウシン	この機能は、ファームウェアを更新する必要がある場合にのみ使用します。	

付録

Chapter 13

主な仕様

本体仕様	
形式	パーソナルデスクトップ
電源	100 V 50/60 Hz
消費電力	最大消費：580 W 以下 待機時消費：9 W 以下 スリープモード時消費：3 W 以下
ウォームアップタイム	MF4380dn/MF4370dn 12.0 秒以下 * MF4350d/MF4330d/D450 10.0 秒以下 * （温度：20 ℃、湿度：65%。本製品の主電源スイッチを入れてから待受画面が表示されるまで） * ウォームアップ時間は、本製品の使用状況や環境によって異なることがあります。
質量	MF4380dn/D450 約 14.5 kg（トナーカートリッジを含む） MF4370dn 約 13.2 kg（トナーカートリッジを含む） MF4350d 約 13.4 kg（トナーカートリッジを含む） MF4330d 約 12.4 kg（トナーカートリッジを含む）
大きさ（幅 × 奥行 × 高さ）	MF4380dn/D450 390 mm × 465 mm × 363 mm （原稿給紙トレイ／用紙カセット取り付け時） MF4370dn 390 mm × 442 mm × 455 mm （原稿給紙トレイ／用紙カセット取り付け時） MF4350d/MF4330d 390 mm × 450 mm × 455 mm （原稿給紙トレイ取り付け時）
設置スペース（幅 × 奥行）	MF4380dn/D450 627 mm（W）× 1093 mm（D） MF4370dn/MF4350d/MF4330d 590 mm（W）× 1013 mm（D）
使用環境	温度：10 ℃ 〜 30 ℃ 湿度：20% 〜 80%（相対湿度・結露しないこと）
使用可能な原稿	→ P.2-2
使用可能な用紙	→ P.2-6

本体仕様

プリント範囲	→ P.2-9
読み取り範囲	→ P.2-3

コピーの仕様

読み取り解像度	＜モジ／シャシン＞：300 dpi × 300 dpi ＜モジ＞、＜シャシン＞、＜モジ／シャシン＋＞：600 dpi × 600 dpi
書き込み解像度	600 dpi × 600 dpi
複写倍率	1:1 ± 1.0%、1:2.00、1:1.29、1:0.78、1:0.64、1:0.50 ズーム：50%〜 200%（1%刻み）
複写速度	等倍：A4　22 枚／分
連続複写枚数	最大 99 部
ファーストコピータイム	原稿台ガラス：9.0 秒以下（A4）

プリンタの仕様

記録方式	間接静電気方式（オンデマンド定着）
給紙方式	用紙カセット：250 枚（積載高さ 25 mm 以下） 手差しトレイ：1 枚
排紙方式	100 枚（64 〜 80 g/m^2）
プリント速度	等倍：A4　22 枚／分
書き込み解像度	600 dpi × 600 dpi
階調数	256 階調
トナーカートリッジ	→ P.1-13

スキャナの仕様（USB スキャン）

形式	カラースキャナ
最大読み取り原稿サイズ	216 mm × 356 mm
読み取り解像度	600 × 1200 dpi（光学解像度） 9600 × 9600 dpi（ソフトウェア補間解像度）
原稿読み取り速度	カラー：4.5 msec/line（600 dpi） グレースケール：1.5 msec/line（600 dpi）
ホストインタフェース	USB 1.1、USB 2.0
対応 OS	Windows 2000/XP/Vista/7

スキャナの仕様（USB スキャン）

ドライバ	TWAIN/WIA 1.0*（Windows XP/Vista/7 のみ）対応 * WIA 2.0 には非対応

スキャナの仕様（ネットワークスキャン）（MF4380dn/MF4370dn のみ）

形式	カラースキャナ
最大読み取り原稿サイズ	216 mm × 356 mm
読み取り解像度	75 dpi、100 dpi、150 dpi、200 dpi、300 dpi
原稿読み取り速度	カラー：3.93 msec/line（300 dpi） グレースケール：0.65 msec/line（300 dpi）
ホストインタフェース	100Base-TX/10Base-T
対応 OS	Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008
ドライバ	TWAIN

ファクスの仕様

適用回線	公衆交換電話網（PSTN）*[1]
交信性	G3
データ圧縮方式	MH、MR、MMR
モデム速度	33.6 Kbps 自動フォールバック
電送速度	ページ当り約 3 秒 *[2] ECM-MMR、33.6 Kbps でメモリから送信
送信／受信メモリ	最大約 256 ページ *[2] （送受信の総ページ数）
ファクス解像度	＜ヒョウジュン＞：8 画素 /mm × 3.85 ライン /mm ＜ファイン＞：8 画素 /mm × 7.7 ライン /mm ＜シャシン＞：8 画素 /mm × 7.7 ライン /mm ＜スーパーファイン＞：8 画素 /mm × 15.4 ライン /mm
ダイヤル方式	• スピードダイヤル ワンタッチダイヤル（8 件） 短縮ダイヤル（100 件） グループダイヤル（8 セット× 50 件） 宛先表ダイヤル（宛先表キーによる） • 通常ダイヤル（テンキーによる） • 自動リダイヤル • 手動リダイヤル（リダイヤル／ポーズキーによる） • 同報送信（124 件）
受信方式	• 自動受信 • 電話機によるリモート受信（初期設定 ID: 25）

ファクスの仕様

レポートの種類	• 通信管理レポート（60 件ごと） • 送信／受信結果レポート • 発信元情報

*[1] 公衆交換電話網は、現在 28.8 Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。
*[2] ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）標準チャート No.1、MMR 標準モードによります。

電話の仕様

接続可能な電話	外付け電話機／留守番録音機／データモデム

メモ
仕様は予告なく変更されることがあります。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン Satera ホームページ
■ http://canon.jp/satera/

索引

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

付録

り

れ

わ

本書は本文に再生紙を
使用しています。
本書は揮発性有機化合物（VOC）
ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-3087 (010)

xxxxxxxxxx

PRINTED IN KOREA